建築と社會

社會事業建築

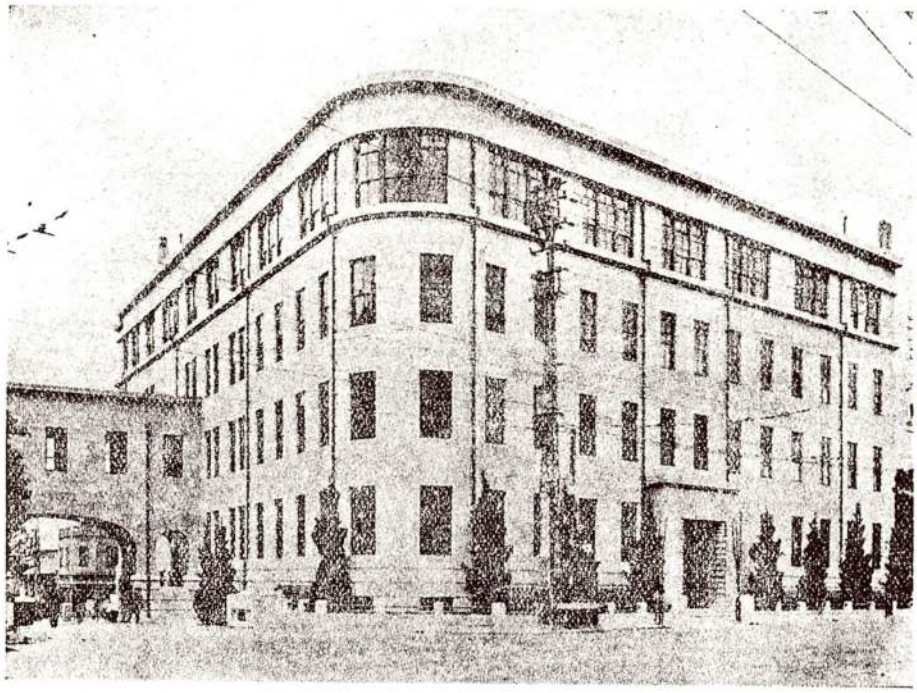
第十六輯
第五號

日本建築協會

昭和八年
五月一日

三建式鋼製建具

製品優秀・納期正確・價格低廉



寫眞は竣工の兵庫縣廳分廳舍（左記御採用ノ榮ヲ蒙リ候）
揚ゲ下ゲサッシュ（單窓トシテ）參參七ケ所
回轉開キ嵌殺サッシュ　八九ケ所
富國石外裝工事

設　計　兵庫縣營繕課殿
施　工　大阪橋本組殿

三建工業株式會社
建築金物商會　一手販賣總代理店

三機工業株式會社

支　店	大阪市東區備後町——野村ビル內 電話本町(24)・1166(2)・1525
本　店	東京市麹町區有樂町——三信ビル內 電話銀座(57)代表5141(9)・長5140
出張員	名古屋市中區笹島町——三井物產株式會社內 電話西2500(5)
取扱店	三井物產株式會社——各地支店・出張所

（型錄贈呈）

建築と社會

第16輯第5號　昭和8年5月發行

社會事業建築

目　　次

大阪市の社會事業施設……山口　正（2）

大阪市の社會事業建築に就て……新名種夫（7）

東京・浴風會浴風園……（9）
大阪鶴橋保護所……（17）
大阪市營杭全住宅……（18）
東京市深川區猿江裏町善隣館……（19）
東京市深川區猿江裏町住宅……（22）
神戸市葺合新川改良住宅……（25）
大阪市南日東町細民住宅……（29）
神戸・西部無料宿泊所……（33）
大阪・今宮共同宿泊所……（34）
神戸・沖仲仕休憩所……（36）
大阪・公設田邊市場……（37）
大阪・公設中道市場……（38）
大阪・境川質舖
神戸・西部質屋……（39）
大阪・中央職業紹介所……（40）
大阪・千鳥橋勞働紹介所
神戸・西部勞働紹介所……（42）
東京・同潤會啓成社……（43）
大阪健康相談所……（45）
大阪市立刀根山療養所……（46）
岡山縣・長島愛生園……（53）
大阪・木津保育園……（57）
大阪・日之出託兒所……（58）
神戸市立兒童院……（59）
京都市兒童院……（60）
千葉縣・一宮學園……（63）
大阪・六甲郊外學園……（68）
大阪・榮町市民館……（69）

談話室……（70）

改正されたる工事請負規程……（72）

國際最新建築……（76）

會　　報……（88）

大阪市の社會事業施設

大阪市社會部長　山　口　正

わが邦に於ける社會事業が近代的の形式と内容を備ふるに至つたのは、近く大正7年の所謂米騒動以後のことに屬する。この事件を一新紀元として、從來小數慈善家の手によつて又は市町村役場の片隅において狹少なる範圍に對し行はれ來つた貧弱なる救濟事業が尨大たる組織と統制ある體系を整へ、巨額の費用と多數の從事員を驅使し、救貧、經濟的保護、失業保護、醫療保護、兒童保護、社會教化等社會惡の各方面に活動する施設となるに至つた。殊に本市は商工の首都たる光榮を有すると同時に、大都市として貧窮その他の社會的慘苦を包藏することも亦甚だしきの不名譽を荷ひ、施設も從つて大規模ならざるを得なかつた。

現に本市が鋭意その充實と發展に腐心せる社會施設は、現代社會組織の缺陷より生ずる貧困を救護する所謂消極的のものよりも、寧ろこれを未然に防止せんとする積極的根本的の防貧施設である。併し如何に積極的徹底的の防貧施設に主力をそそぐとはいへ、日のあたり窺民の存する以上これを傍觀することは出來ないから、これに對しても亦適當なる施設を必要とするのである。

本市の救貧制度はその由來するところ極めて古く所謂社會事業の先驅をなすものといふべきで、本市の窮民救助と棄兒養育の補助は共に遠く明治7年の太政官達恤救規則にその淵源を發して居り、爾來幾變遷の後昭和7年1月1日から救護法に依り(1)65才以上の老衰者、(2)13才以下の幼者、(3)妊産婦、(4)不具癈疾、疾病、傷病其の他精神又は身體の障碍に因り勞務を行ふに故障ある者にして、夫々貧困にして生活すること能はざる者に對し、(1)生活扶助、(2)醫療、(3)助産、(4)生業扶助の救護を與へてゐるが、本年度本施設に計上された費用は 41 萬餘圓である。

次ぎに住居施設について說明すると、本市に於ける住宅問題は大正 7—8 年の戰時好況時代に於ける急激なる人口の都市集中、建築材料の劃期的昇騰に起因する「都市住宅危機」を契機として社會問題化するに至つた。即ちこの絕對的、量的住宅問題即ち住宅の不足を招來した大正8年6月本市が初めて櫻宮住宅 204 戸、鶴町第1期住宅 191 戸を建て住宅難の緩和を圖り、以來次第に增築し現在貸付住宅 1,562 戸を有してゐる。

次表の如く家賃 15 圓以下の住宅 964 戸にして、小市民層に對する住宅政策に重點をおいたものである。其の他中產者のために月賦住宅 458 戸、融和事業の小住宅として 95 戸を經營してゐる。

更に不良住宅即ち質と環境の不良に基く住宅問題も近時やかましく論議せられるに至つたので、本市は不良住宅地區改良法にもとづき、昭和2年12月本市會の議決及び同3年3

大阪市營貸付住宅一覽表

所在地	10圓以下	15圓以下	20圓以下	25圓以下	30圓以下	35圓以下	計
櫻宮住宅	202	1	1	—	—	—	204
鶴町第1期住宅	162	5	23	1	—	—	191
鶴町第2期住宅	2	451	107	86	5	—	651
堀川住宅	—	—	—	90	19	83	192
豊崎住宅	2	1	83	24	—	—	110
古市住宅	—	—	15	1	—	—	16
榎並住宅	—	4	—	—	—	—	4
平野住宅	—	10	4	4	—	—	18
鶴橋住宅	91	—	7	20	—	—	118
小路住宅	5	28	7	—	3	—	43
玉出住宅	—	—	15	—	—	—	15
計	464	500	262	226	27	83	1,562

月內務大臣の地區指定に依り、昭和2年度より向ふ六箇年間の繼續事業として、事業費710萬餘圓を投じ、天王寺區下寺町 ?—4 丁目、南日東町、北日東町、浪速區關谷町 1—2丁目、廣田町の各一部に跨がる約2萬坪に1,600餘戶の住宅を建設する計畫を樹てたのであるが、その施行に當つては地區內居住者の生活其の他諸般の事情を考慮し緩急を計るの要があつたため豫定の如く進捗せず、昭和8年度に事業計畫の4割を繰越すこととなつた。いま既濟事業の內容に付て見るに、土地の買收12,200餘坪、建物の買收取毀6,500餘坪、居住者の立退1,031世帶、木造住宅建設178戶、鐵筋コンクリート集合住宅建設728戶である。これが使用料は居住者の生活程度並に從來平均住居費を參酌し、可及的低廉にこれを定めてゐる。

本市は斯樣に各種住宅の建設によつてひたすら住宅難の緩和につとめてゐるが、更に三住宅會社に對し約300萬圓の貸付を行つて1,171戶の住宅を經營せしめ、或は23の住宅組合に對し約826,000餘圓の貸付をなして272戶の住宅を建設せしめてゐる。

主として單身の勞働者その他の者に對し無料又は低廉なる料金で簡易にして快適な宿舍を提供し、彼等の生活の改善と思想の向上に資する目的の下に、本市は現在5ヶ所の宿泊所を經營してゐる。即ち今宮、西野田、鶴町、長柄、九條宿泊所が之れで、宿泊定員は、1,729名、宿泊料は12錢と15錢に分れてゐる。この施設により、從來不潔なる木賃宿、勞働下宿に起居してゐた者が保護されてゐるわけである。

更に特殊的な共同宿泊所として、大阪港に出入する海員に對し低料を以つて、家庭的の溫い安息所を與へるために、最近築港に海員宿泊所を設置してゐる。宿泊定員は單身者室44、家族室29にして、海上生活者に對する大阪市の只一の經濟的保護施設であるが、最近その一部を繼續使用室即ち低廉なるアパートとして大阪港附近勤務者の便宜をも計つてゐる。

尙ほ宿泊者に溫い生活を營ましむるために浴場、理髮所、人事相談所等を附設し、文化的施設、福利施設をも實施してゐるのである。

又、浮浪人、乞食及び無宿失業者を宿泊保護するために昭和4年2月今宮保護所を設け昭和7年1月には大阪救護協會經營にかゝる今宮簡易宿泊所の建設を見たのであるが、前者は定員120名、後者は定員300名で、本市に於ける無宿者數は2,500餘名（昭和5年國勢調査）を算するに鑑みこれが增設を計畫中であるが、上記の大阪救護協會は市內篤志家の寄附41,729圓を仰ぎ、救護法による救護の罅隙に殘された無告の窮民を救濟し、隣保相扶の實を擧げるために昭和7年1月設けられたもので、上揭の無宿者保護善導事業をはじめとし、行路病人の應急救護、貧困者の施與に着々事業の伸展を計つてゐる。

このほか大阪市吏員中の單身者、學校教員のために共同宿舍、自ら資を得て修學するもの所謂苦學生のために青年宿舍の設備があり共に月20圓內外で暮せることになつてゐる。

更に質舖についていふと、本施設は中產階級以下の市民に對し最も簡便なる金融をなす目的のために設置したもので、現在天六、玉造、今宮、九條の四箇所の質舖は資金40萬圓の運轉によつて主として各市民館、住宅事務所でなされてゐる生業資本融通資金の運用と相俟つてよく庶民金融機關たるの役目を果してゐるが、本年8月には3萬圓を投じて南日東町に鐵筋コンクリート3階建（延建坪數98坪）を建設開所する豫定である。

又小賣市場は生活費の輕減と日用品需給の調節をはかり併せて小賣制度を改善する目的をもつて大正7年初めて設置したもので、現在では54箇所、店舖數2,064店、1日の賣上高約7萬圓、同入場人員27萬人內外にして昨年中の總賣上高は2,400萬餘圓であるが、昭和6年11月開場した中央卸賣市場と相呼應して愈々その機能を高めつつある。

食の保護事業としての簡易食堂については、現在本市には他の大都市の如く市直營の簡易食堂施設はないが、前述の5共同宿泊所並に海員宿泊所には簡易食堂を併置し大阪市勞働共濟會をして經營せしめ、更に此花區四貫島には千鳥橋食堂を經營し、榮養、價格の低廉、娛樂設備の點に充分力を注いでゐる。

家庭に浴槽を持たない大衆の私生活と密接な關係を有する意味に於いて經濟的保護事業とも見るべき浴場については現在本市は單獨の市營浴場は持たないが、櫻宮、鶴町第1期、第2期住宅の附屬的施設として3箇を經營せる外に、融和事業として3箇所に貸付浴場を持つてゐる。

以上は救貧制度及び經濟的施設の大樣であるが、更に失業保護施設についていふと、先づ本市の職業紹介所は勞働の需給を調節し雇傭條件を改善する目的の下に大正7年以來引續き設立したもので、現在13箇所の職業紹介所は夫々その所在地附近の情勢並に利用者の便益を考慮して事業を專門的に經營してゐるが、更に昭和8年度に於て約8萬圓を投じて南大阪に鐵筋コンクリート3階建の紹介所を開く豫定である。昨年中の取扱總數は一般職業紹介においては雇入申込數69,000餘、求職者378,000餘、紹介數51,000餘、就職數25,000餘、日傭勞働紹介にあつては雇入申込數1,265,000餘、紹介數1,260,000餘といふ成績を擧げてゐる。

併しこの上とも一層事務の敏活、紹介の確實を期し且つ適材適所主義を奉じ以つて職業の安定性及び永久性を保たしめねば到底勞働不消化の現狀を打開することが出來ないので

本市は鋭意紹介機關の整備充實を計ると共に、或は紹介の專門化各紹介機關の連絡統一或は求人口の開拓並に求職者の素質技倆の調査、或は就職者の保護及び勤續者の慰安奬勵等に努力してゐるが、就中給料生活者の消化は極めて困難であると共に、漸次この種失業者を增加しつつある現狀に鑑み特別の取扱をなす等專らこれが消化につとめ特に昨年 11 月から小額給料生活者失業應急事業を實施してをり、又近時婦人の求人求職共に著しく增加せるを以て婦人專門の紹介所を設置し一般婦人の紹介はもちろん、婦人給料生活者及び少女の紹介をも併せ行つてゐる。

併しながら失業の重要なる根治策の一つは少年期において適正なる職業を授けるにあるから、適性檢査、職業紹介又は選擇等の少年職業指導事業には特に一般の注意を拂ひ、或は小學校當局及び大口雇主を招集して其の意見を聞き、或は少年のために講演會或は實地視察を行ふなど專らこの方面に努力し、とりわけ少年少女の職業紹介は紹介並に紹介前後に於ける保護及び指導の重要なるに鑑み、小學校卒業後直ちに就職せんとする者に對しては豫め學校當局と連絡して職業の指導紹介をなし、その成績の如きも見るべきものがある。

一方天候その他により如何にもがくも 1 箇月僅かに 20 日位しか勞働の出來ない日傭勞働者の失業が近時著しく顯著となつたので、これが紹介に當つては其の體格に應じて作業を選び、且つ可及的に常傭主義に則り轉職の癖を矯正すると共に作業の習熟と興味の誘發につとめ、尙ほ彼等の經濟的自主獨立を主眼として貯金を强制し或は工事請負契約による中間利得者の介在を防いで勞働者雇傭契約の單一化と所得の增加を圖るなど、敎化修養の諸施設と相俟つて彼等の生活の向上に資してゐる。然るに日傭勞働者の失業は年と共に愈々甚だしく、殊に冬季においては其の傾向顯著にして公園その他に徘徊浮浪し社會の不安を增大する兆があつたので、本市は政府の補助を得て大正 14 年以來引續き一般勞働者失業應急事業を實施し、勞働紹介事業と相呼應して一意失業日傭勞働者の消化に努めてゐる。

尙ほ上記大阪市勞働共濟會は相互扶助の精神に則つて勞働者相互の福祉增進を圖り、且つ共存共榮の實を擧げんとするのがその大眼目であり、現在では傷害共濟の外に失業、宿泊、健康、信用等各種の共濟を行ひ、更に食堂、日用品の廉賣、勞働學校等を經營し、特に昭和 7 年 6 月 1 日から本市の職業紹介所の紹介による一般就職者に對し失業保險を實施して居り、又これと姉妹關係に立つ有限責任大阪市昭和信用組合は獨立自助と勤儉貯蓄の精神を實現するために、本市職業紹介所の紹介による三年以上の勤續者、市營住宅居住者、市民館の隣保地區居住者及び當社會部員によつて組織せられたもので、共に勞働者の福祉を增進する上において多大の貢獻をなしてゐる。

次ぎに本市の醫療保護施設としては、都市衛生の見地より全國各都市に率先して大正 6 年市外刀根山病院と市民の診療機關として大正 14 年開院した全科病院たる市民病院と 15 ケ所のトラホーム診療所があつて刀根山病院は主として本市住民にして療養の途なき肺結核患者を收容し、市民病院は病床 500 を有し一般患者を無料又は有料で診療し、昭和 5 年にはこれが出張所として 5 ケ所の診療所を設置した。

又昨年度に於て肺結核相談のために「北野」「朝潮」の 2 つの健康相談所が設置せられ更に

近く2ケ所を增設する豫定である。

更に兒童保護事業についていふと、現在「本庄」「今宮」「阿波堀」の3箇所の產院は胎兒及び母性保護を目的としてゐるもので、乳兒院は生後100日以上滿2歲以下の乳兒を晝間受託して所謂夫婦共稼の便を圖ると共に、一方乳兒の診療と併せて育兒上の相談に應ずる機關であつて、現在「堀川」「今宮」の2箇所の乳兒院を設置してゐる。また託兒所は學齡前の幼兒を受託しこれを指導して善良なる感化を受けしむると共に、その保護者をして安んじて業務につくの便宜を與へ、且つ兒童を通じて家庭を改善する目的の下に設置したもので現在8箇所の外に北市民館には保育組合、林間學校の施設を有し、前者においては專ら託兒の保育に當り、後者においては放課後の兒童の指導教育に當ることにしてゐるが、最近いま5ケ所を增設することになつてゐる。尙ほ大正、港、東、天王寺、玉出、此花、各市民館にも託兒部を設けてゐる。言ふまでもなくこれ等の施設は無產勤勞階級を對象としてゐる關係上、原則としては無料で利用せしめてゐるので、その成績の如きも見るべきものが少くないのである」

之を要するに社會事業の目的は社會福祉の增進にあるから、救貧並に防貧に關する各種施設を講ずるの要あるは勿論であるが、一面敎化的施設によつて社會民衆の精神的向上を圖ることは最も根本的であり且つ緊要な事柄であると謂はねばならぬ。

茲においてか本市は細民地區の中心となり、近隣居住者との人格的接觸によつてその精神的並に經濟的の指導援助をなすべき綜合的社會施設として、大正10年以後夫々特色をもつた「北」「天王寺」「大正」「浪速」「東」「玉出」「此花」の7箇所の市民館を設置してゐるが、その使命は主として敎化娛樂の方法によつて個人的人格の陶冶、家庭生活の改善を期し、且つ家庭的協調團欒を馴致し健實なる市民性を啓發するにある。而して去歲北市民館に畏くも聖上の臨幸を仰ぐの光榮に浴したことは、獨り同館のみの光榮にとゞまらず又以つて本市隣保事業、否社會事業全體の名譽として特記に價するものである。

又本市に於ける融和事業も亦新市方面に於ける過群地帶の改善向上、同胞融和、生活改善の促進を目的とするもので、實施事業の主なるものは講演會講習會の開催、住宅、共同浴場、理髮所、託兒所、青年會館、診療所及び市民館の建設、水路の開鑿、道路の改修、簡易水路の敷設、墓地及び地區の整理、產業の助長等で、現に小住宅託兒所、市民館を建設してゐる外、共同浴場、理髮所、診療所及び共同作業場を完成し、地區整理も順調に進捗してゐる。

以上は本市社會施設の大様であるが、既存施設の活用をはかり更に新計畫を樹立するには常に各種社會病態を科學的に把握せなければならない。蓋し科學的に精密なる調査を遂げずして社會事業を行ふことは、解剖病理を辨へずして診察治療行ふと選ぶところなく、所謂誤りたる社會事業はなきに如かざるの弊害に陷るべきは理の當然である。こゝを以つて本市は特に調査機關を設置し、市民の福利を增進するために社會の實相及び市民の生活狀態を組織的に調査して實際施設の參考を提供すると共に、一方社會部報告の發表によつて一般市民の都市社會狀態に對する注意を喚起してゐる次第である。

大阪市に於ける社會事業建築に就いて

新　名　種　夫

大阪市に於ける社會事業施設として建設された建築は、その數非常に多く、その種類も亦可成に多方面に渉つて居るが、大別すれば大略次の如く分類することが出來る。

1 救貧施設
　養老院、育兒園、保護所、施療病院等。
2 經濟的保護施設
　市營住宅(2149戸)　市營集合住宅(4個所、19棟、728戸)　共同宿泊所 7個所)　小賣市場(54個所)　質舖(4個所)等。
3 失業保護施設
　職業紹介所(11個所)
4 醫療保護施設
　健康相談所(現在 2 ヶ所)、結核病院、臨海保養所(淡路島)、市民病院等。
5 兒童保護施設
　産院(3個所)、託兒所、保育所、郊外學園(六甲)等。
6 社會教化施設
　市民舘(7個所)

以上は現在既に設られたるものであるが、各施設共可成多くの建築が現在計畫中である。

これ等の施設の中、救貧施設は、大阪市に於ては、財團法人弘濟會の事業として行はれて居るものが多く、醫療保護施設の大部分及兒童保護施設としての産院は市保健部の所管(市民舘に於ける簡易醫療施設は隣保事業として社會部に所屬)、小賣市場は産業部、他は全て社會部の管轄に屬して居る。

× × ×

以上の如く、社會事業施設としての建築はその種類極めて廣汎であり、建築のあらゆる部門に渉つて居る爲に、社會事業建築の計畫に就いて、總括的に述べると言ふことは非常に困難である。但、それ等建築の目的が、何れも貧困者の救恤保護にあり、社會の福利增進にある以上、建築計畫上にもその點一脈相通ずるものがある筈である。

社會事業施設の建築計畫の當初に當つて、最も困難を感ずるのはその敷地の撰定である。言ふ迄もなく、敷地はその建築を利用するものの、最も多く集れる地區に選定さるべきであるが、かかる地區程敷地買收、立退等に面倒が起り勝である。こうした地區の居住者に普通以上に立退を澁るものが多いのと、建物の性質に依つて附近の居住者が反對運動を起すこと等がある爲である。共同宿泊所、職業紹介所、結核病院、健康相談所等の敷地は、

餘程沈重にこれを選定しなければ、"こうした災厄に遭ひ勝である。三井より政府へ献納の三百萬圓の使途の一部として、六大都市に建設せられた無料宿泊所の建築敷地など、その選定に當つては、各都市殆んど例外なしに附近住民から反對を喰つて居る。大阪、京都など、その爲に最初決定した敷地の變更を餘儀なくされた程である。

計畫者としてはなるべく反對の少ない適當な敷地を選定すべきは勿論であるが、社會事業に對する一般のよりよき理解が望ましき次第である。

社會事業建築に對する工費は、大抵その要求する建築面積に對して決して豊ならざるを普通とする。多くの場合、最低限度に近い數字が示される。これは計上された豫算よりも、現在の社會事業はより多くのものを要求して居るからではあるが、ここに建築設計者の苦惱がある。社會事業建築なるが故に最低限度の建築であつてよいと言ふわけはなく、寧ろ社會事業建築なるが故に工費以上によき建築を欲するからである。住宅の設計に於て特に此感を深くする。

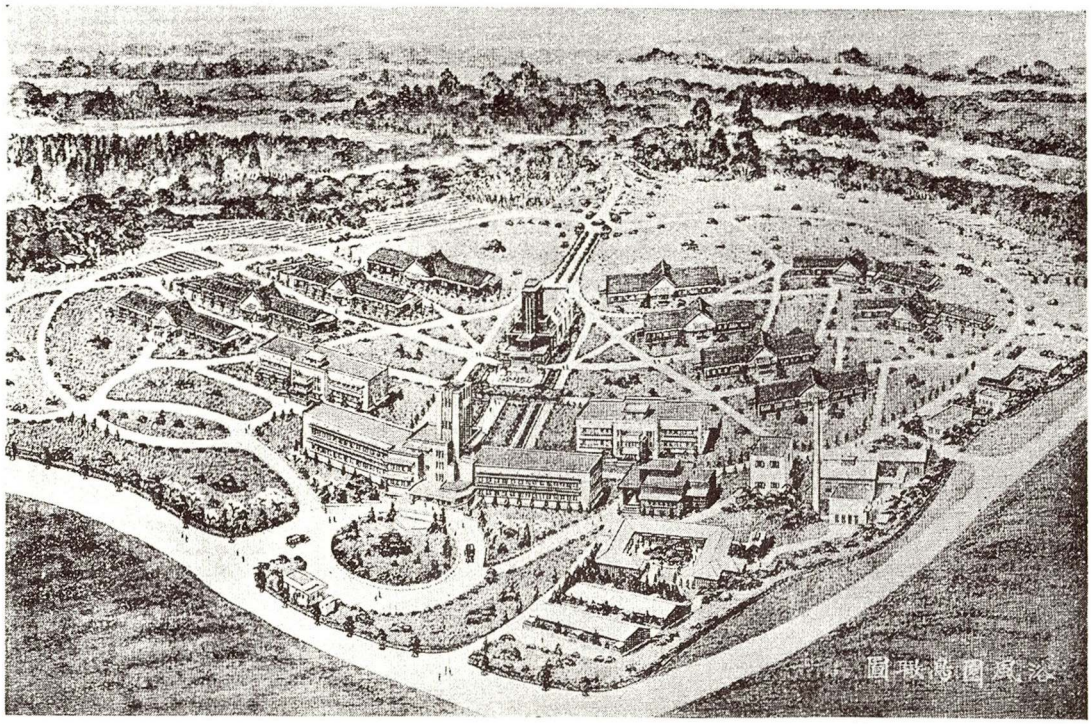
社會事業建築設計に當つて、特に注意しなければならない點は、能ふ限り多くの人をしてそれを利用せしめ得る樣に計畫すると言ふことである。建築の何たるを問はず、全て輕い明るい外觀の、近附き易いものであることが必要である。先づ建築利用者の感情を理解することが必要である。各部の色彩もソフト・トーンのものを用ひ、なるべく刺戟的な色は避ける。細かいことであるが、出入口の位置を適當にし、入口にはなるべく段を設けず道路よりレベルに入り得る樣にし、扉は硝子入の輕いものを用ふる。

建物の性質上、低地濕地の敷地に建てられる場合が多い故に、防水、排水の完全を期するは勿論、木造の場合には床下の防濕に注意を要する。

スラムに建つ建築として、現在の社會狀態では已むを得ない事實かも知れないが、そして、かかる現狀なればこそ社會事業の必要が叫ばれるのであろうが、新しい建築が出來上ると、照明器具、銅の竪樋、水道ガラン、溝及下水マンホールの蓋等の金物の容易に取外し得るもので、近より易きものは殆んど例外なしに忽ち持ち去られる。これを防止する爲に特別の注意が必要である。例へば——

照明器具はなるべく天井に固定する樣にし、捥ぎ取り易きブラツケツトやペンダント等を避ける。竪樋は地上2米位まで瓦斯管又は石綿管等を用ひ、水道ガランの戸外にあるものは取附けた後取外しの出來ない樣に固定する。溝及マンホール等の蓋は裏面に鎖を附けてコンクリート壁に埋込んだ金物に連結しておく等。

社會事業建築設計に就いての一般的注意は大略以上の如くであるが、個々の建築に對する注意は圖面の說明の中に述べられる筈である。社會事業の發達が最近のことに屬する上に、切り詰められたる工費の關係上、現在までのものは大阪市に於ては集合住宅、共同宿泊所、職業紹介所等のほか、殆んどバラツクに近い木造建築であるが、それ等のものも近き將來に永久的建築に建て換へられる時期が來るであらう。(終)



鳥　瞰　圖

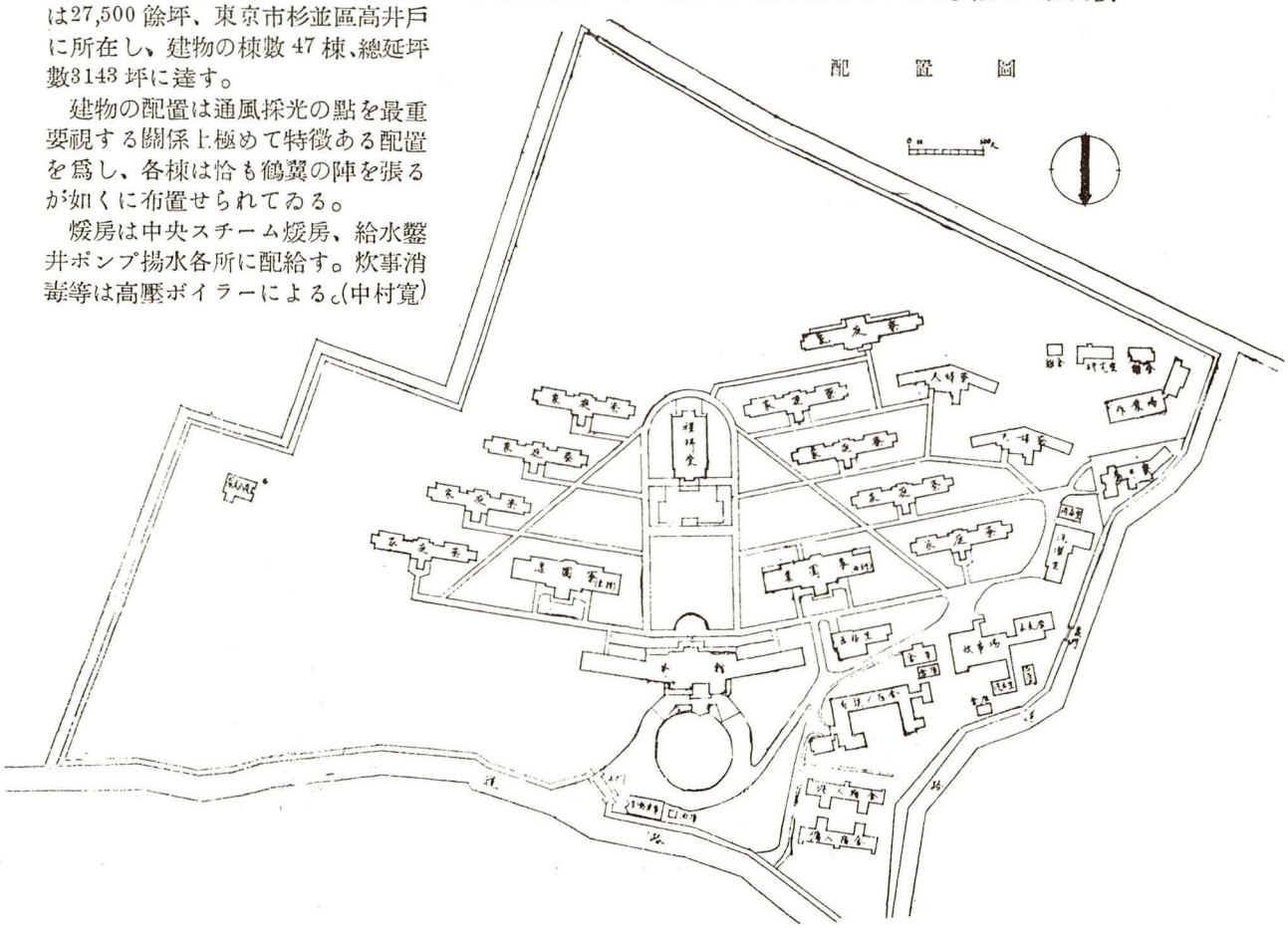
浴　風　園

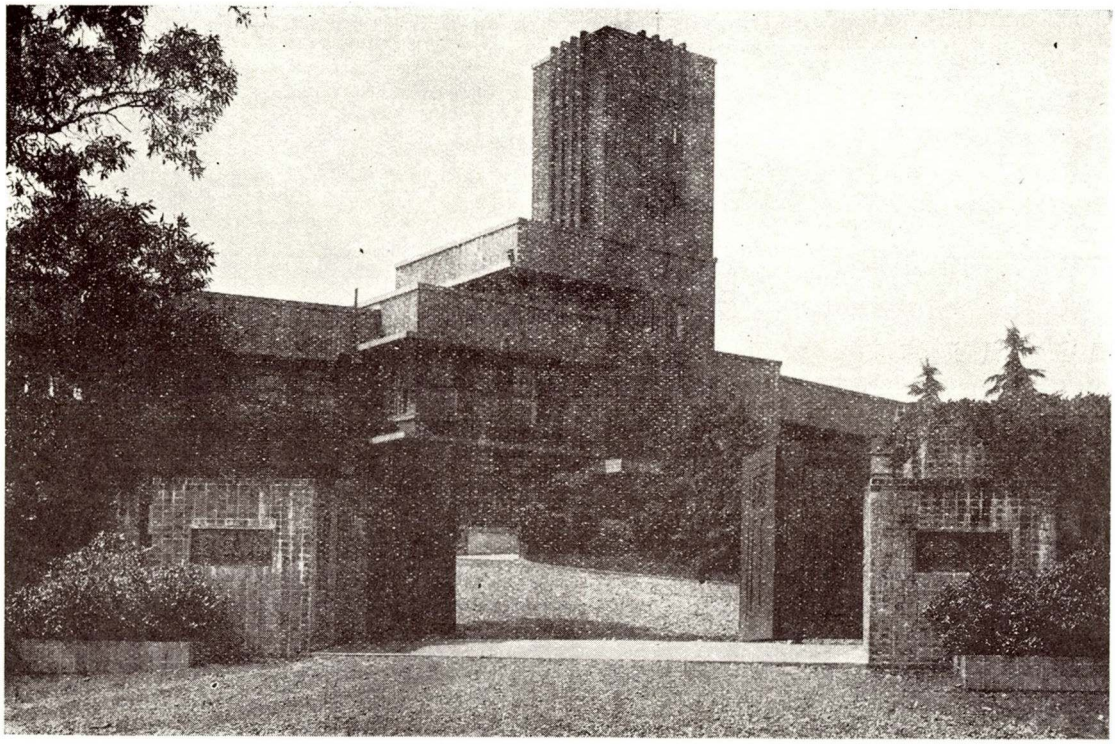
浴風園は我國養老施設として最も代表的なものである、本館の創立は關東大地震を契機として設立せられたるもので、宮中御下賜金並に一般義捐金2,000,000圓を以て基本金としてゐる。敷地の總面積は27,500餘坪、東京市杉並區高井戶に所在し、建物の棟數47棟、總延坪數3143坪に達す。

建物の配置は通風採光の點を最重要視する關係上極めて特徴ある配置を爲し、各棟は恰も鶴翼の陣を張るが如くに布置せられてゐる。

煖房は中央スチーム煖房、給水鑿井ポンプ揚水各所に配給す。炊事消毒等は高壓ボイラーによる。(中村寬)

配　置　圖

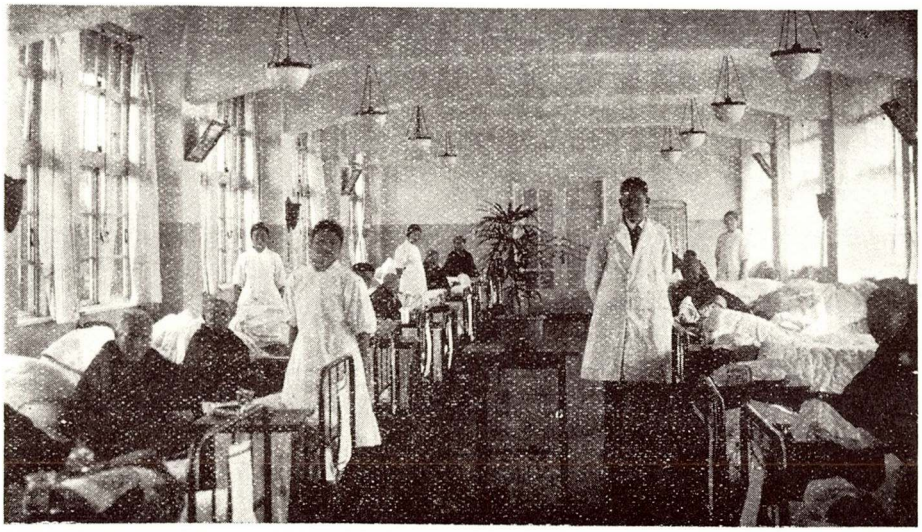




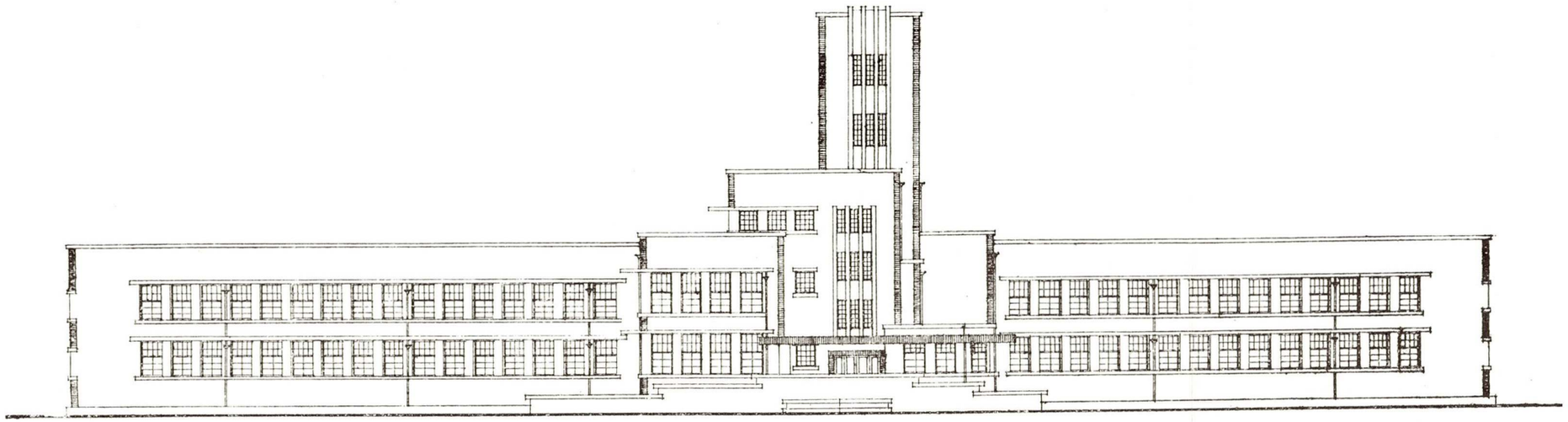
本　館　外　觀

本　舘

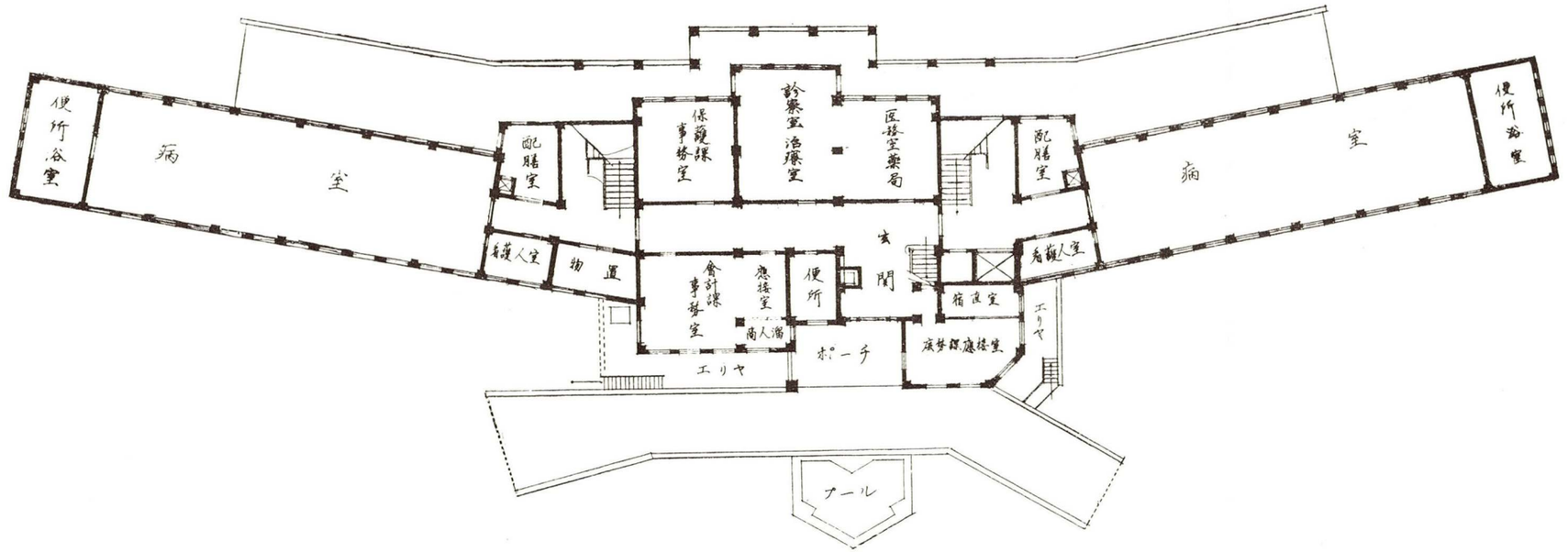
本舘は鐵筋コンクリート造、2 階建、一部 3 階一部地下室附にして延坪數 654 坪、中央に事務室及藥局等を設備し兩翼の階上階下とも病室とし之れに看護婦室、配膳室、浴室便所等附屬必要設備をなし、ベツトの總數 92床、地下室に煖房機械電氣の各室を設置してある。　（中村寛）



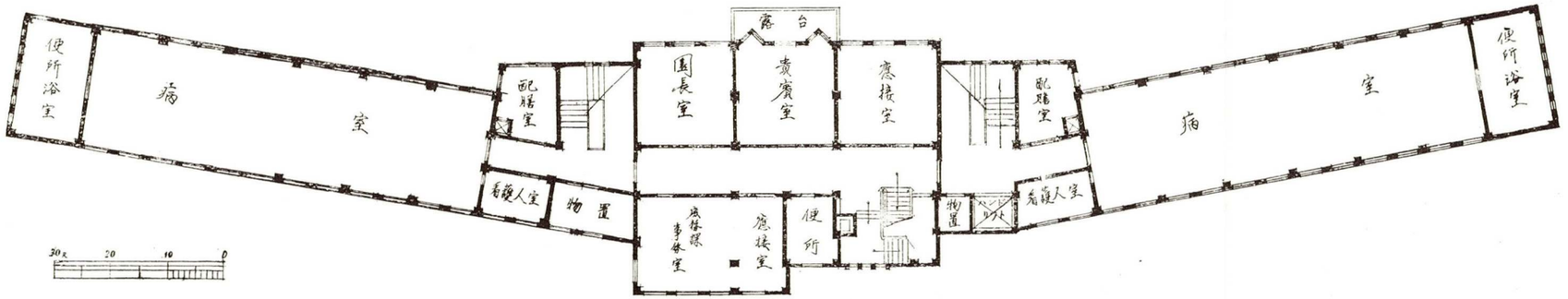
病　室



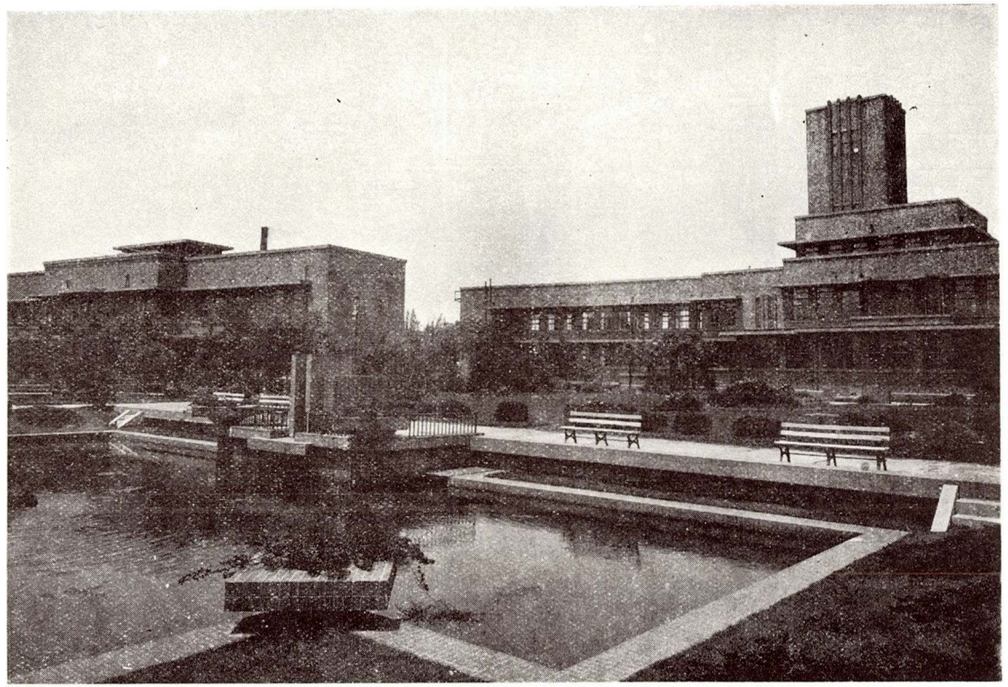
本館正面



1階平面圖



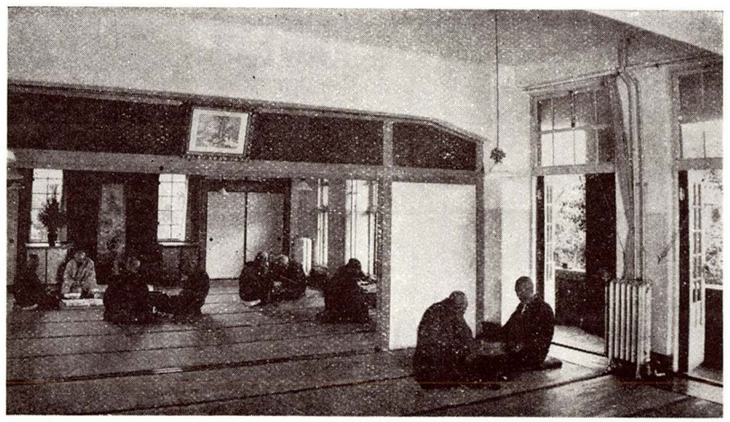
2階平面圖

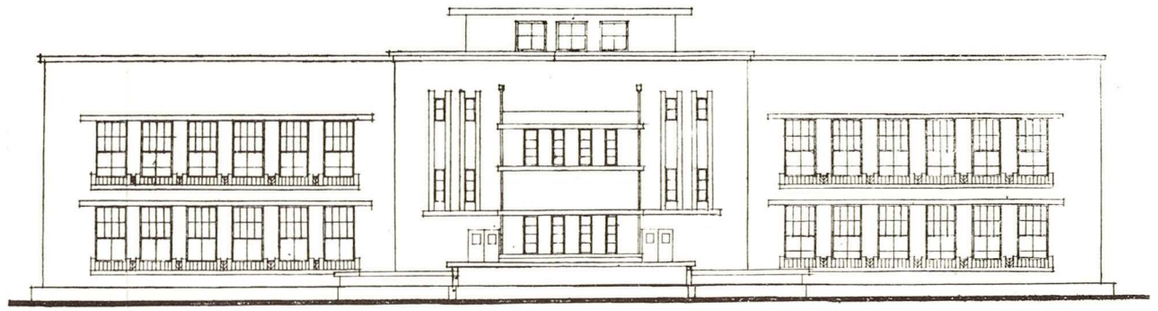


本館後庭及集團寮

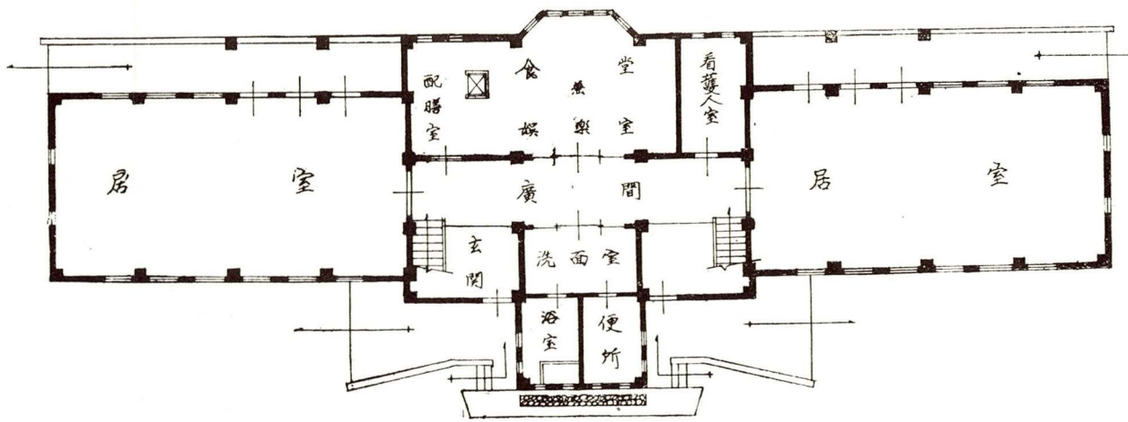
寫眞の左側に見ゆるのが集團寮であつて鐵筋コンクリート造2階建、延坪數258坪、1•2 階共各中央部に寮姆室、食堂、配膳室、浴室、洗面所等を設け、兩翼に約25疊敷定員10人の集團居室が階上階下に 4室あり。前面泉水に對して東西2棟の集團寮を布置せらる。　（中村寛）

集團閤內部

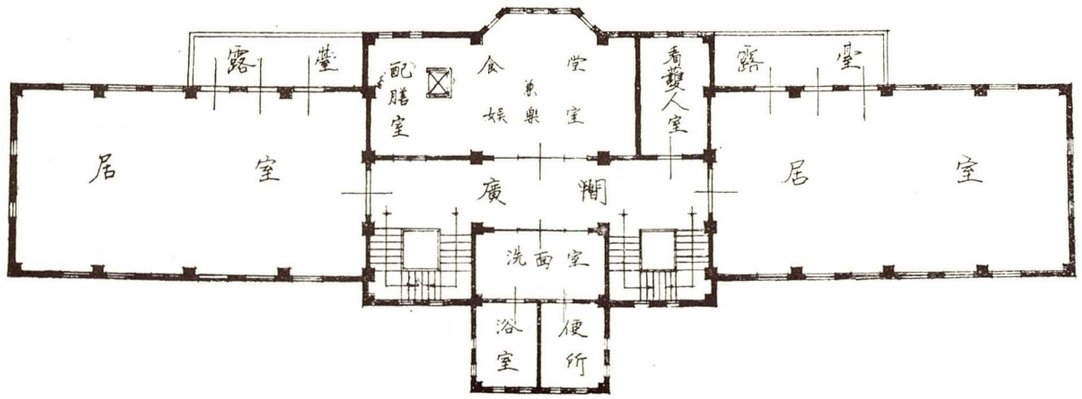




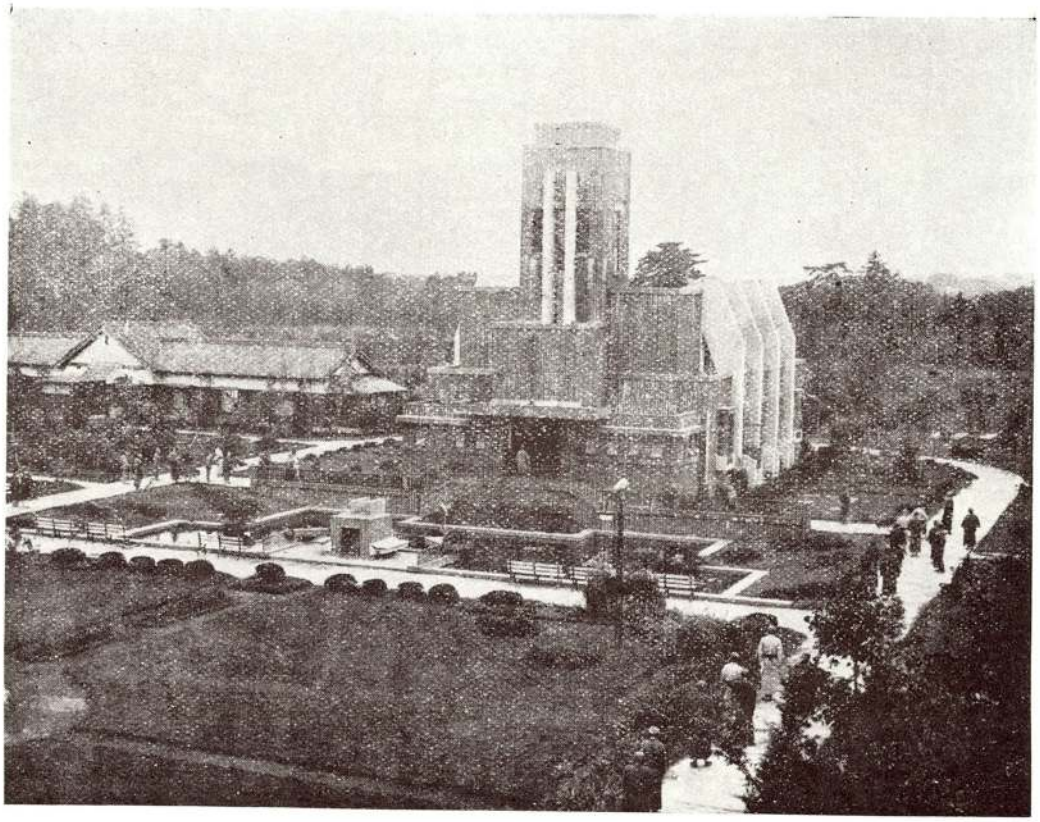
居室正面圖



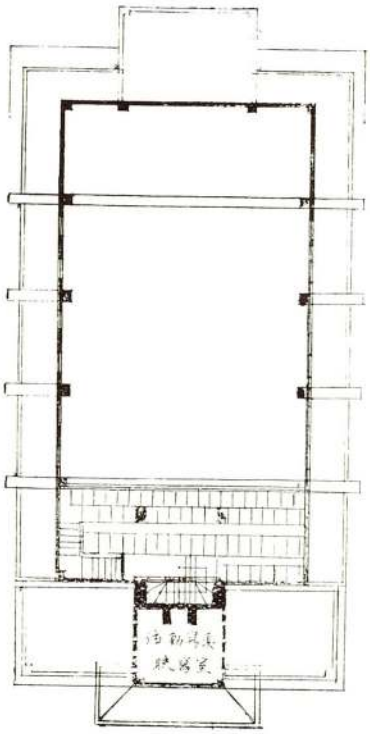
1 階平面圖



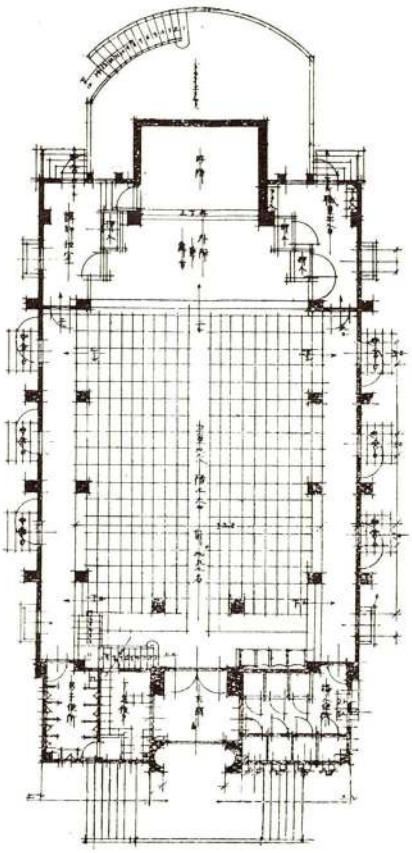
2 階平面圖



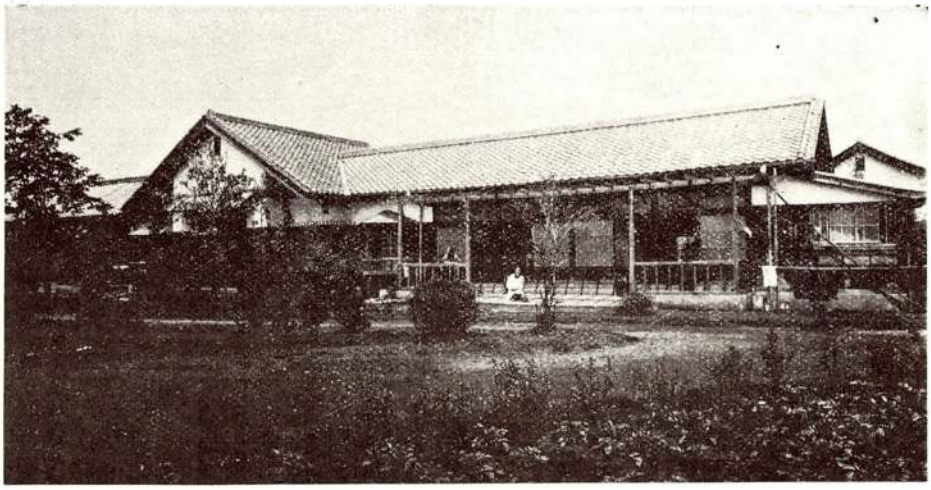
禮拜堂外觀



1階平面圖



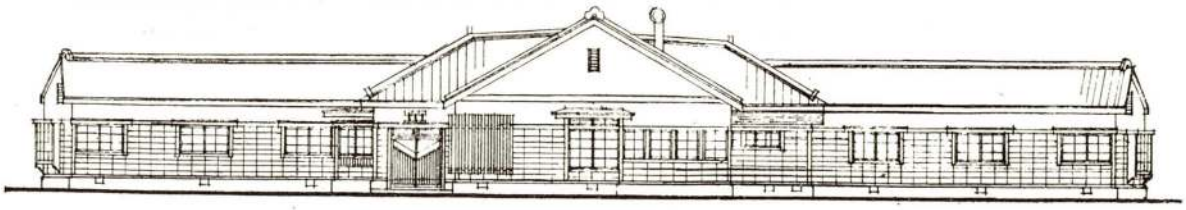
2階平面圖



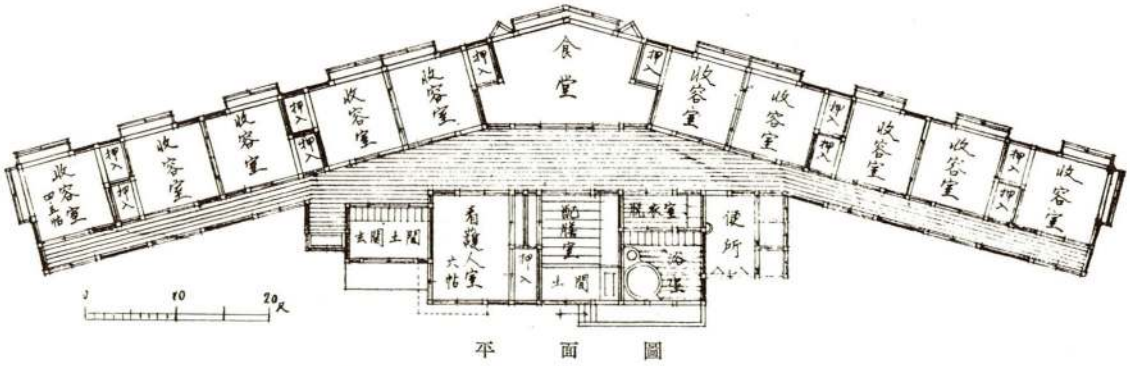
夫婦寮

夫婦寮は2棟木造平屋建、延坪124坪、1室一夫婦單位にして1棟10夫婦を收容す。

（中村寛）



正面圖



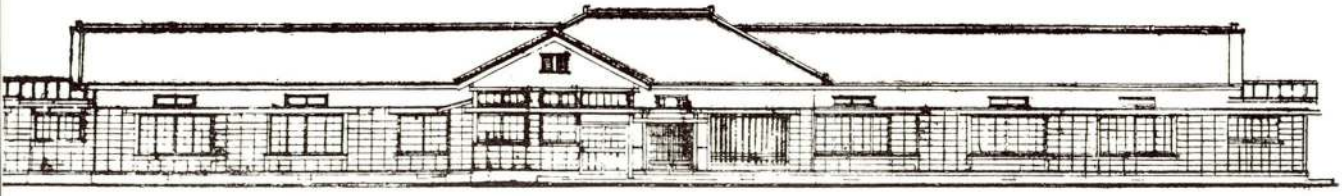
平面圖

作業場

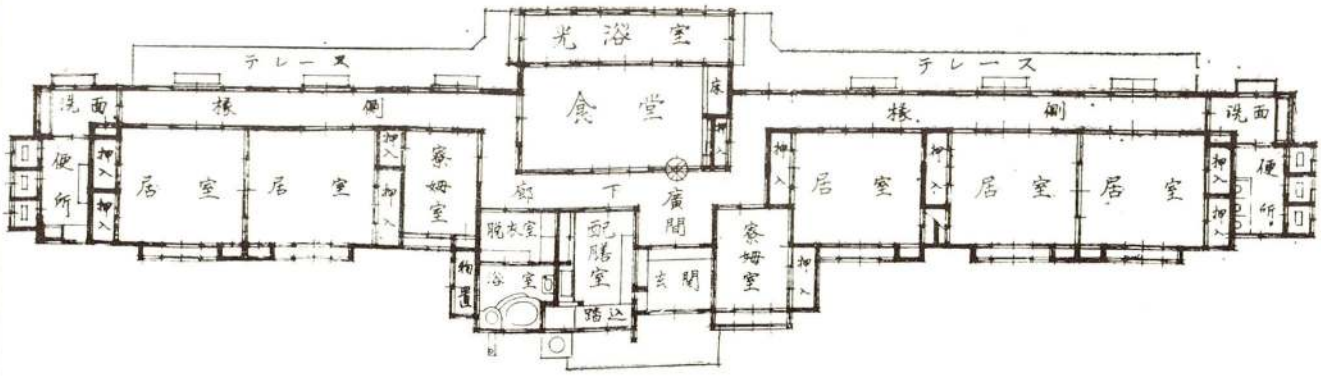


作業場

病弱なる者を除き、毎日若干時の輕易なる勞働、袋張り、熨斗貼り、裁縫等を課する室にして、其外の勞作として除草、園藝、養鷄養豚等がある。（中村寛）



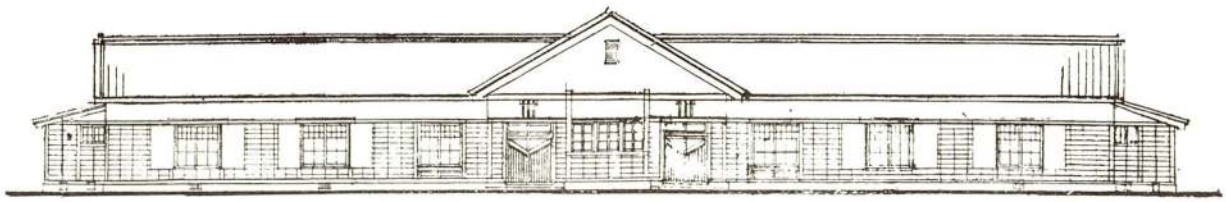
正　面　圖



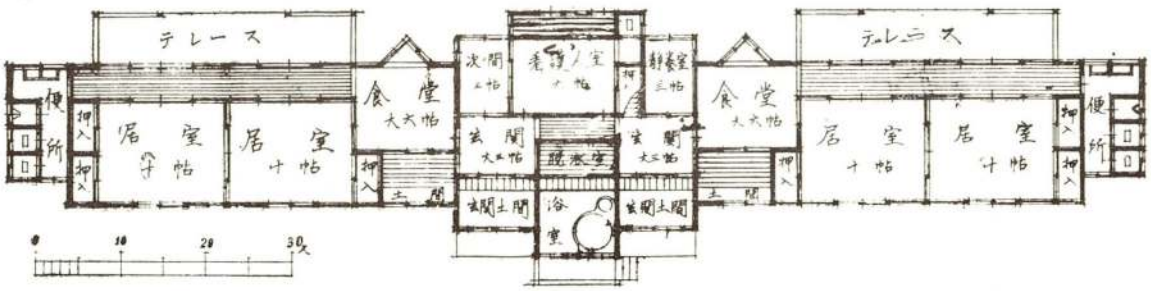
家庭寮（其一）　　平　面　圖

家　庭　寮

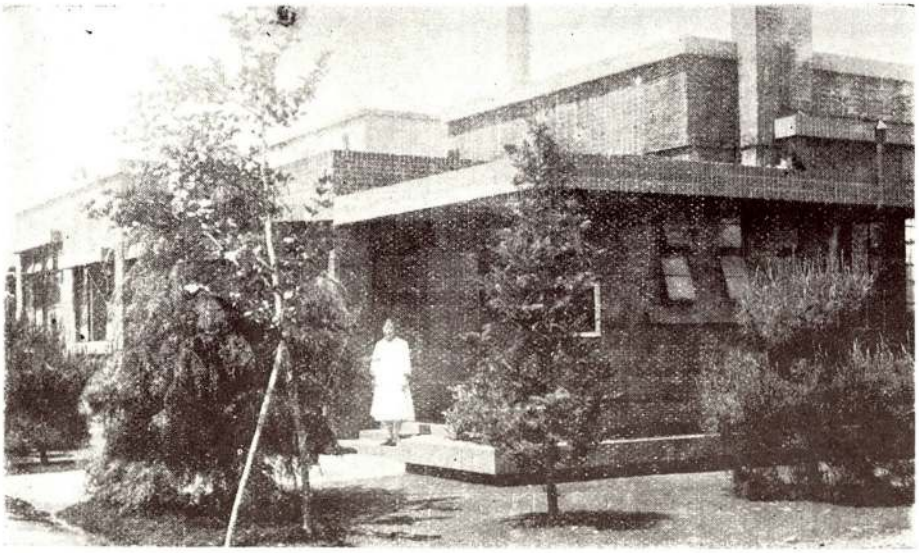
家庭寮は9棟、延坪數687坪、木造平屋建である、總じて高齢者が團體的生活に慣れざる苦勞と其の後の生活を送るには集團的居室は不適當と認め、出來る丈け小集團の寮舍に收容して成可く家庭的、雰圍氣を助成する目的を以て設けられたるもので、本會は主力を之に注いでゐる。家庭寮(その一)は極めて最近の建築に屬し過去數箇年の經驗に徵し改善せられたるものである。　（中村寛）



立　面　圖



家庭寮（其二）　　平　面　圖

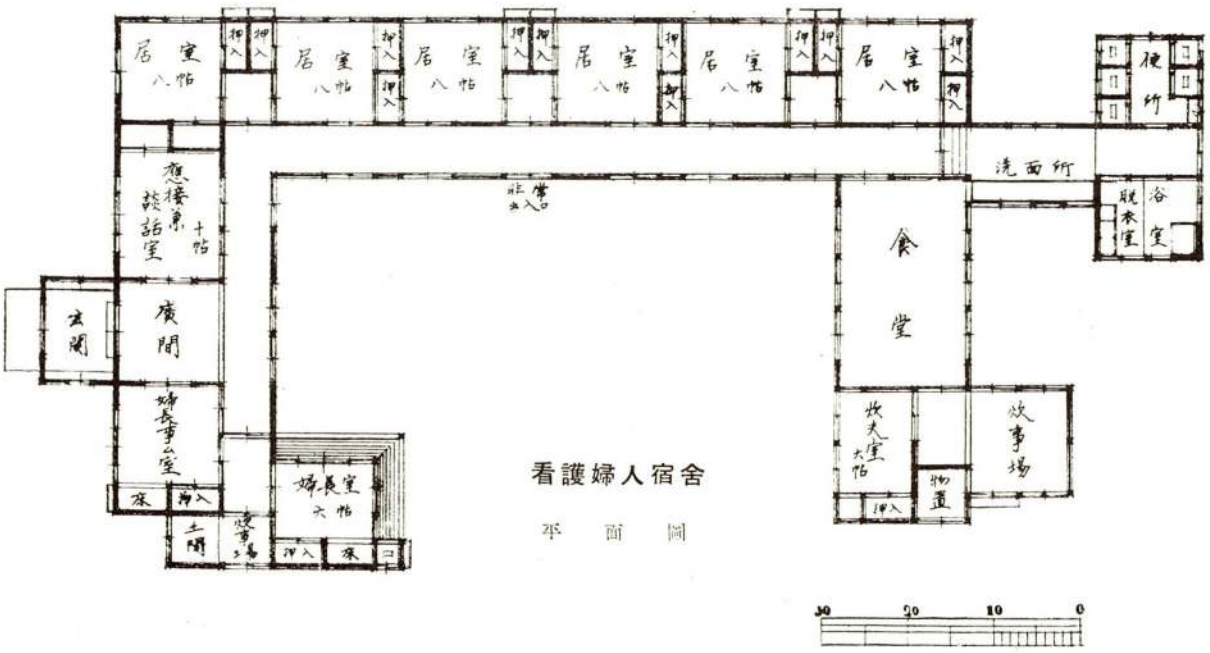


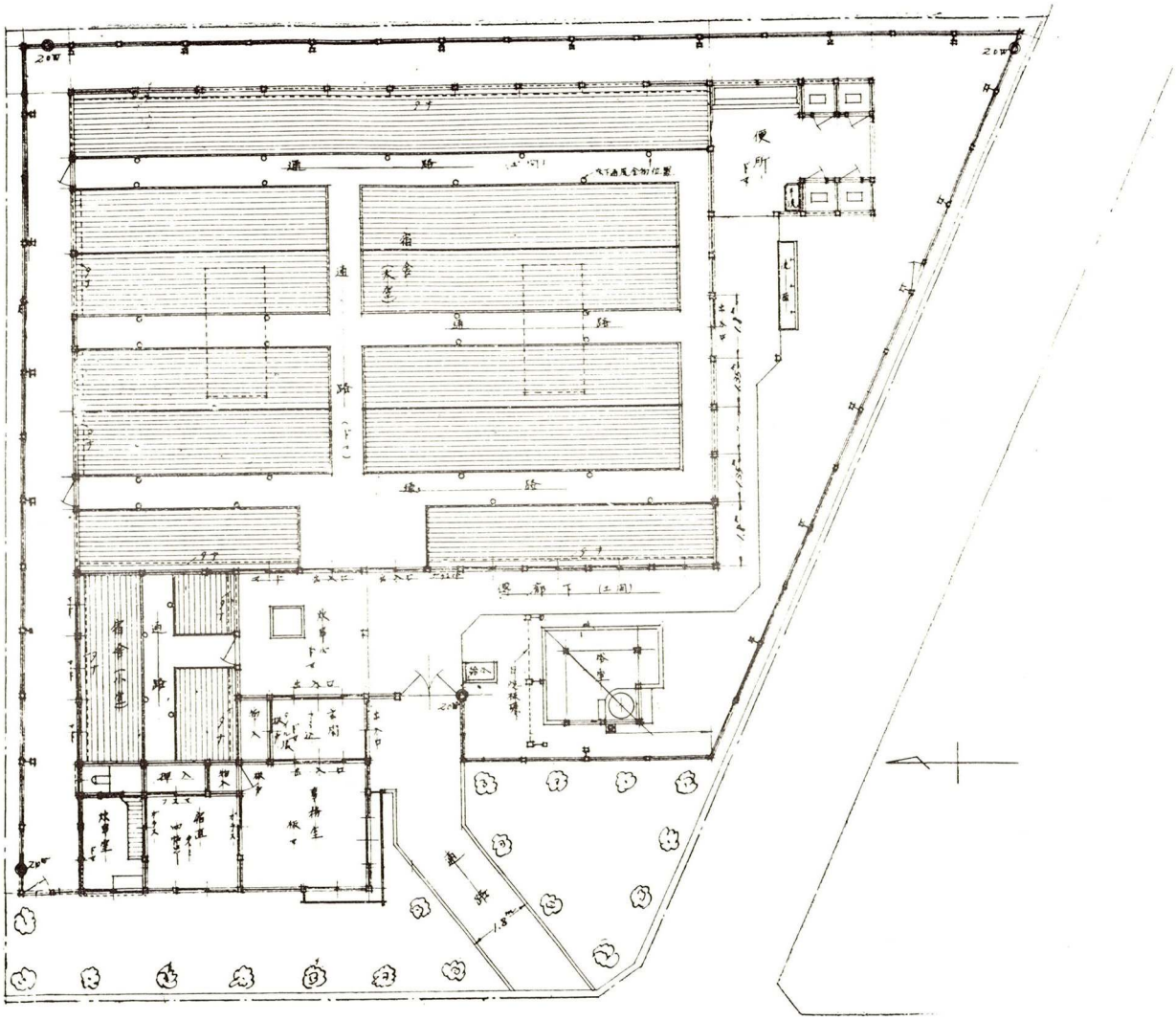
醫　務　室

醫 務 室

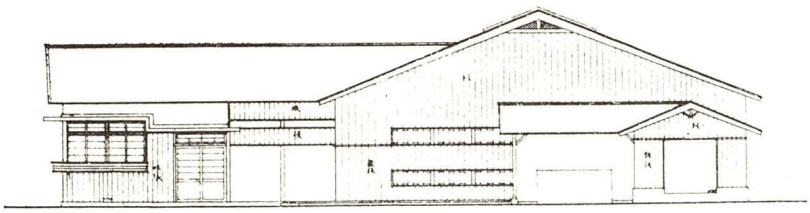
醫務室は鐵筋コンクリート造平屋建一部木造にして、診療室、解剖室、外科治療室、化學研究室、細菌研究室等の設備を設け我國老齢疾に關する醫學的研究の中心機關となつてゐる。東京帝國大學醫科大學の依託研究所ともなり養老施設研究の指導的位置にある。

（中村寛）

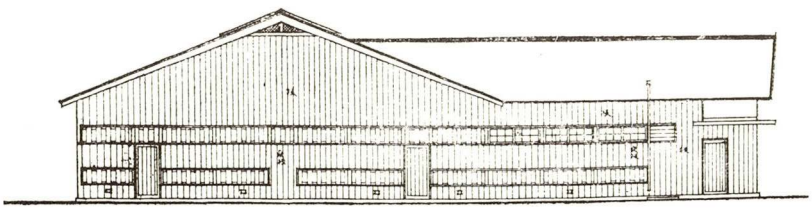




平　面　圖



南　面　立　圖

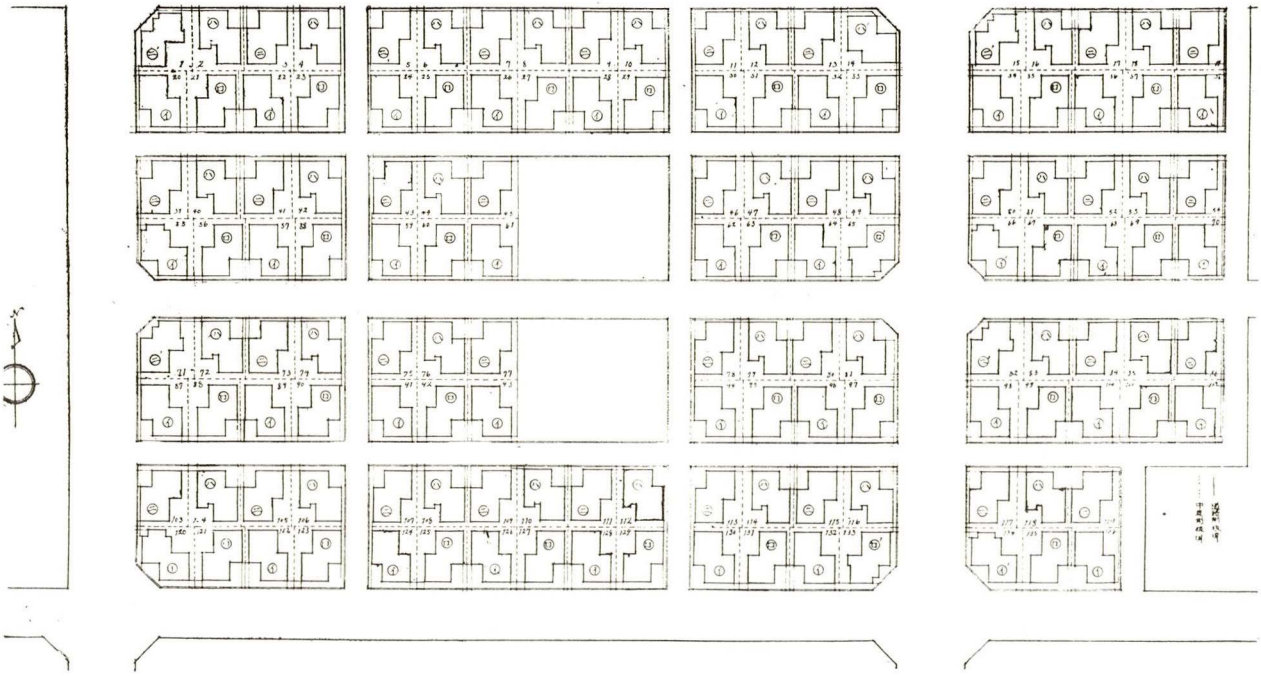


北　面　立　圖

保護所

困窮なる被救護者、準行路病者その他の緊急救護を要するものを一時收容する施設である建物も極めて粗末なバラツクであるが、此種建物の一例として鶴橋保護所を掲げる。

建物の主要部分は宿舍が 267.8 平方米を占め、それに事務室、炊事場及別棟の浴室及便所が附屬して居る。宿舍へはコンクリートの通路より直接出入出來ると言ふ極めて簡便な建物である。　（新名種夫）



配　置　圖

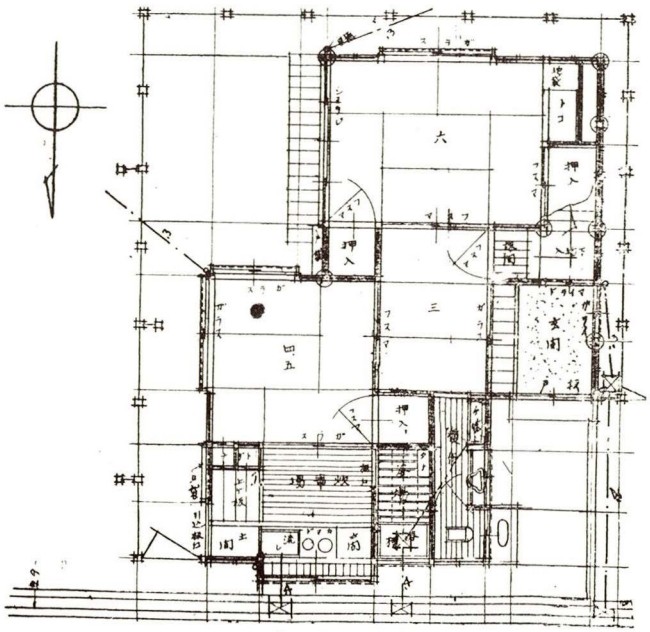
大　阪　市　營　住　宅

市營住宅は1戸建、2戸建、平家建、2階建等場所に依り、目標とする階級に依つてその設計も可成に異つて居る。杭全住宅は中產階段の爲に建てられた市營の月賦住宅である全部で102戸あるが、1戸當敷地坪數約23坪、建物は平均建坪12坪25、延坪19坪の木造2階建瓦葺外部鐘下見張である。

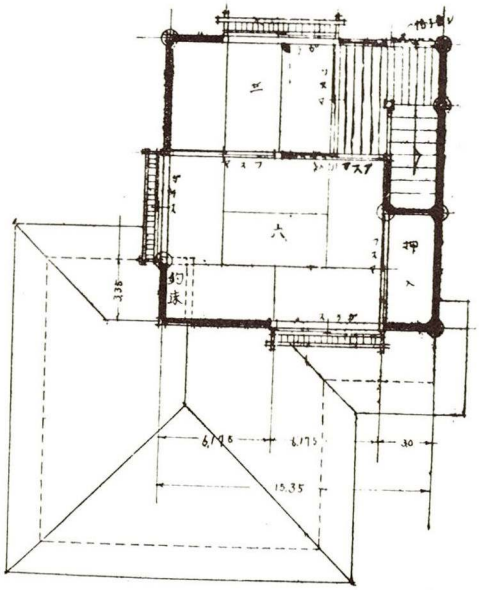
1階——6帖(床押入附)、4.5帖、3帖、炊事場(1.5坪)、浴室(.5坪)、玄關(1坪)、便所(1.25坪)

2階——6帖(押入附)、3帖

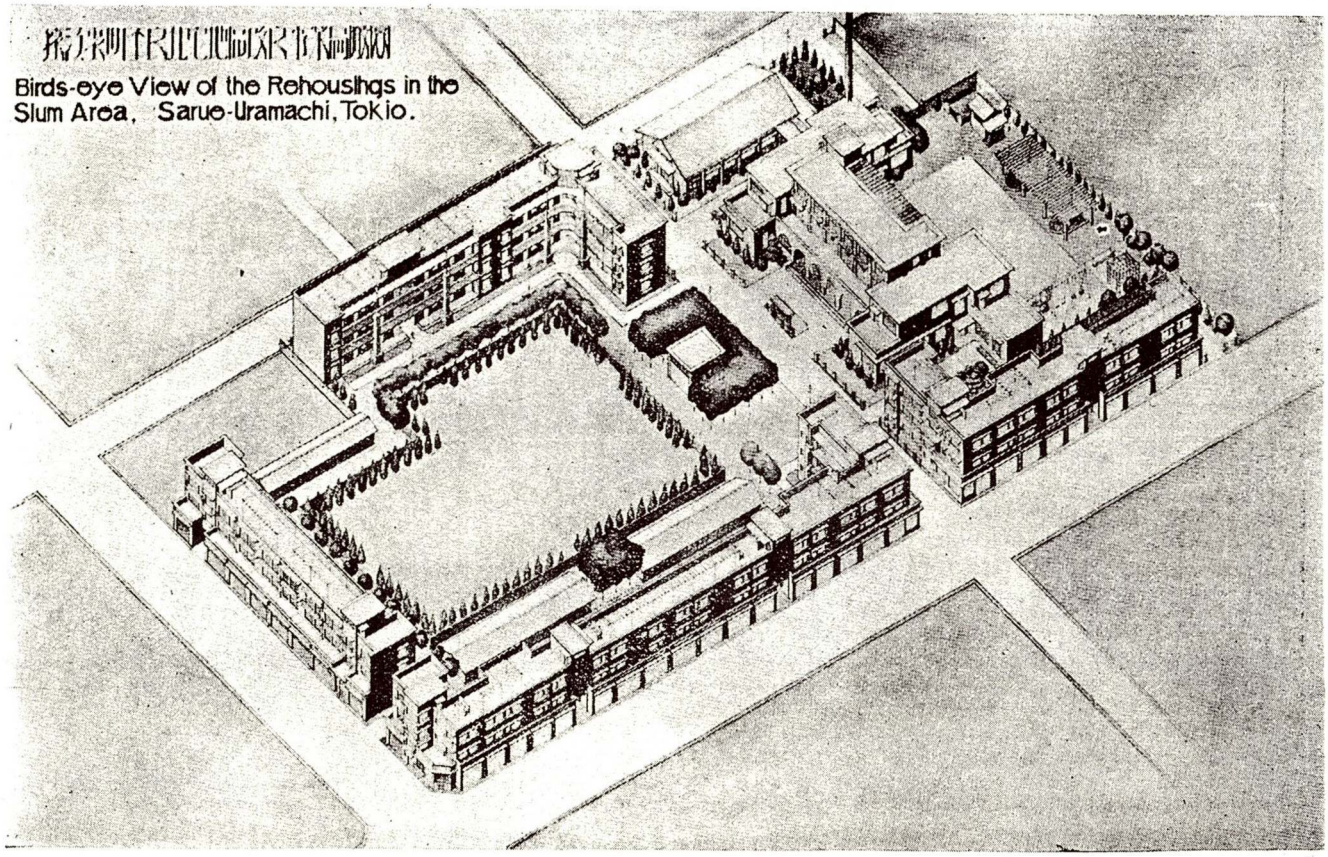
(新名種夫)



1階平面圖



2階平面圖



東京市深川區猿江善隣館

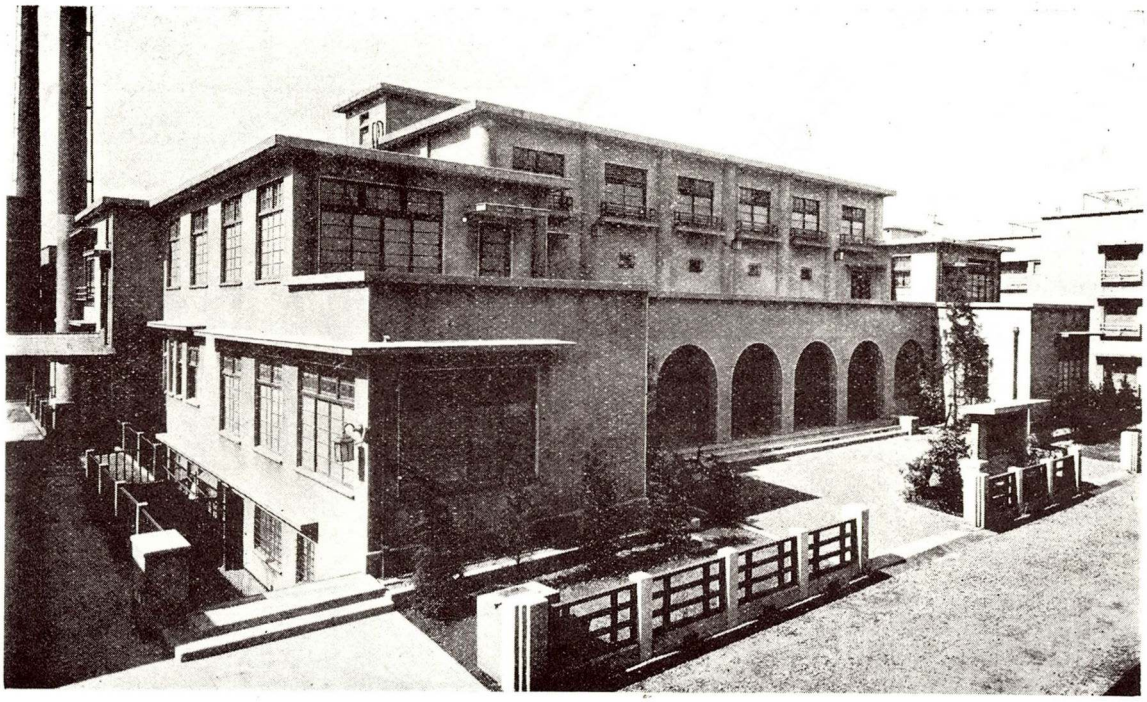
猿江裏町は東京市に於ける代表的な貧民窟であつた。昭和2年より工を起し、不良住宅を撤去し鐵筋コンクリート造3階建の勞働者向き共同住宅を建設し、その住宅區域の中心に地區內居住者の精神的善導、經濟的保護、托兒等の事業を綜合せる所謂セントルメント・ハウスとして猿江善隣館が生れ出たものである。

善隣館は鐵筋コンクリート造2階建、一部3階地下室付にして別に木造平屋建の託兒、運動場、授產場があつて、その總延坪數716坪である。

善隣館の事業は兒童部、教育部、經濟部、體育部、診療部に分たれ、兒童部は乳幼兒晝間托兒、健康相談、兒童文庫、日曜學校、教育部は夜學、講演、講習會、成人文庫、經濟部はアパート管理、授產貯金奬勵、職業紹介、社會部は人事相談、法律相談、ケレスオーククラブ、慰安會の各事業を行ひ、診療部は本館に隣接して設けられた實費診療所たるアソカ病院に依托してゐる。

この建物の建築上の特質は地區內居住者に對しイージリイ・アクセス、即ち恰も路傍の樹蔭に憩ふほどの氣樂さで建物を出入せしめ、その間に各種の社會教化を不知不識の間に行ふの目的を以て設計された點である。

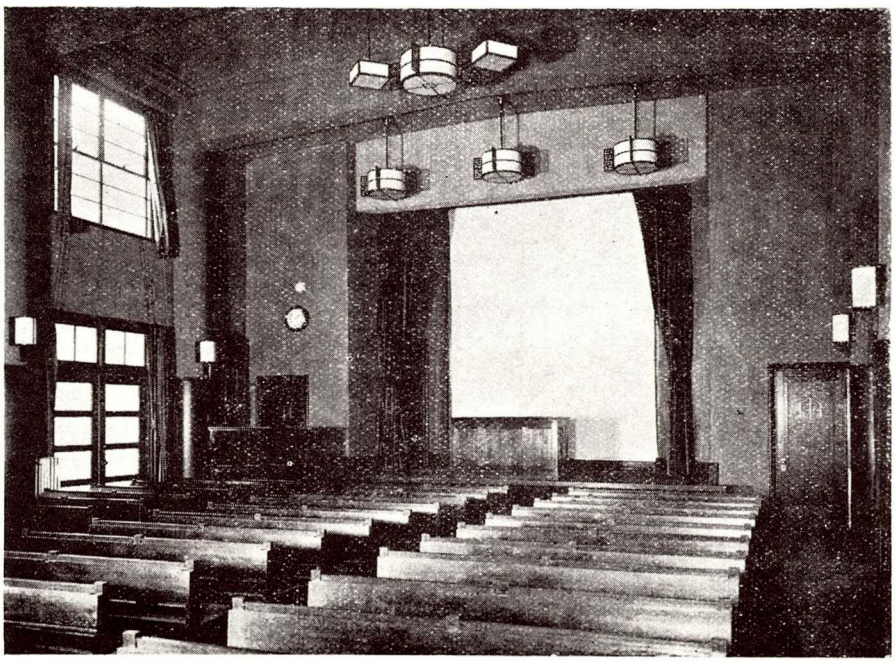
（中村寛）



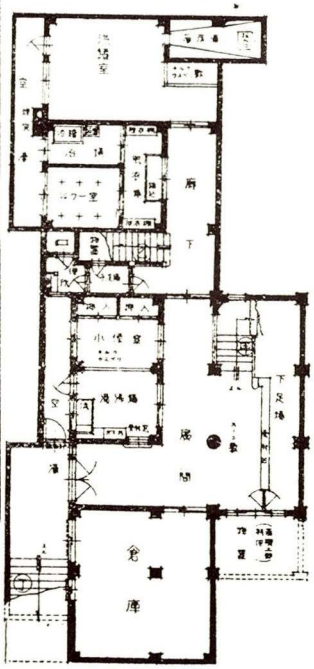
外　　觀

善　隣　舘

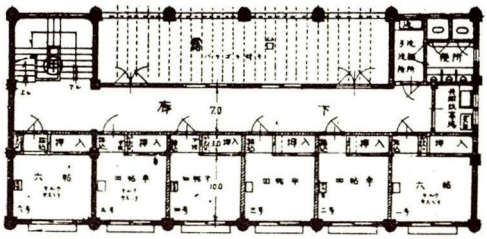
講　　堂



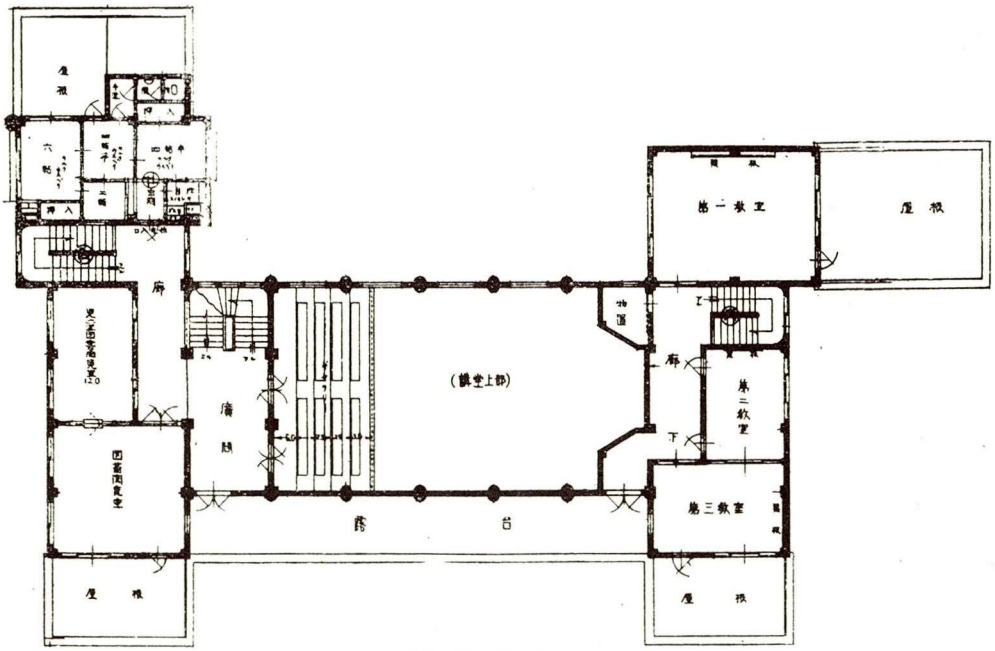
地階平面圖



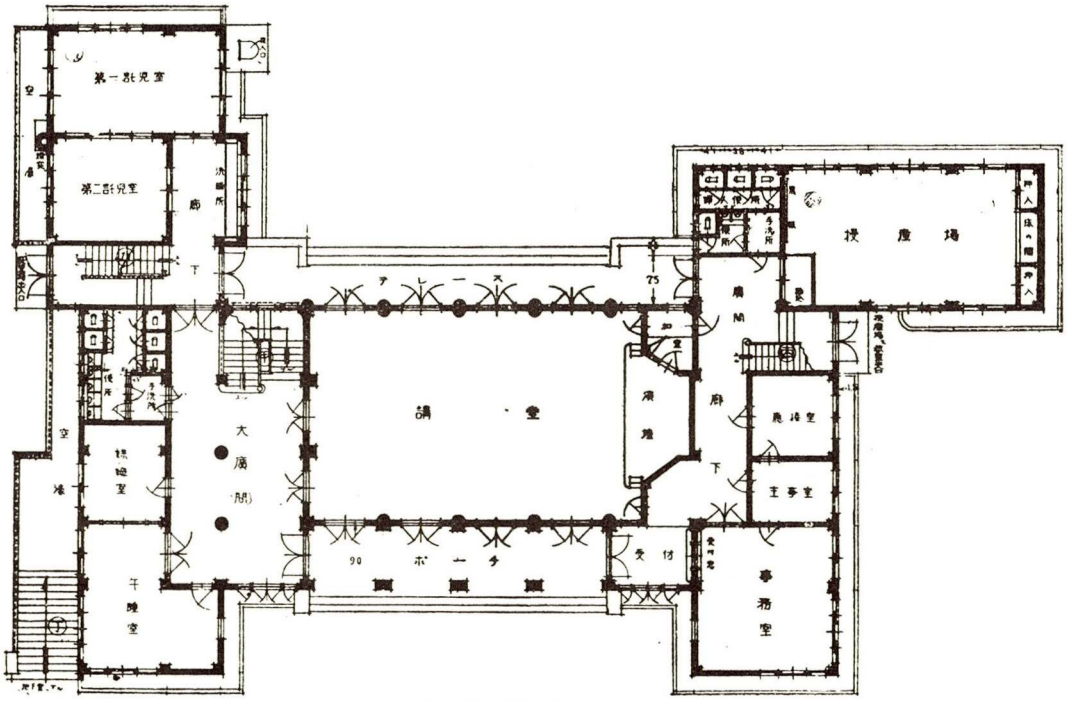
東京市深川區猿江裏町善隣館



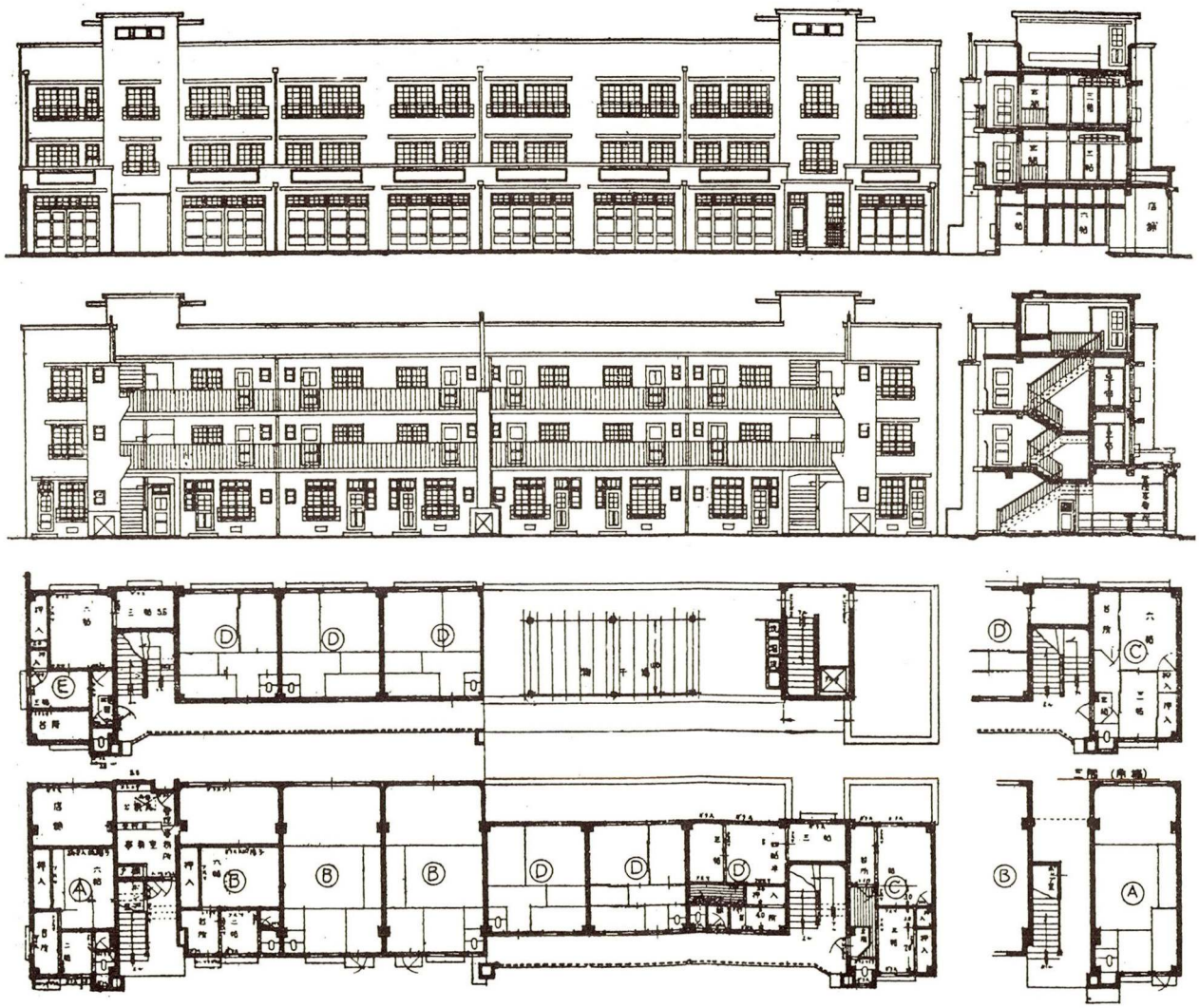
3 階 平 面 圖



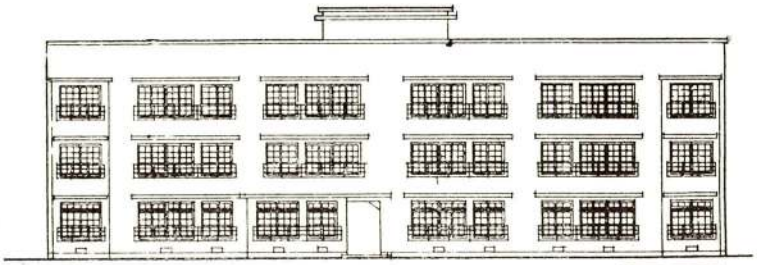
2 階 平 面 圖



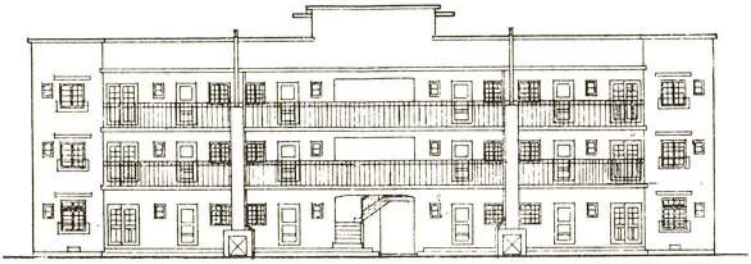
1 階 平 面 圖



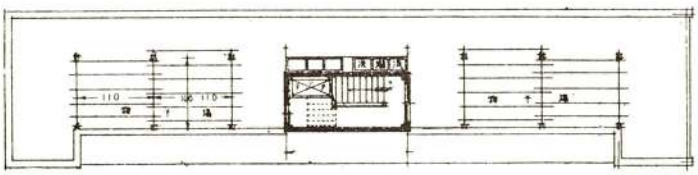
東京市深川區猿江裏町住宅



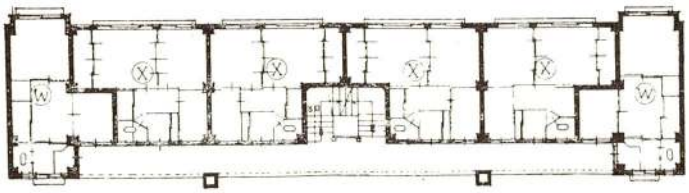
正面（南側）



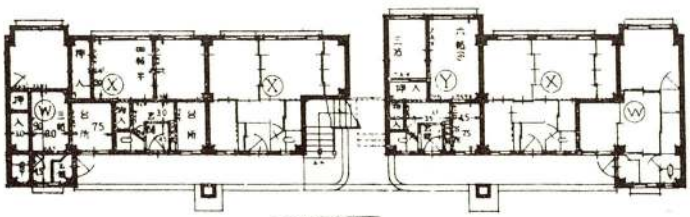
背面（北側）



屋根階平面

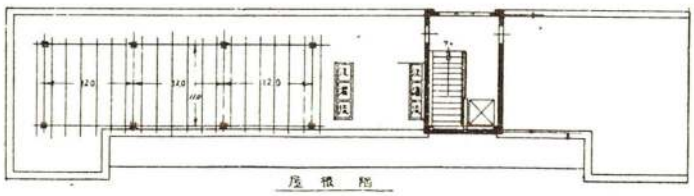


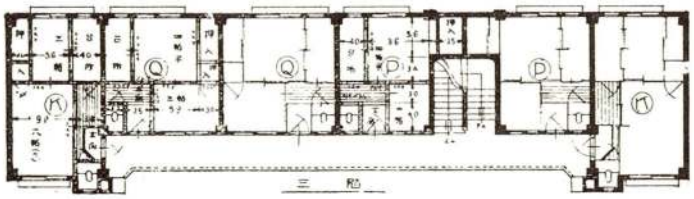
二、三階平面

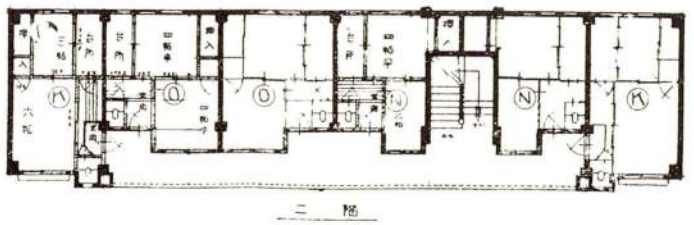


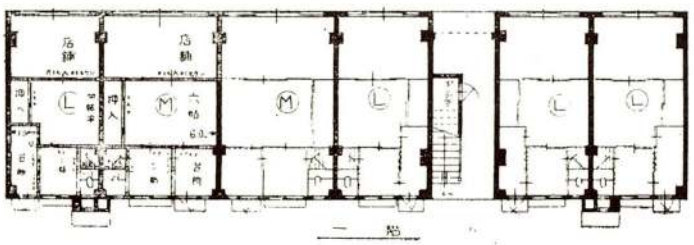
一階平面









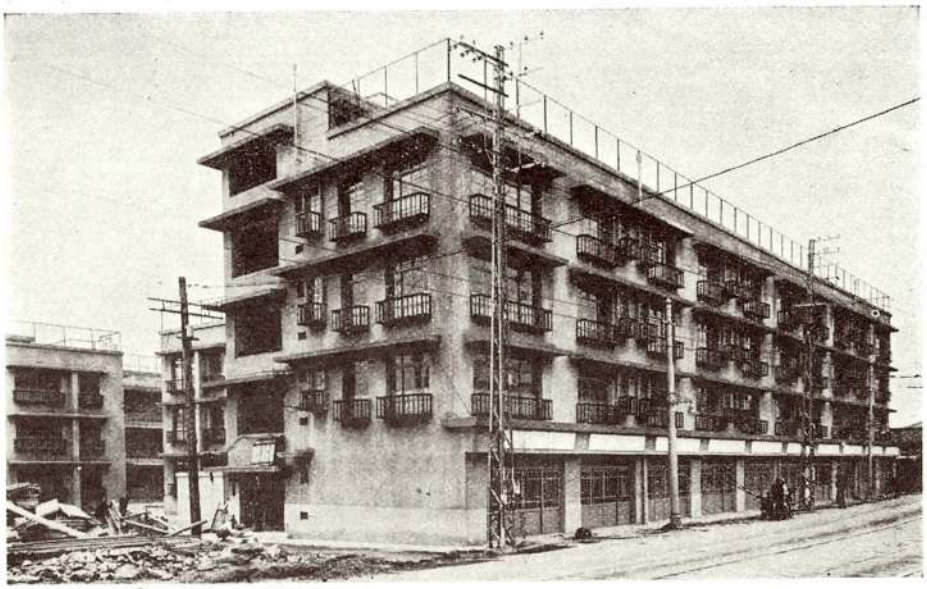


猿江裏町住宅

猿江裏町住宅は不良住宅地區改良事業を目的として建築せられたるものにして、棟數17棟、293戸の一團地住宅經營にして鐵筋コンクリート造、3階建である。

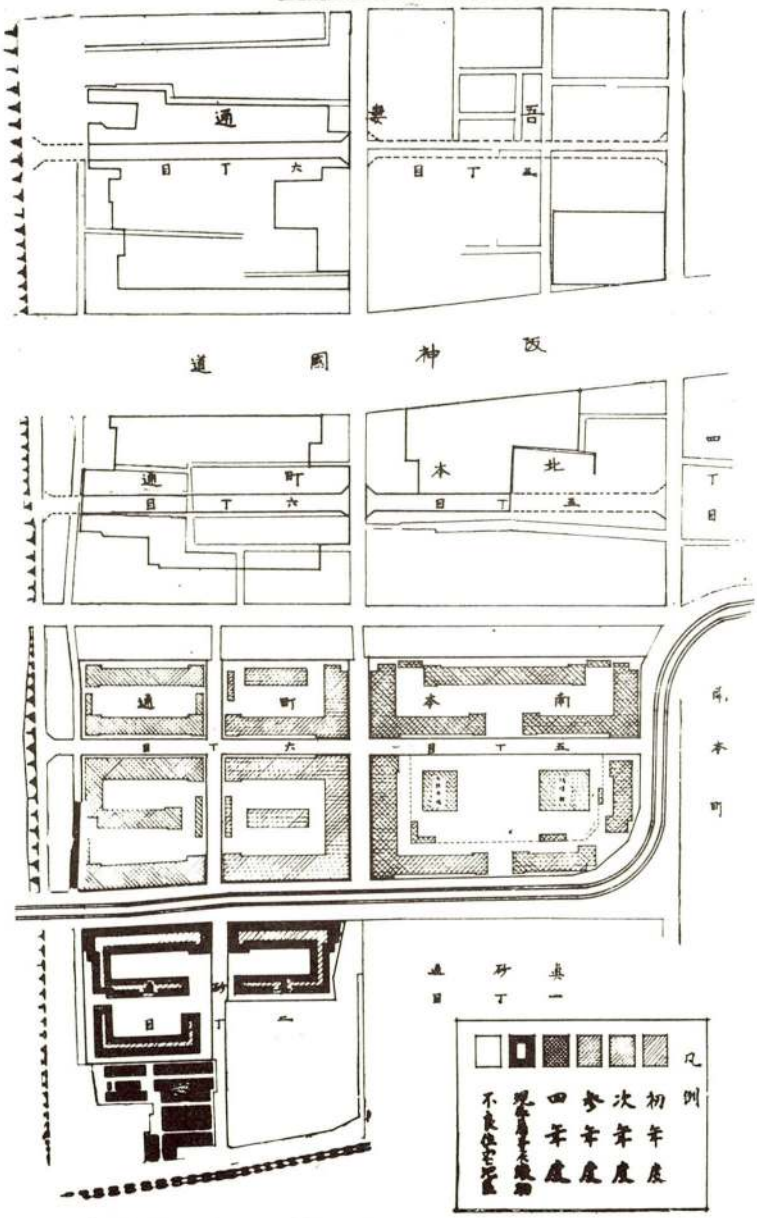
本地區改良地事業は我國斯種事業の濫觴であつて勞働者住宅として極めて多邊的の研究が行はれ、其後各地に於ける不良事業改良住宅の試驗臺として極めて意義のある住宅である。

（中村　寛）



外　　觀

配　置　圖



神戸市葺合新川改良住宅

新川改良住宅

神戸市に於て不良住宅地區改良事業法によつて指定された地區は通稱新川と呼ばれる廣い區域で其の町名及び坪數は次の如くである

眞砂通2丁目	1,177坪
南本町通5,6丁目	5,059坪
北本町通5,6丁目	2,139坪
吾妻通5,6丁目	2,051坪
合計	10,426坪

地區内の世帶數は734その人口は3,256人である。

これに對する改良事業の計畫は眞砂通2丁目及び南本町通5,6丁目に改良住宅702戸を建設しその他の地區は不良家屋を取拂ひ整地することになつてゐる。

尙南本町通5丁目には隣保館保育所、公設浴場等も建設する計畫であり又眞砂通2丁目には地區外に借地をして木造平家建の假收容所35戸が設けられてゐる。

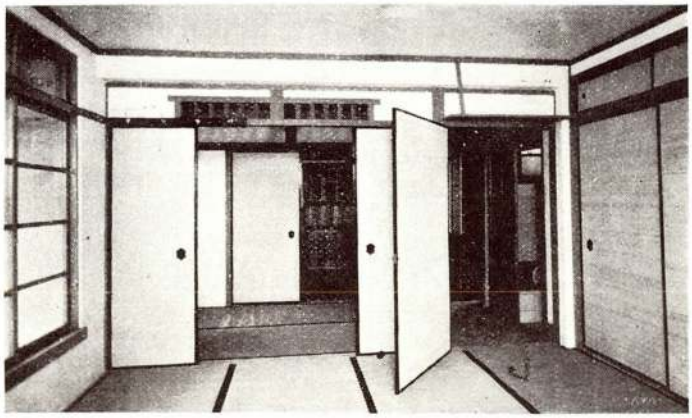
この事業は昭和6年から9年に及ぶ4年間の繼續事業として計畫されてゐて現在では第1期工事の眞砂住宅3棟の内2棟が最近に竣工した。

眞砂住宅3棟は鐵筋コンクリート造主として3階建電車道路に面した側は4階建一部地中階附の外廊下式アパートで總延坪1,547坪戸數は166内電車道路に面した1階の19戸は店舖付である。

1戸の標準方は4.5帖3帖各1室の居間を有し6.25坪を占むるものでその他6帖4帖のものから6帖一間のものに到るまで數種あるが何れも各戸には居間の他に臺所、押入、水洗式便所



内　　庭



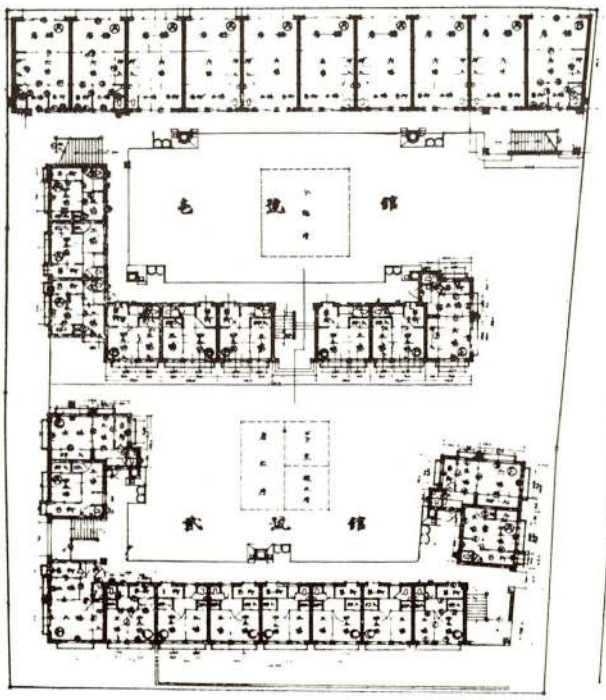
室内

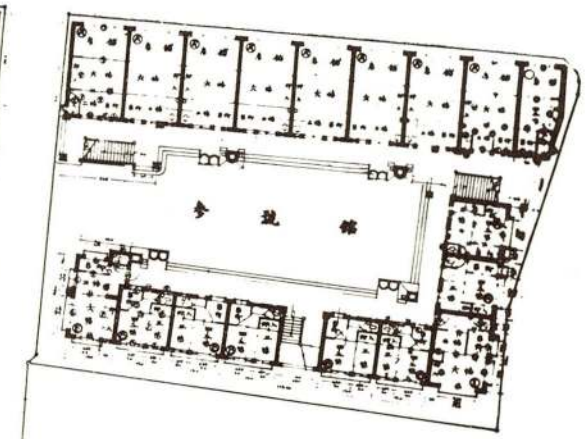
（25頁より續く）玄關、土間、板間等がある。

建物外部はリソイド塗、室内天井壁はプラスター塗、床はコンクリートスラブ上に木造揚床コルク貼りの上薄縁敷きである。

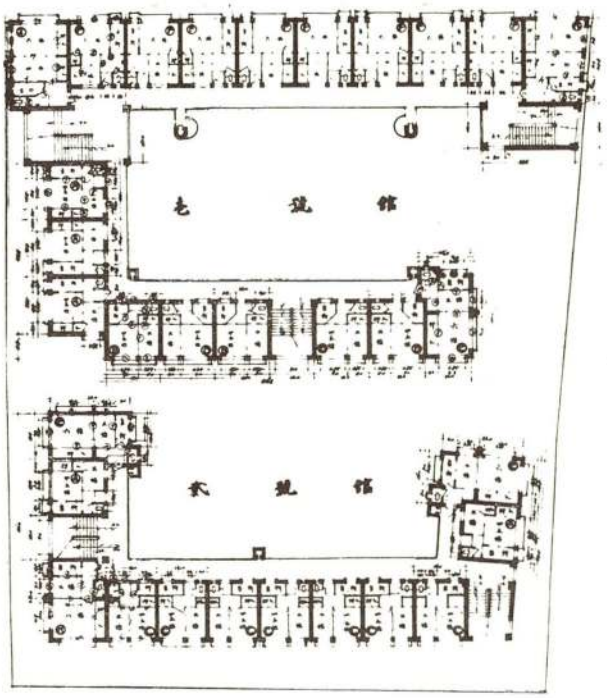
建築設備としては電氣、瓦斯、上水道、鑿井水道、汚水淨化槽、ダストシュート、洗濯場、物干場等である。

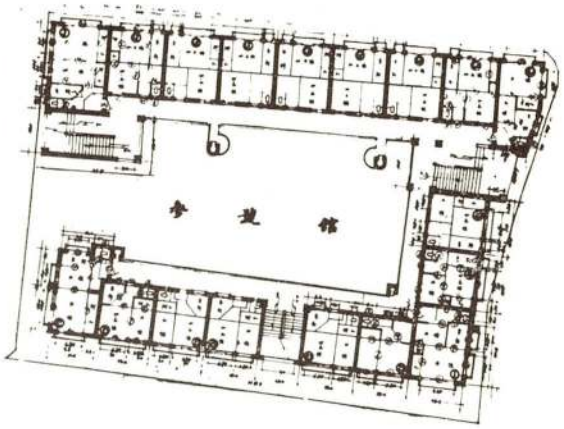
眞砂住宅3棟の總工費は約255.000圓で錢高組の施工によつた。　（奥田　讓）



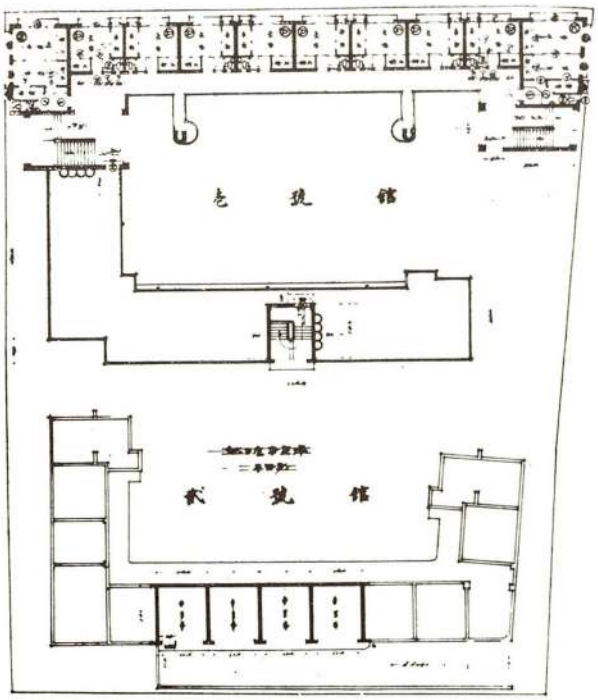


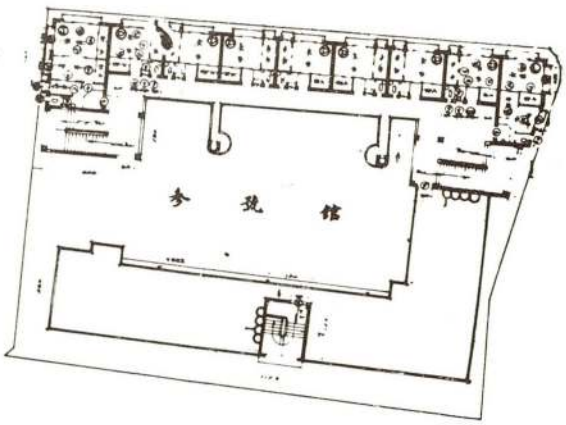
1階平面圖



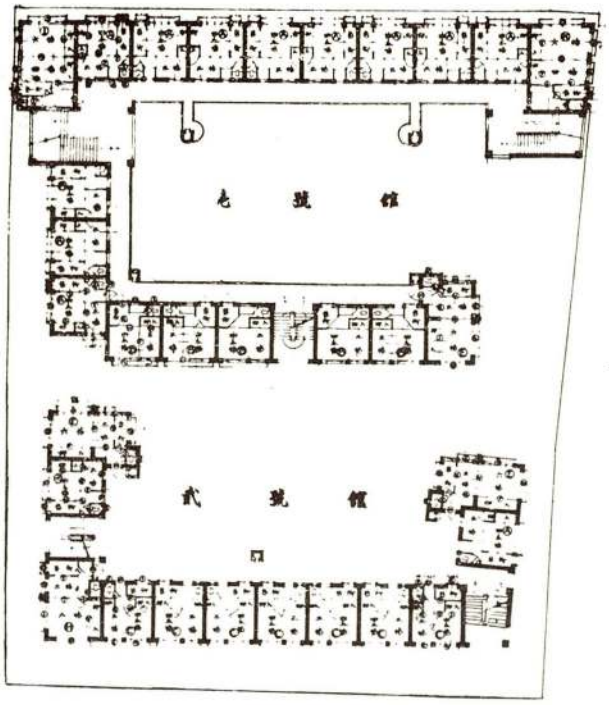


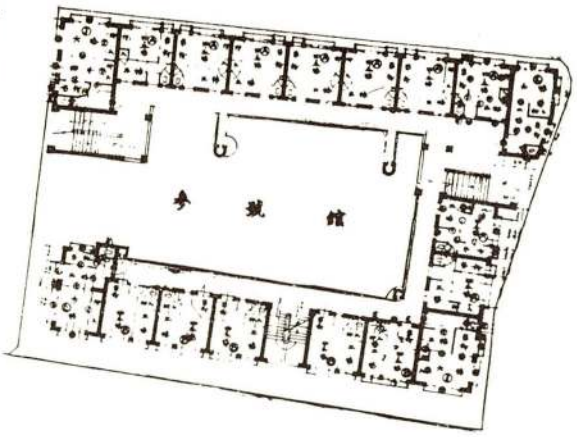
2 階 平 面 圖



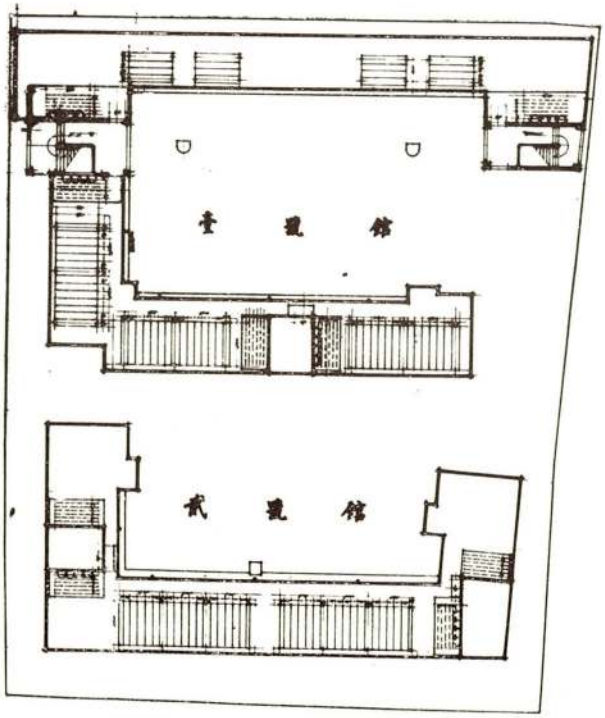


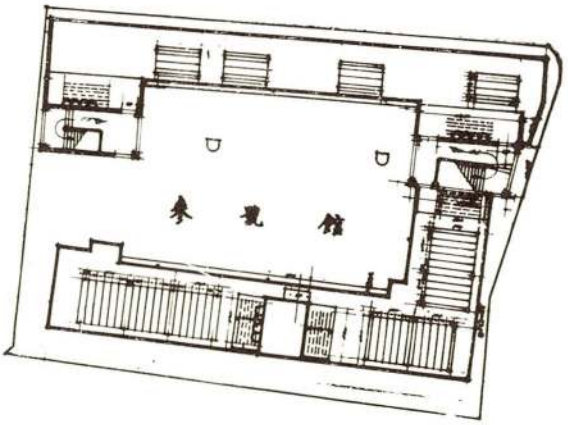
3 階 平 面 圖





4 階 平 面 圖





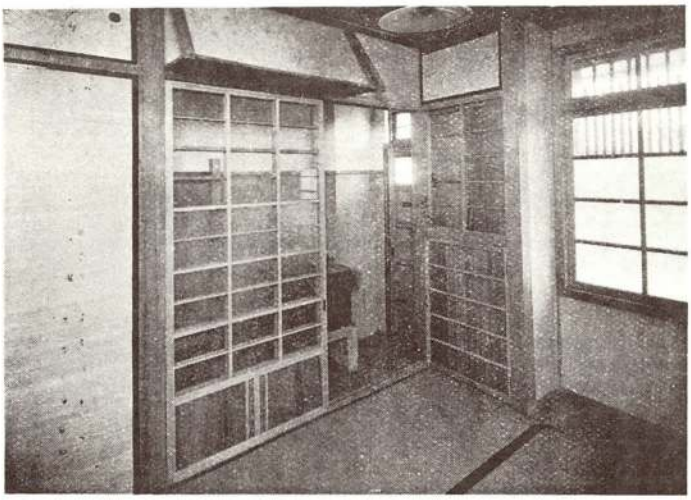
屋 上 平 面 圖

内　庭



大阪市南日東町細民住宅

室内の一部



此の南日東町俗稱燗的裏集合住宅は大阪市に於ける不良住宅地區改良の爲め6ヶ年の繼續事業として日本橋通5丁目を挾んだ東の部分は天王寺區、西の方面は浪速區の住居狀態の不良なる 10 地區を撰んで改良さるるところの住宅改良事業の一つである、其の 10 地區とは下の場所の俗稱がある。

1	東入船町	78戸……竣工
2	下寺町	260戸……竣工
3	桃木裏	16戸……竣工
4	燗的裏	260戸……竣工

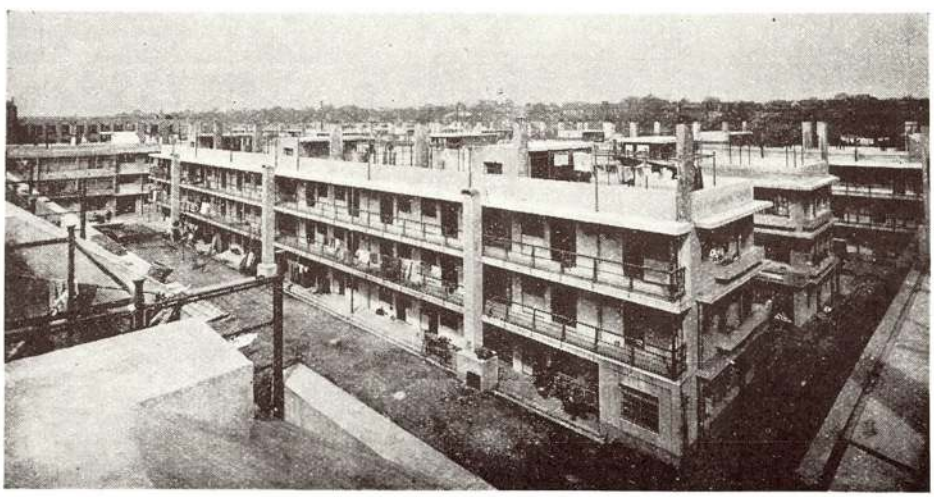
以上728戸分竣工し向後着工すべきものには

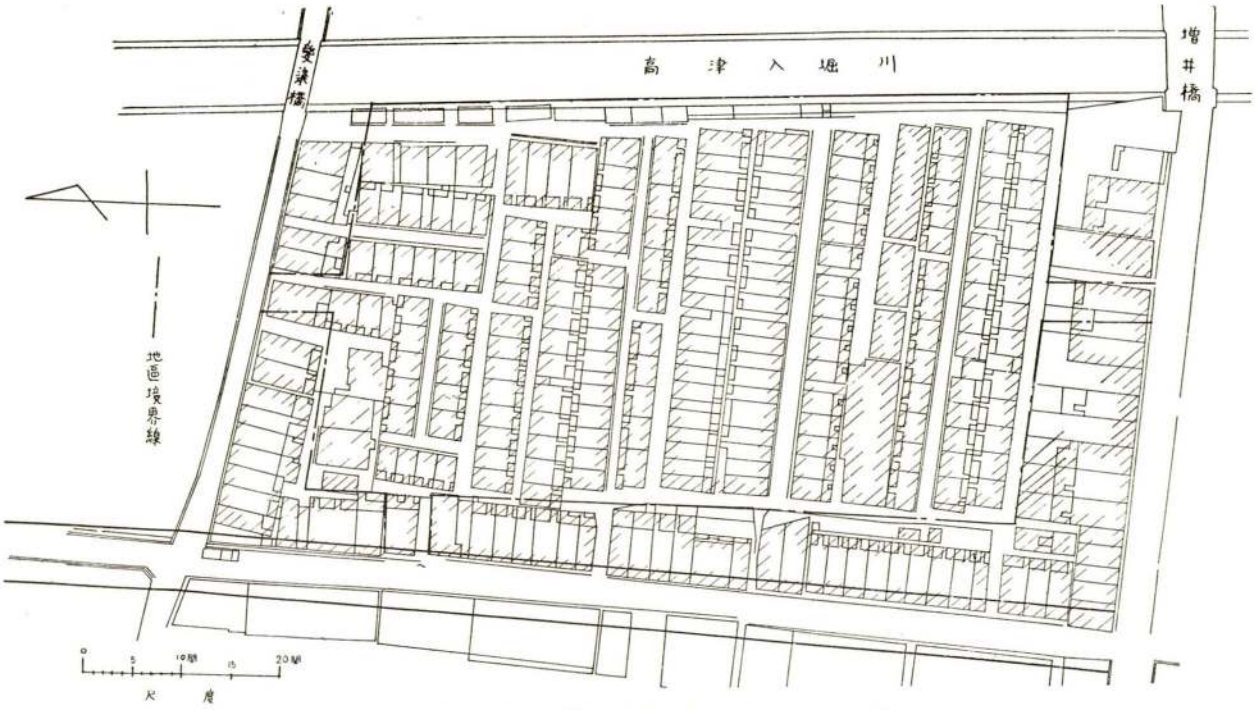
5	下駄屋裏	96戸……設計中
6	豚屋裏	162戸……設計中
7	五階跡南裏	120戸
8	西六道東裏	240戸
9	鶴屋裏	78戸
10	社の裏	222戸

總數1,646戸、建築延坪約14,500坪を改良する計畫である、

（富士岡重一）

外　觀





東日東町（畑的裏）在來建物狀況圖

舊の狀況

1　不良住宅建物の概況　　全地區內の不良住宅は 1,202 戸（總戶數は 1,312戶）總延坪は 11,632 坪ある 1 戶分は平均約 9 坪 17 に當る。建物は主として 5 軒乃至 10 軒の長屋建で、平家或は中 2 階建であつて、中 2 階は天井の無いもの多く其の 2階高も色々で 6 尺內外から 4 尺以下のものさへある、それにも皆居住してゐる、床は疊敷であるが土間は自然土の儘或は煉瓦敷である。建築年數 20 年以上のもの多く而も改築修繕を加へたるもの稀で自然放置の儘であるから土臺廻は腐蝕したり歪んだりしてゐる、造作建具も同樣である。建物の密集に伴ふ空地の不足は採光、通風を不充分ならしめ下水や便所の不備ともにその地區內は一般に陰慘にして濕潤である、

2　地區內の道路及排水　　地區內の道路或は通路の幅員は 3 尺、6 尺、9 尺で、自然土の儘なるが一般であるが一部に煉瓦敷又は石敷の個所もある、道路の中認定道路となれるもの全地域を通じて僅に延長 271 間に過ぎず又袋路次となれる所も亦尠くない。

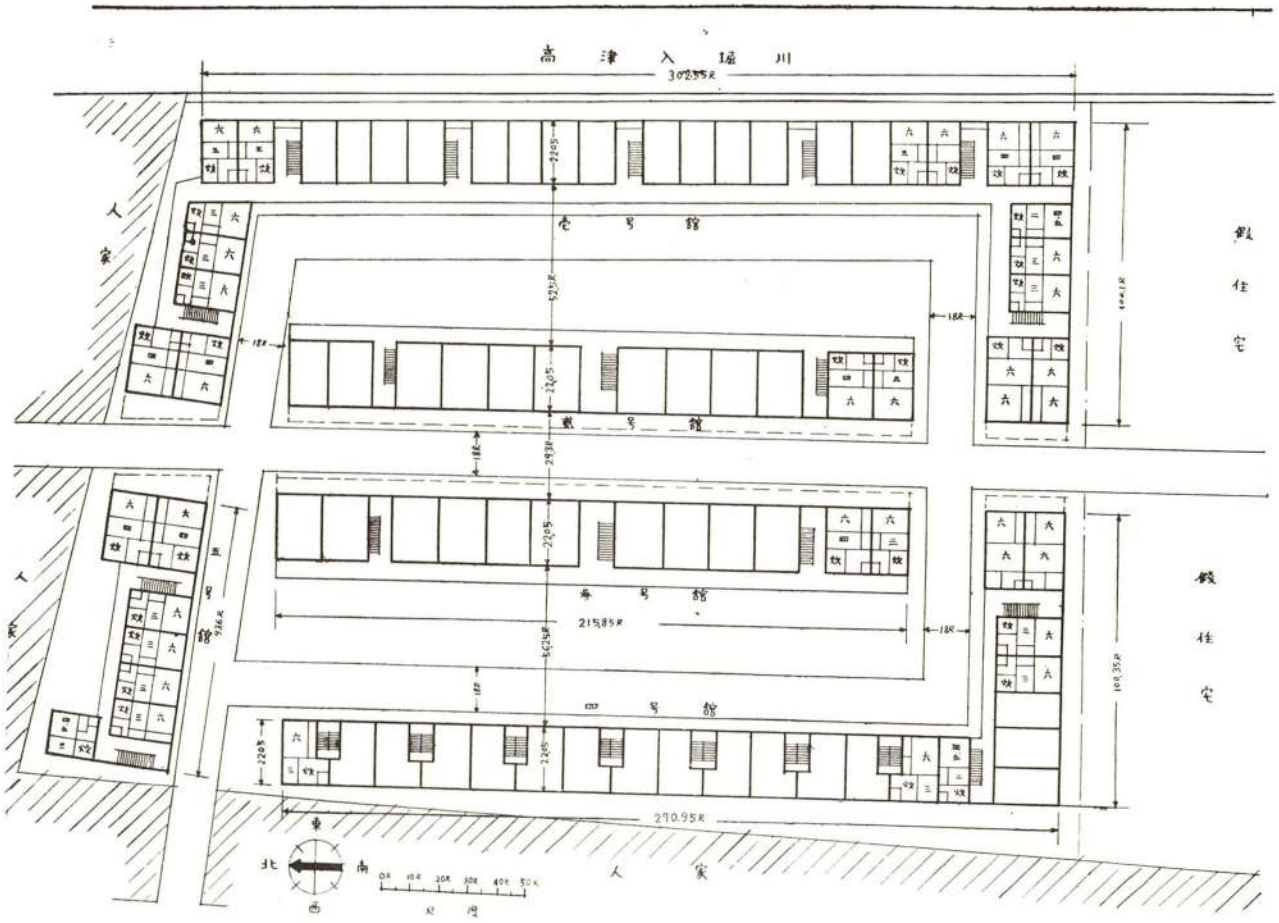
3　地區內の人口及世帶數　　地區內の世帶數は 1,688 その人口 6,072 人、1 戶當平均居住世帶數は 1.38 一世帶の平均人數は 3.62 人に當り、3 人世帶、4 人世帶、5 人世帶が最も多數を占めてゐる。

4　居住者の職業

（イ）	日稼人夫、職工、工夫手傳	779 人	46.8%
（ロ）	下駄傘の修繕、屑屋、緣人商人、仲居 遊藝稼人、鍼按業	476 人	28.8%
（ハ）	店舖を有し、又は軒下商ひ	128 人	7.6%
（ニ）	靴下駄紙箱等の家內工業及內職	96 人	5.8%
（ホ）	下給會社員、店員、巡査、車掌、船員、金貸、仲買、其他雜業	31 人	1.8%
（ヘ）	定職を有せざるもの及失業者	87 人	5.3%

5　地區內居住の生計狀況　　居住者中にて確實收入を有して居るものは頗る僅少であるが、略ぼ平均收入を推算し得るものにあつて一世帶當り月平均收入は 55 圓 70 錢の割合で、世帶收入は 40 圓以上 70 圓迄の收入あるもの最も多く總世帶數の 45% に當る、居住者一人當りの收入は 10 圓 30 錢の割である、　以て其生計狀況を推知し得る。地區內並に附近の衞生狀態は不良であつて傳染病の罹病者も率多く、乳兒死亡率も亦高い、居住者の教育程度も低く義務教育を了へないもの 3 割 8 分、文字を解せざるもの 3 割 3 分に上る有樣であつて、風紀は紊れ浮浪者、賣春婦出沒し、各種の犯罪者のここに遁入するもの多く居住者は又團結して犯罪者の庇護をなす等保安上甚だ憂慮すべき狀態にあつた。

6　地區內の家賃概況　　舊地區內1戶當平均家賃は12圓90錢で、15圓以下のもの大多數の91%を占める、5圓以下のものも44戶あつた。　　（富士岡重一）



南日東町（燗的裏）新築集合住宅配置圖

南日東町集合住宅の概記

今回竣工したる此の集合住宅は其規模は其事業中の最大集團のものであつて、敷地は南北に平均 55 間、東西に 41 間の略ぼ矩形をなし、此の面積 2,420 坪あり、5 棟の建物の建坪は 939 坪凡て 3 階建で延坪 2,821 坪 260 戸分を包含し、構造は鐵筋混凝土構造であつて 1 戸は完全に鐵筋混凝土壁で仕切られる、空地面積は建築面積の 14 割強を占める、舊の密集狀態に比ぶれば空地面積も多く、交通に衛生に保安にも改良されたるかを知る事が出來る。

敷地何の道路は巾 3 間のもの延長 193 間をめぐらし南北に敷地を貫通する主要道路、及び北端の東西道路は西に延びて相ひ隣れる地區なる下駄屋裏及其西隣の豚屋裏の敷地の中央主要道路となりて相連絡するものである。

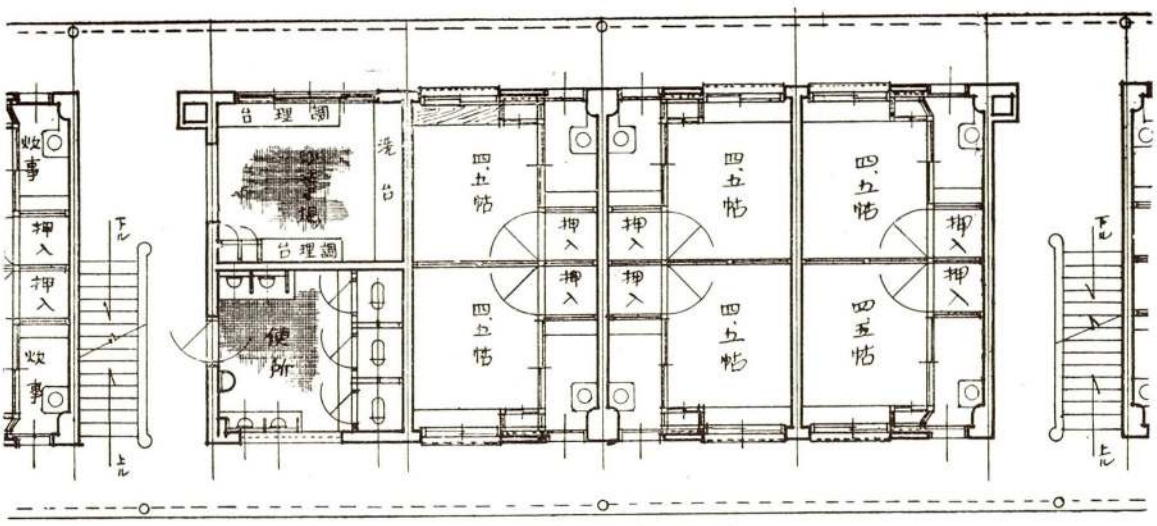
1 戸分の占むる坪數は 7 坪 65 が標準型とされあるところの 6 帖に 3 帖の 2 室のものが最も多數であつて、尙他に 6 帖に 4 帖のもの、6 帖に 6 帖のものもあり、最少のものに至りては 4 帖半に 2 帖と云ふのがある。1 階の主要道路に面する所に兩側に店舖が 32 戸あり、店舖は土間であつて 7 帖大、他に 6 帖と 2 帖の居室を有す、一般型なる 9 帖に 3 帖の居室を持つ 1 戸分の內容を述ぶれば居室が 4 坪 5、臺所が 1 坪 5、押入が 2 間水洗便所が 0.35 坪、土間が 0.3 坪、計 7.65 坪となるのである、各戸の洗濯場、物干は共同として屋上にあり、塵芥はダストシユートを以て落集する。

尙ほ此集合住宅の一特長として圖に見る如く 3 階に 28 戸分の獨身者の住宅あり、室は 1 室 4 帖半であつて此れに押入 1 ケ所と踏込土間と小煮焚場とあり、別に附設するところの共用の調理場、洗面所、洗濯場、便所、物干がある。

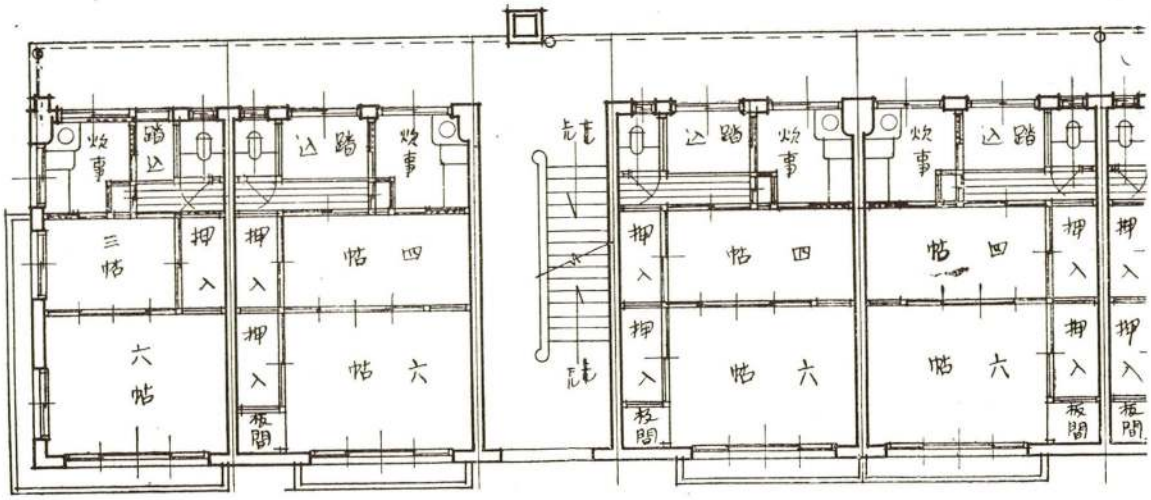
家賃は最も低額であつて此の獨身者住宅が 1 戸 4 圓 70 錢より 5 圓迄、1 階住宅は 1 戸平均 10 圓 50 錢、2 階住宅は平均 10 圓 58 錢、3 階住宅は平均 9 圓 72 錢に當る。

此集合住宅の建築費は附帶工事共 387,752 圓であつて、坪當り 137 圓 3 となるのであるから最後の圖にある 1 戸分は約 1,200 圓 となる、工事請負者は松村組であつて相當面倒なる此工事を正しく期限通り竣工されたのである。

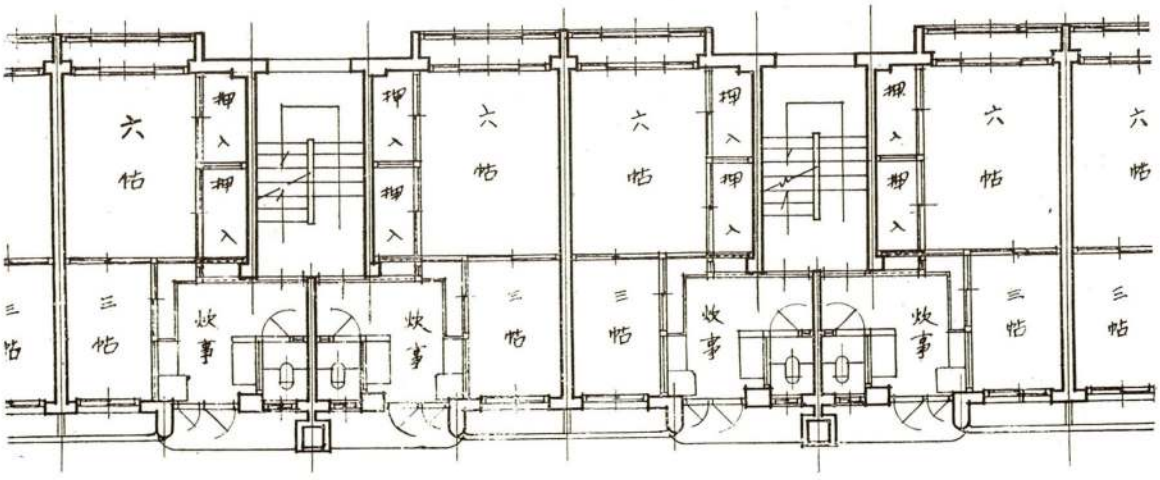
（富士岡重一）



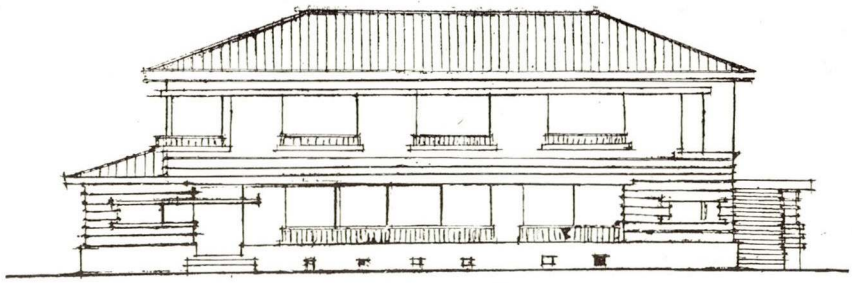
1號館 3階平面(一部分)



2號館 3階平面(一部分)(外廊下式)



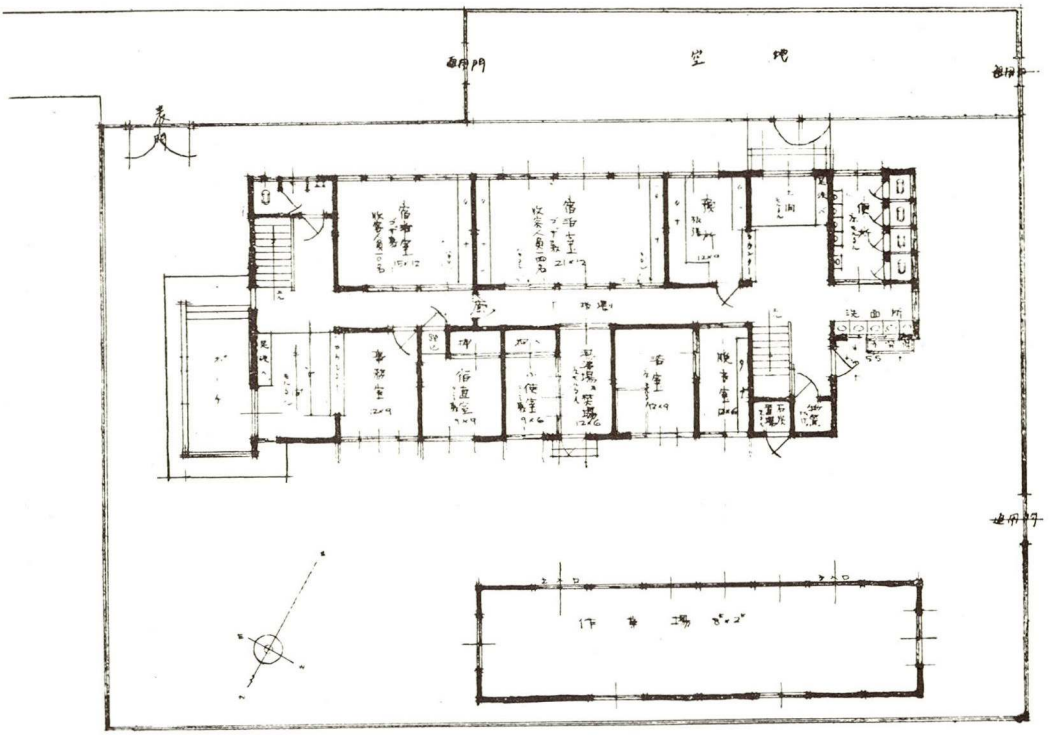
4號館 2・3階平面(一部分)(階段式)



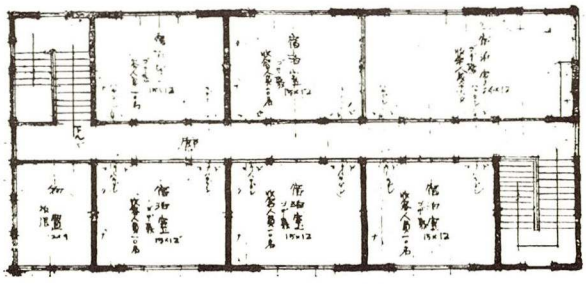
立　面　圖

西部無料宿泊所

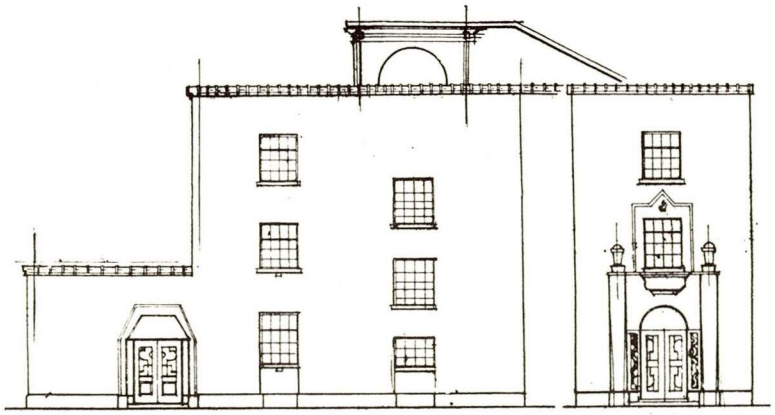
この無料宿泊所は三井家の寄附金によつたもので神戸市では東西2ヶ所に各收容人員100名のものが建設された。左圖は西部の方で木造2階建、これに平家建作業場が附屬してゐる。宿泊室は薄緣敷で疊1枚につき1人の割合で收容することになつてゐる、其他事務室、小使室、浴室、便所、携帶品預所、作業場等がある。建物の延坪數は123坪で工費は約7.500圓である。（奥田　讓）



1 階 平 面 圖



2 階 平 面 圖



側　立　面　圖

共 同 宿 泊 所

市營共同宿泊所7個所の內、代表的なものとして今宮共同宿泊所を擧げる。所謂釜ケ崎スラムに集る獨身勞働者を不潔な木賃宿から救ひ、同程度の賃金にて清潔なベツトと適正な慰安とを與へ、精神と肉體の兩方面より彼等を善導するのが目的である。

1階玄關の一方階段下は足洗場になつて居り、地下足袋の勞働者達はそこで足を洗つた後受付に行く樣になつて居る。足洗場はコンクリートの水槽の前面がタイル張になつて居り、水槽には數個の水栓に依つて水を供給するのであるが、最近設計のものは、樂に足が洗へる樣に水栓の代りにシヤーワーを設備する樣になつた。

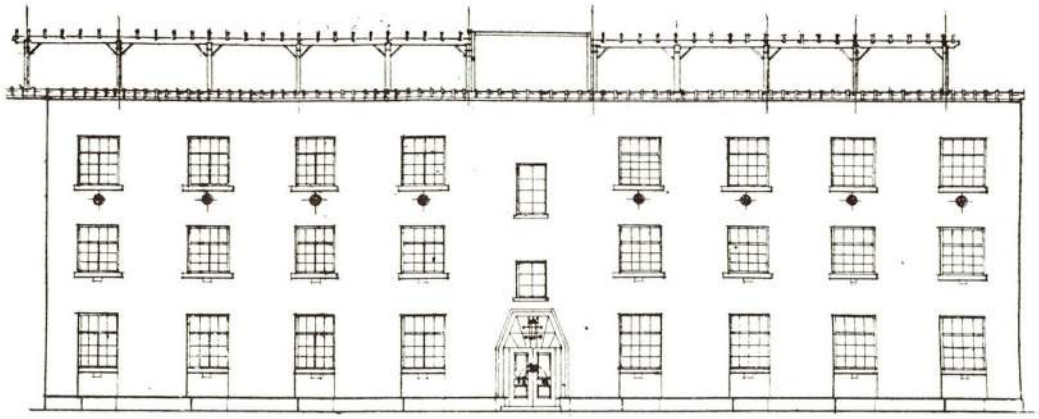
受付に聯絡して事務室、宿直室、携帶品預場、小使室、同宿直室等が取られてあり、階段を距てて理髮室 6坪)、讀書室(6坪)、倉庫(12坪)がある。

食堂(24坪)、炊事場(18坪)、炊事場附屬の倉庫、便所、洗濯室、浴室、娯樂室(32)坪等は廊下を距てて事務室の反對側に設けられ、入浴と食事と食後就寢前の慰安とに備へられて居る。

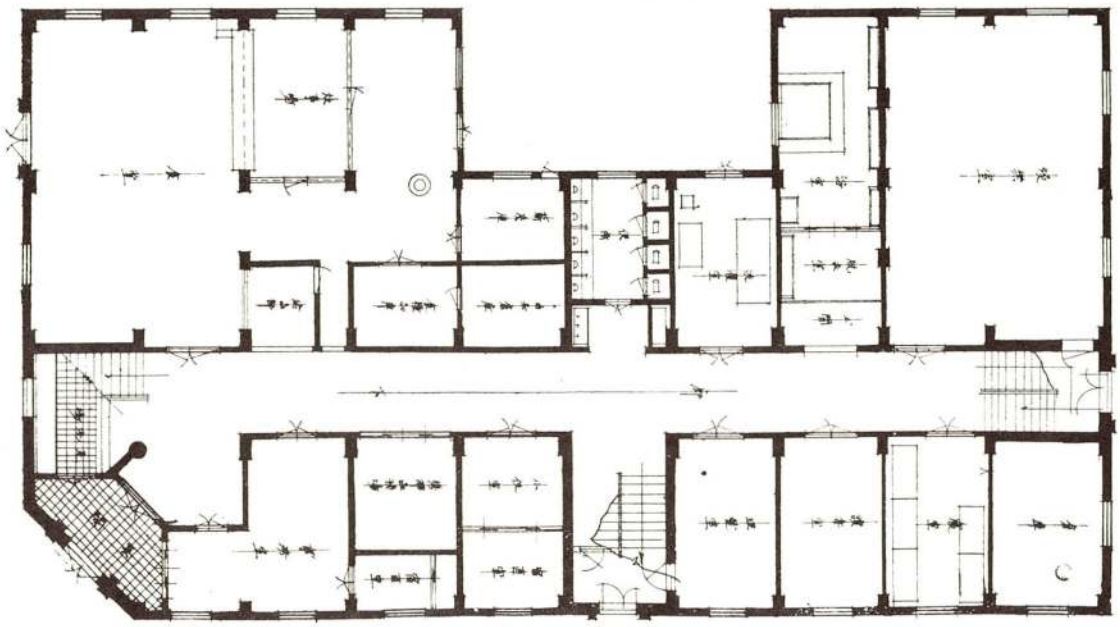
宿泊室は2階3階の全部を占め、兩階共10人部屋7室、12 人部屋9室に便所及洗面所が取られてある。收容定員356 人であり、總延坪を此人數に平均すると、一人當數1.45坪に相當して居る。この坪數は宿泊所として少な過ぎるのであつて、普通一人當少くとも2坪位と考へるのが至當である。

寢臺は鐵製で上下二段になつて居り、これを各宿泊室の兩側に竪に二つ又は三つづつ竝べて、1 室10人又は12人を收容する。

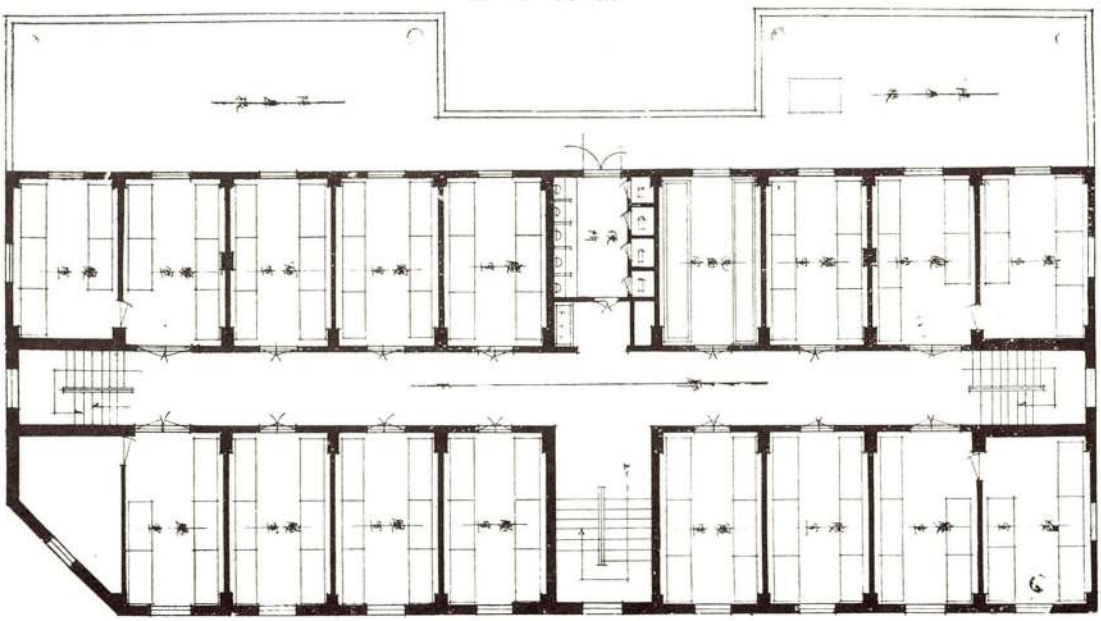
屋上にはペルゴラを作り、パラペツトの上部には日本瓦を載せ、外觀はスペイン風の溫き感じを持たせる樣に工夫されて居る。　（新名種夫）



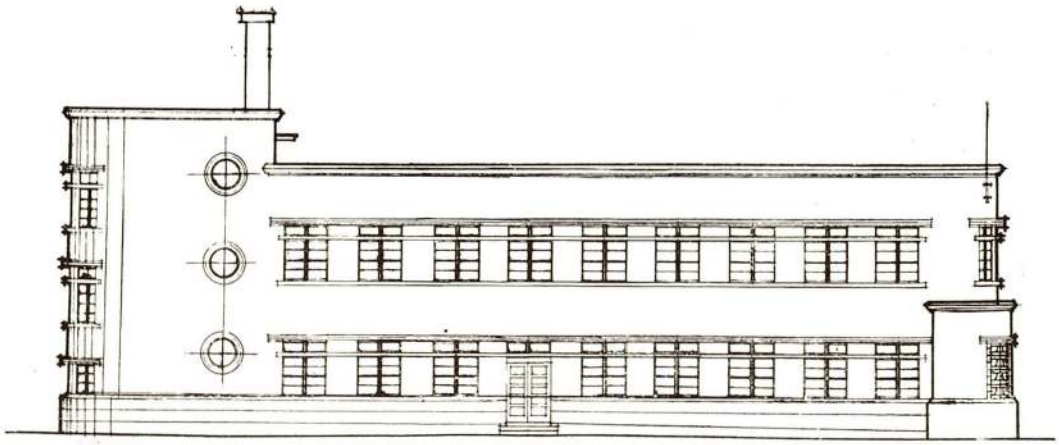
側立面圖



階平面圖



2階及3階平面圖

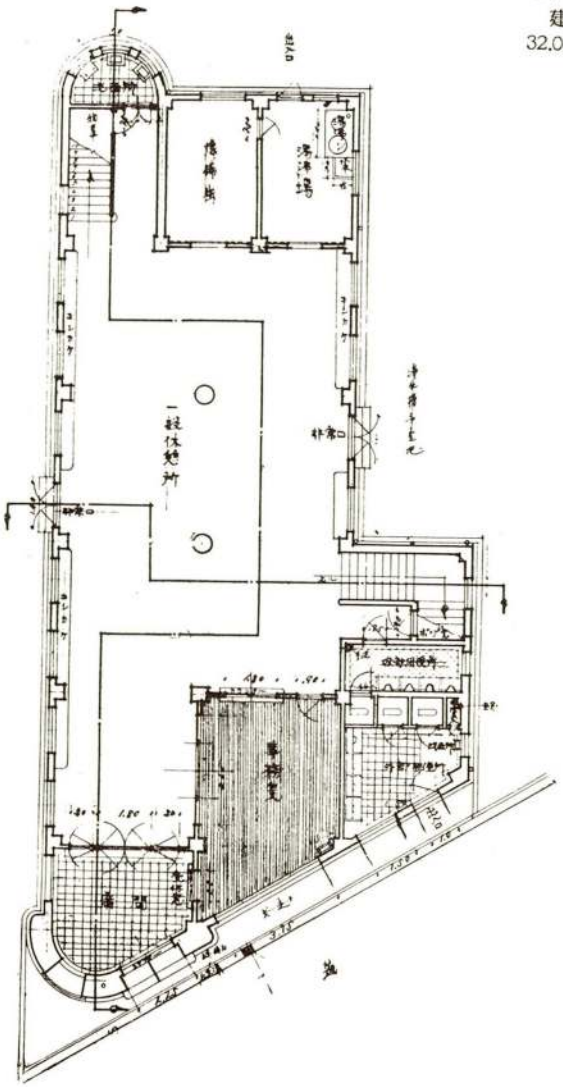


立　面　圖

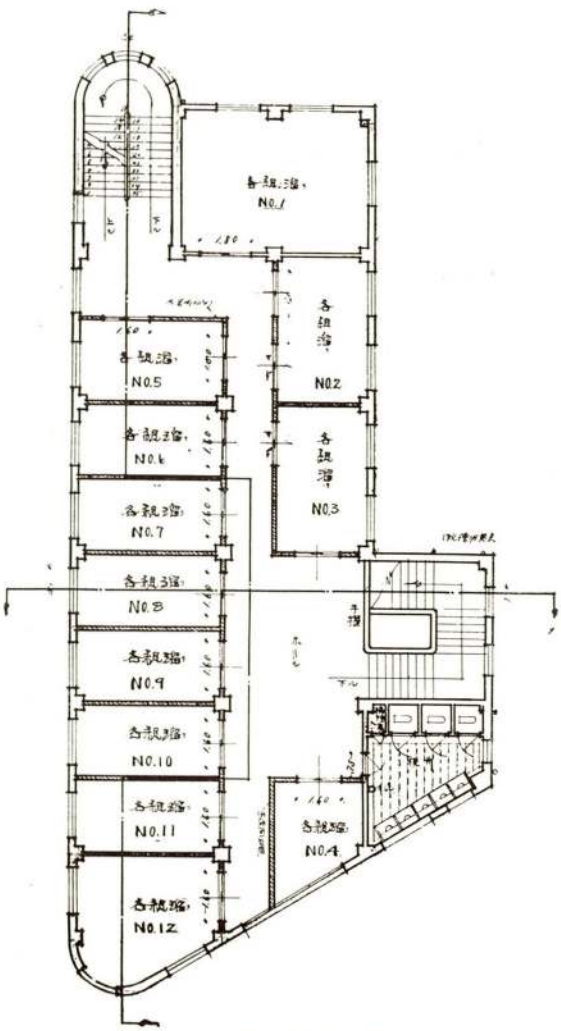
沖仲仕休憩所

沖仲仕休憩所は海港都市らしい施設の一つで突堤の近くに設けられ仲仕の溜り場所である。

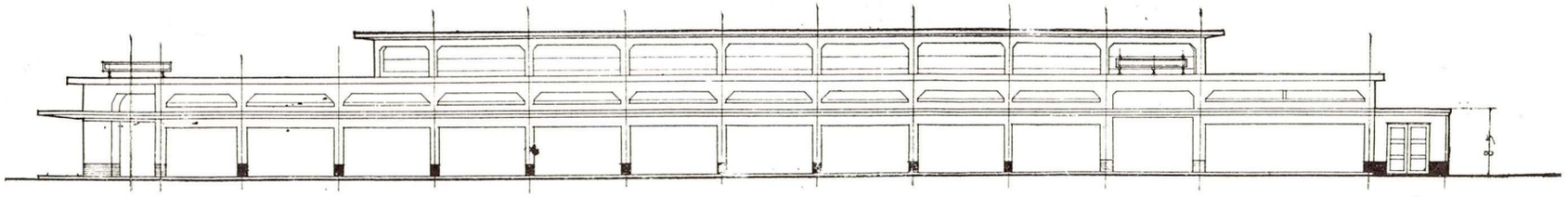
建物は鐵筋「コンクリート」造2階建、延坪數197坪、工費は約32,000圓で昭和8年の2月末完成したものである。　（奥田譲）

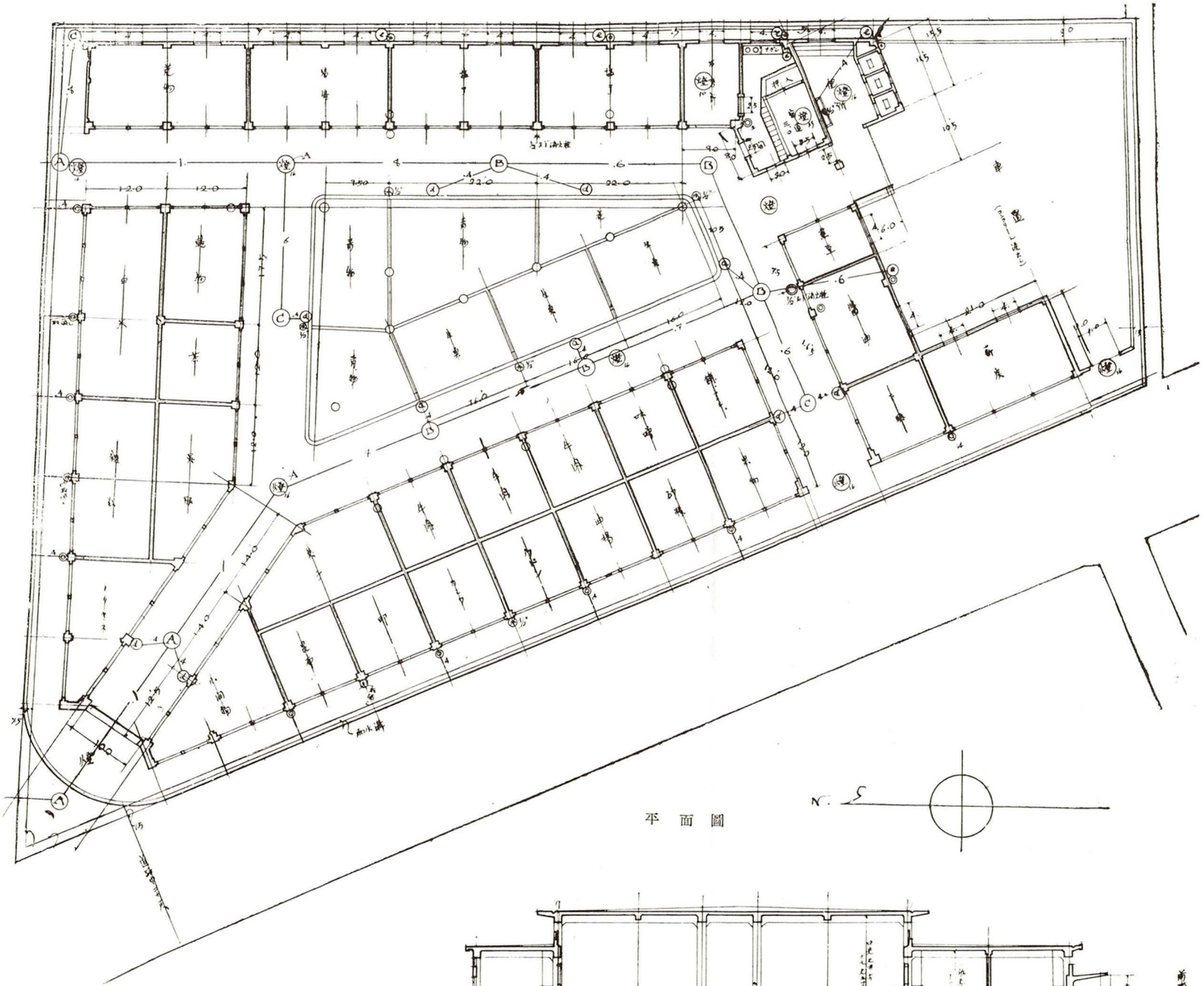


1　階　平　面　圖



2　階　平　面　圖





平面圖

斷面圖

小　賣　市　場

市設小賣市場は既設のもの 54 個所あり、昭和 2 年 5 月以後に建築されたものは、全て大阪府令市場取締規則の適用を受け、それに合致する様設計されて居るから、プランも外觀も細部も大同小異である。大部分は 1 階建であるが、中道、境川等は 2 階建である。

敷地としては大抵は角地を買收し、角の部分道路に面して市場を建設し、殘餘の部分は賣却する。

田邊市場は 1 階建の一例であるが、東南隅に事務所宿直室、便所を設けたほか、全て店舗であり、店舗の數 35、大略 4 坪又は 8 坪の廣さを持つて居る。出入口は道路に面した 3 個所及裏口の合計 4 個所である。

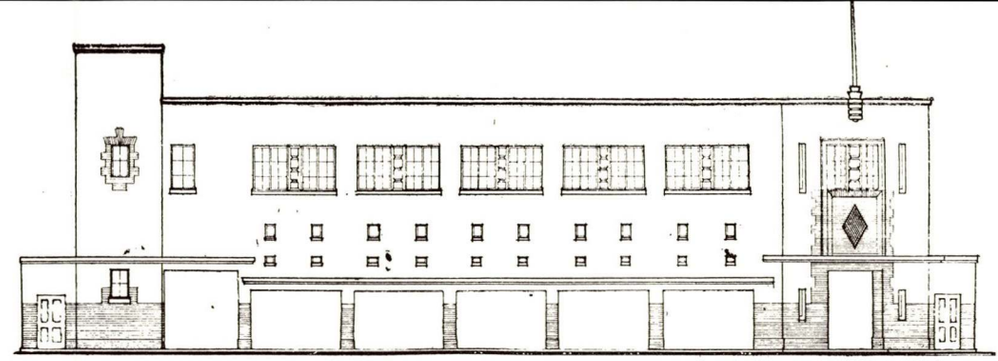
內部店舗の光線は中央上部の横窓から取る。

中道市場は 2 階建の例である。西北、西南及東北隅の 3 個所に幅約 5 尺の階段を設けて階上に通ずる。

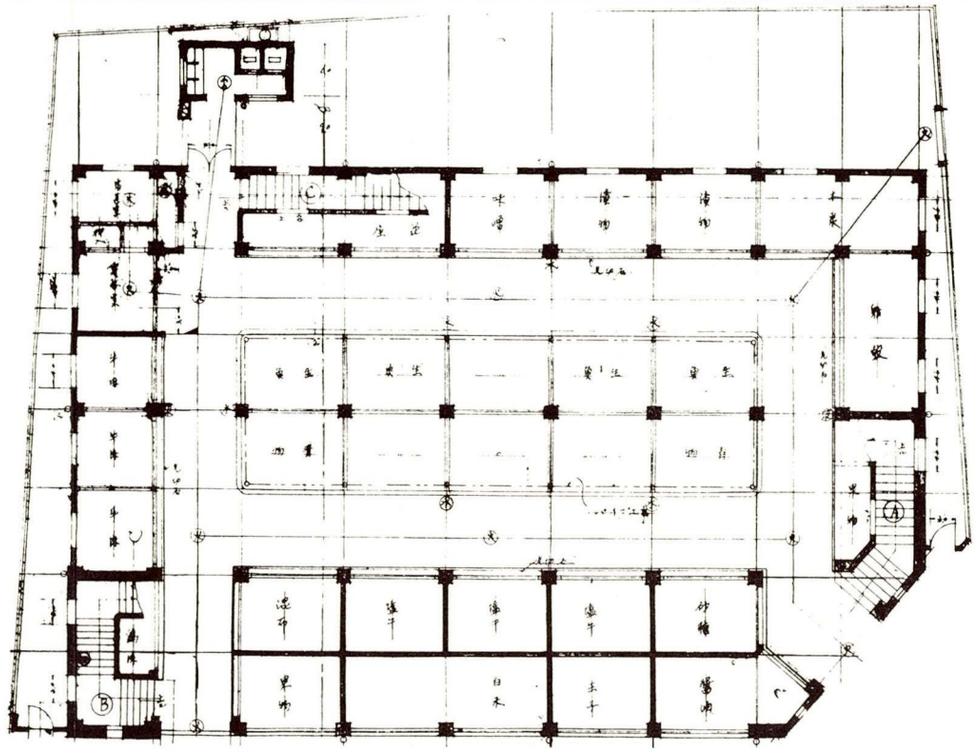
1 階東北隅に約 5.5 坪の事務室と 2 坪の便所とを取り、店舗の數は 1 階 28、2 階 19、何れも大略 2.25 坪又は 3 坪或はそれ等の倍の廣さを持つて居る。

1 階西側道路に面した店舗は、醬油、玉子、白米、果物等比較的清潔な品物を取扱ふ店である。

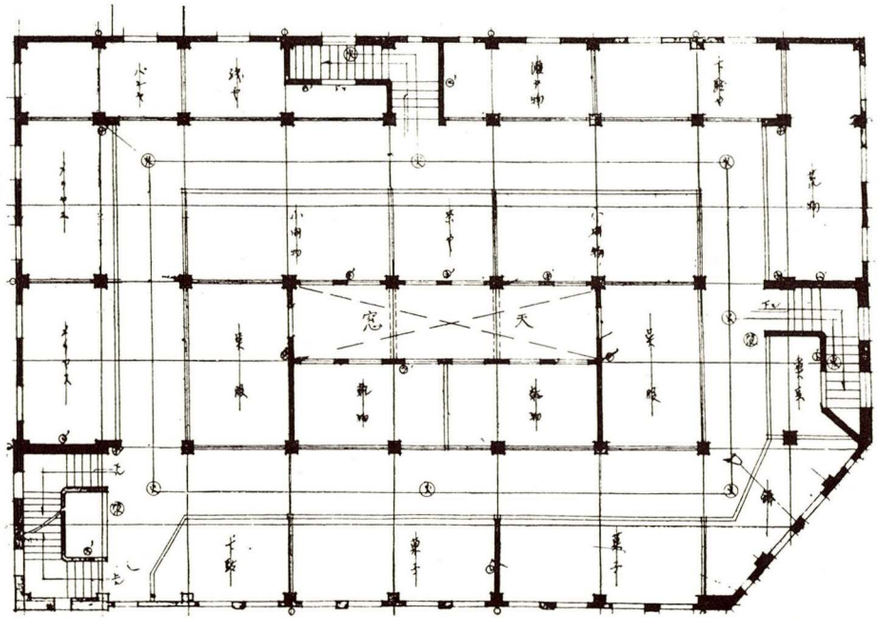
（新名種夫）



立面圖

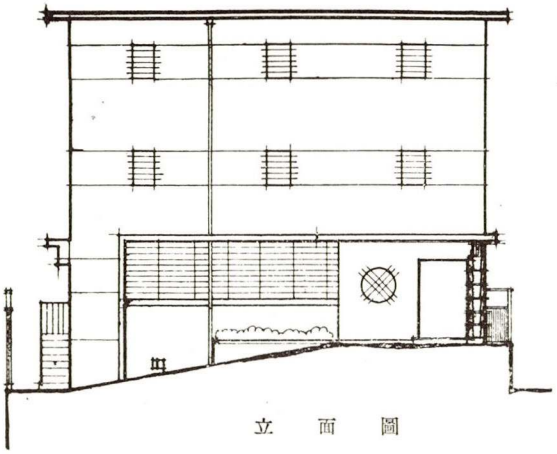


1 階平面圖

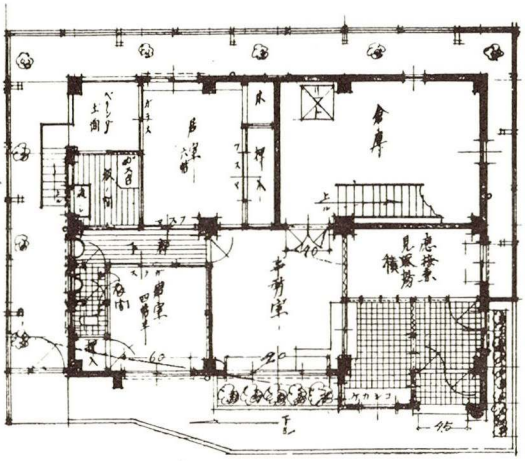


2 階平面圖

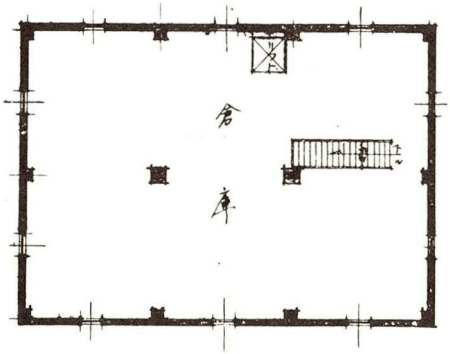
大阪境川質舗



立　面　圖



1 階 平 面 圖



2 階 及 3 階 平 面 圖

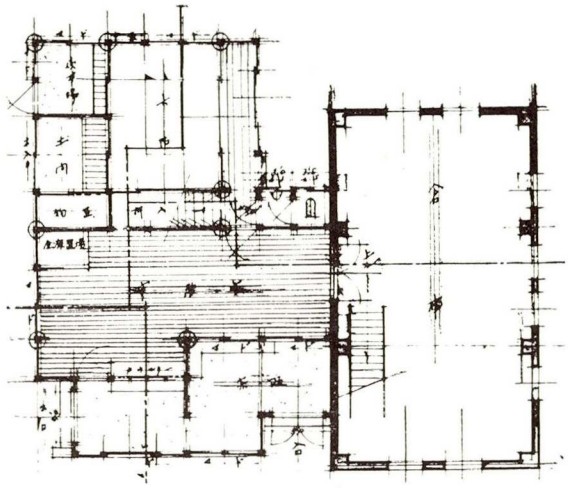
境 川 質 舗

市設質舗４個所の中、全部鐵筋コンクリート３階建の境川質舗に例を取る

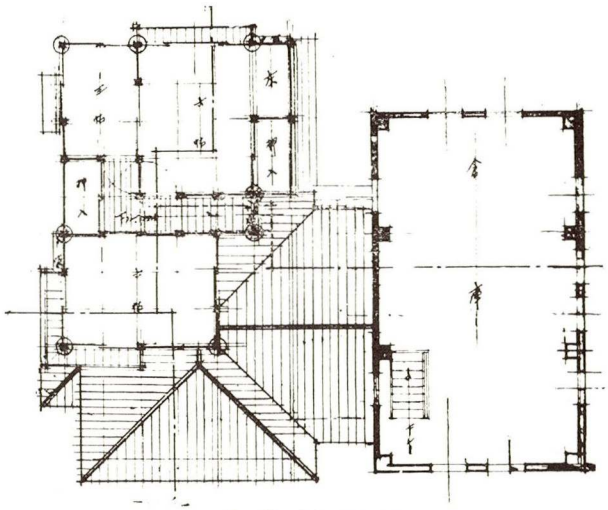
火災と盜難とを最も忌むべき質舗は、何よりも先に從來の木造から鐵筋コンクリート造に改めらるべきが當然である。此意味で境川質舗は市營４個所の質舗の中最もよき例である

先づ玄關を入ると一方は納簾にて事務室前の客溜へ通じ、一方は扉にて應接兼見積場へ通ずる樣になつて居る。見積場は評價の困難なものを折衝決定する場所である、直接事務室と聯絡して居る。

神戸•西部質舗



1 階 平 面 圖



2 階 平 面 圖

質舗の出入口は、中產階級を目標とする場合はその位置に可成工夫を要するが、市設のもの主しても第4階級が目標であるから、出入口の位置など少しも顧慮する必要なく、堂々と正面に持つて來てよい。質舗へ行くことを恥とする如き見榮坊は、とくの昔に彼等は脫ぎ捨てて居るからである。

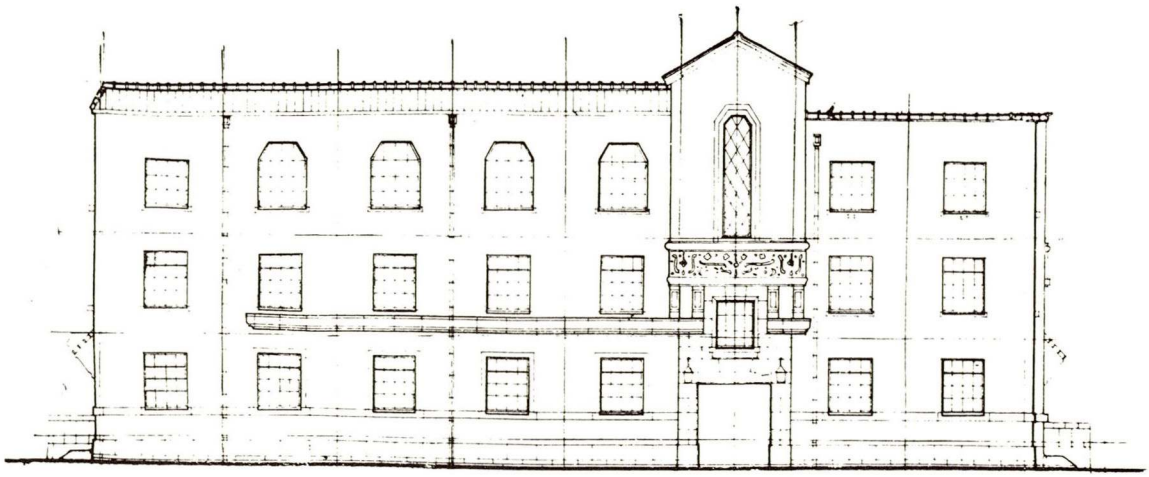
その代り倉庫には比較的廣い面積が必要である。一定の金額に對する質種の量が彼等の場合、中產階級の場合よりも非常に大なる爲である。

境川質舗では倉庫の大さ、1階が約6,375坪、2階及３階が夫々25.5坪、合計57.375坪であり、總延坪の約75% を占めて居る１階事務室より倉庫への入口には防火扉を附し、２階３階の倉庫には１階倉庫の中より階段にて通ずる樣にし、品物は手働リフトに依つて上下する。

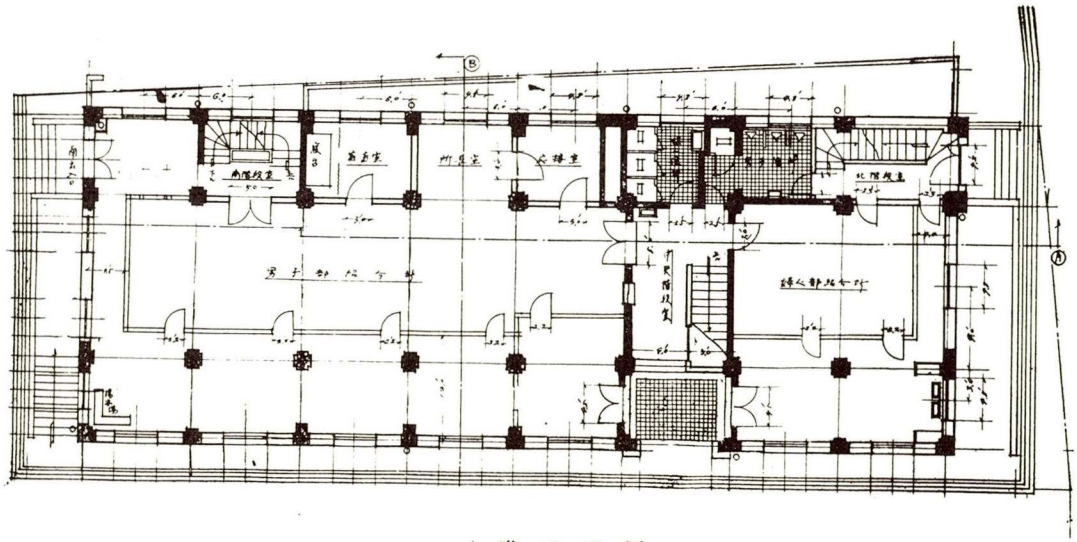
１日の質種を積重ねて置いて一度に整理する必要上事務室は比較的廣いのを可とし、寧ろ疊數がよい（境川質舗では8帖敷）

以上のほかに境川質舗では約10坪の住宅を設けて夜間の營業に便ならしめて居る。

各窓には盜難避けの鐵格子を附し、倉庫にはその上更に防火扉の設備が必要である。



東側立面圖



1階平面圖

職業紹介所

普通職業紹介所と勞働紹介所とがあるが、最近婦人求職者の增加に伴つて、普通職業紹介所の婦人部が獨立して、婦人專門の婦人職業紹介所が設けられる樣になつた。(小橋婦人職業紹介所)

大阪市の中央職業紹介所は信濃橋停留所の近くにある鐵筋コンクリート造3階建で、職業紹介事務と全國各地の公立紹介所との連絡統計の事務とを行つて居る。

1階東側大玄關を入つて左が男子部(45坪)、右が女子部(18坪)であり、兩者共面積の周圍約半分が客溜、中央部半分が事務室になつて居る。求職者の混雜を避ける爲に男子部は南に、女子部は北に夫々別の出口が設けられてある。

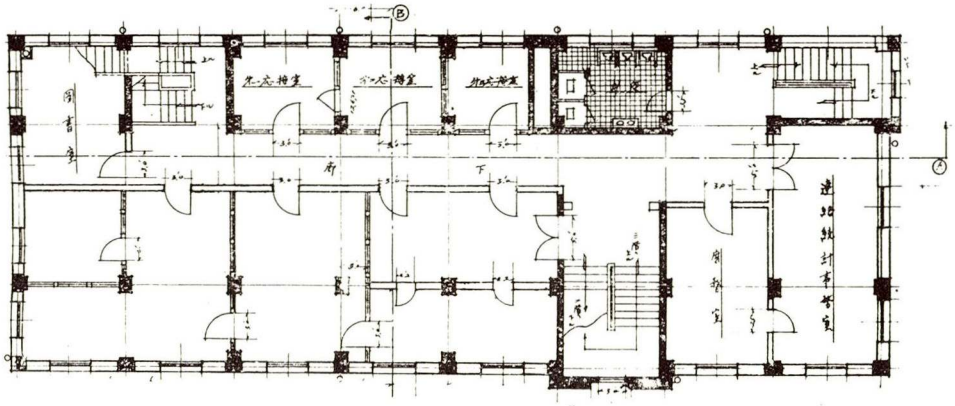
男子部事務室の後方に所長室、應接室、宿直室。玄關廣間突當りに便所。

2階には紹介室數室のほかに、應接室3室、圖書室、庶務室、連絡統計事務室等があるが、2階の紹介室は事務員が求職者に會つて、充分希望其他を訊いた上で紹介の勞を取る爲に利用される。

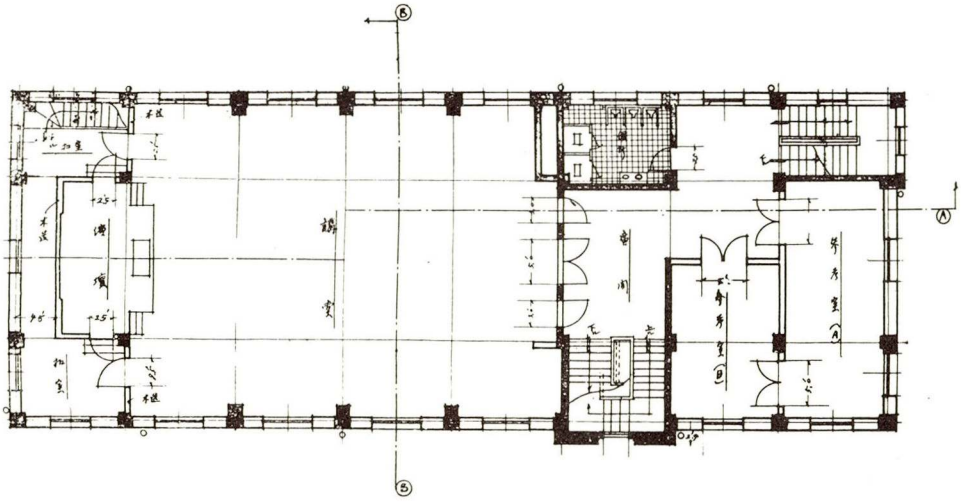
3階講堂(60坪)は各紹介所關係者の種々なる會合その他に利用せられ、參考室は職業紹介に關する各種統計その他の參考品を藏する場所である。

地階には倉庫、小使室、湯沸室等。

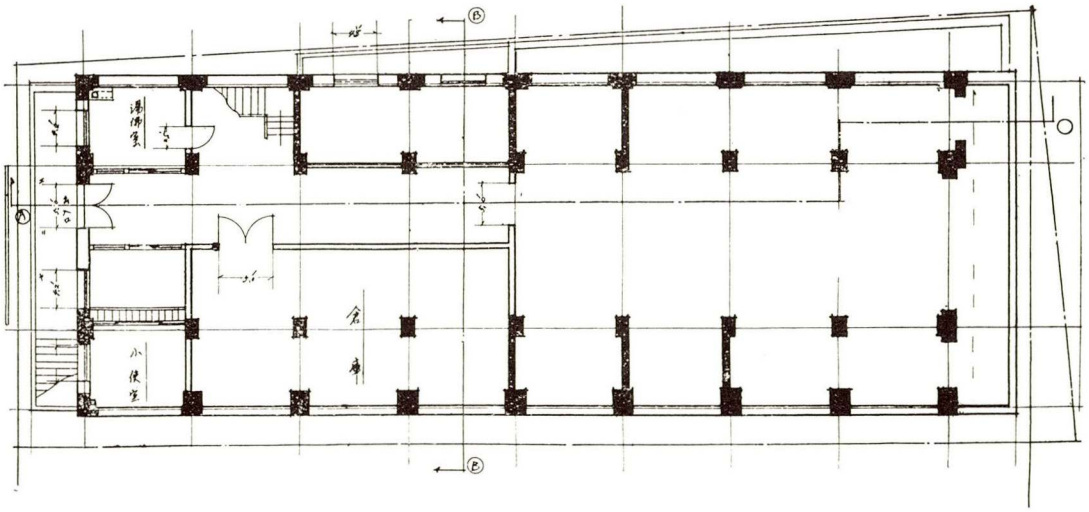
(新名種夫)



2 階 平 面 圖

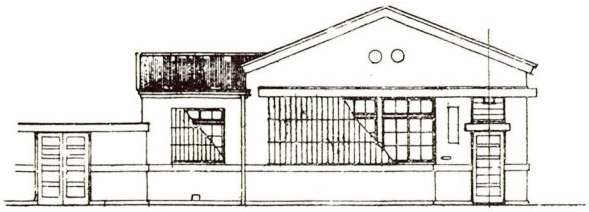


3 階 平 面 圖

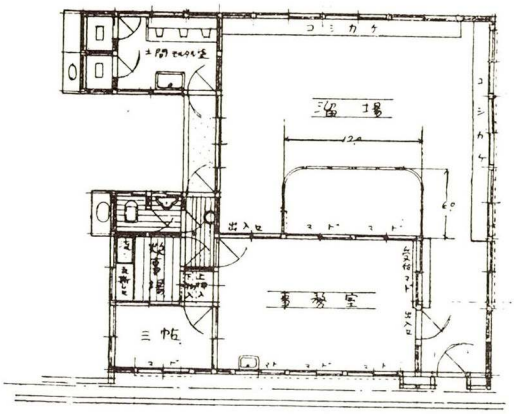


地 下 階 平 面 圖

大阪・千鳥橋勞働紹介所



立　面　圖



1 階 平 面 圖

勞 働 紹 介 所

千鳥橋勞働紹介所は建坪約 28 坪、木造平家建である。15 坪の床モルタル塗の溜場と 6 坪の事務室とが主要部分であるが、そのほかに早朝より紹介が行はれる爲、所員宿泊の爲に疊敷 3 帖、炊事場、便所合計 3.75 坪と勞働者用便所 2 坪とがあるだけである。

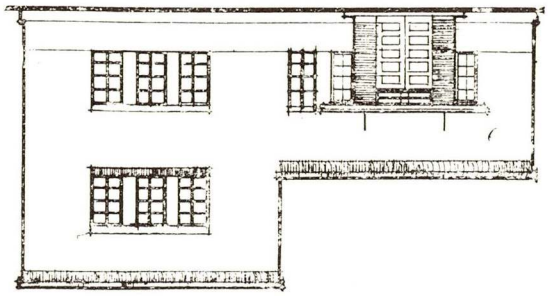
道路に面した入口が狹くて、庭に面した出口が廣いのは、多數が一度に受付へ押し寄せることを防ぐ爲である。

事務室前の約 2 坪は徑 2½ 吋の鐵管を組んだ手摺で圍ひ、所員はその中にて求人口及賃銀の呼びあげ紹介票の交付等を行ふのである。鐵管は地中コンクリートの中に十分に深く埋め込み多人數に押されても決して倒れない樣頑丈にしておく。

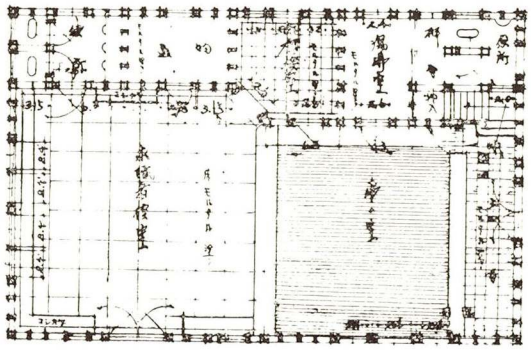
全て氣の荒い勞働者相手であるから、各部頑丈第一にすべきは勿論、道路に面した窓には丈夫な鐵格子を設けて暴力の突發に備へる。

（新名種夫）

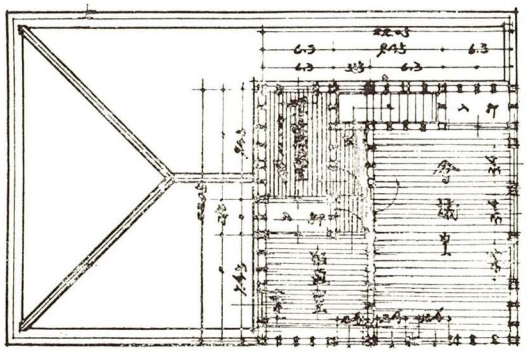
神戸・西部勞働紹介所



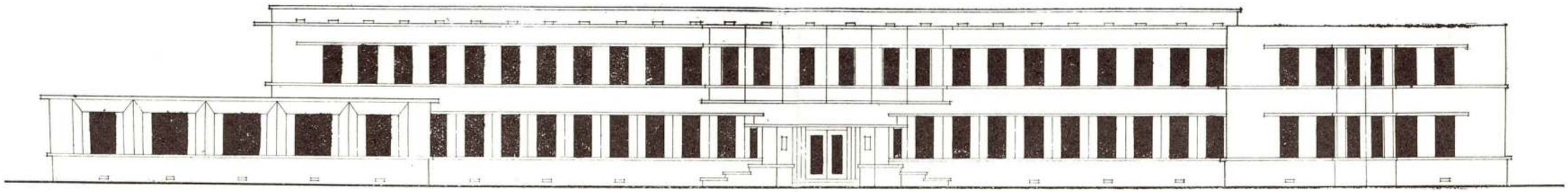
立　面　圖



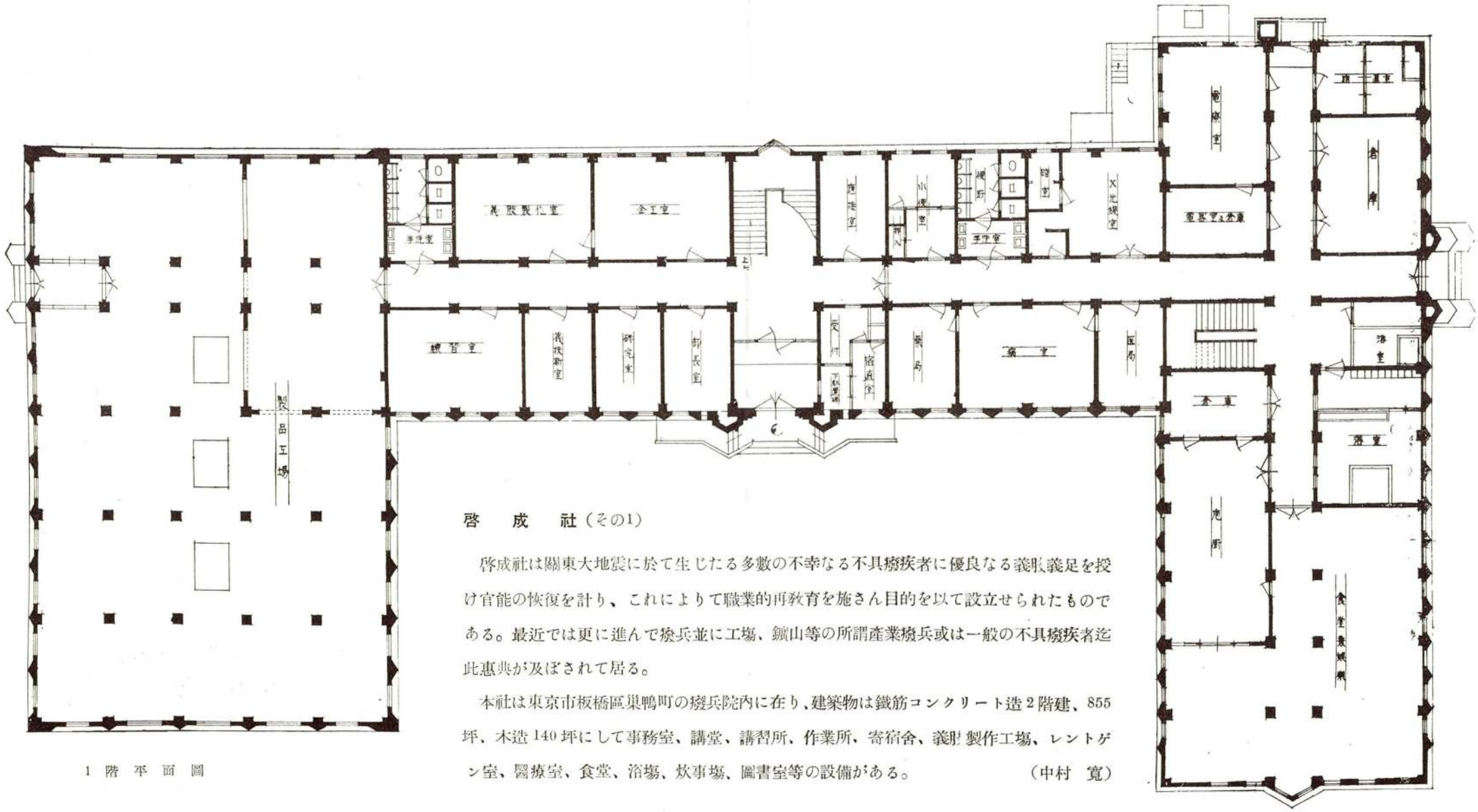
1 階 平 面 圖



2 階 平 面 圖



立　面　圖

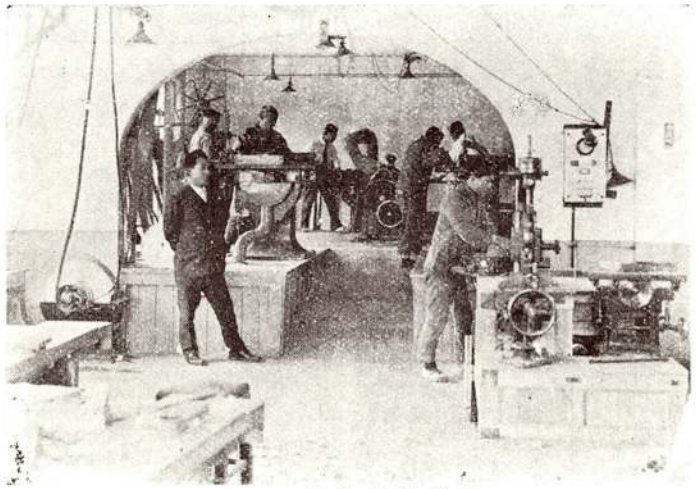


1 階 平 面 圖

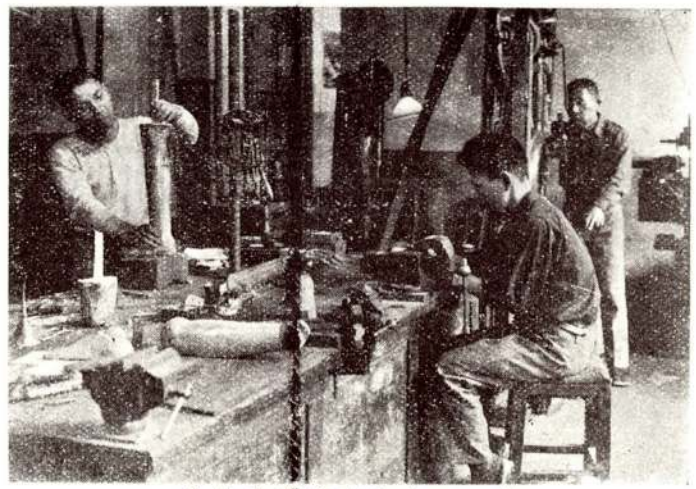
啓　成　社（その1）

啓成社は關東大地震に於て生じたる多數の不幸なる不具癈疾者に優良なる義眼義足を授け官能の恢復を計り、これによりて職業的再教育を施さん目的を以て設立せられたものである。最近では更に進んで癈兵並に工場、鑛山等の所謂産業癈兵或は一般の不具癈疾者迄此惠典が及ぼされて居る。

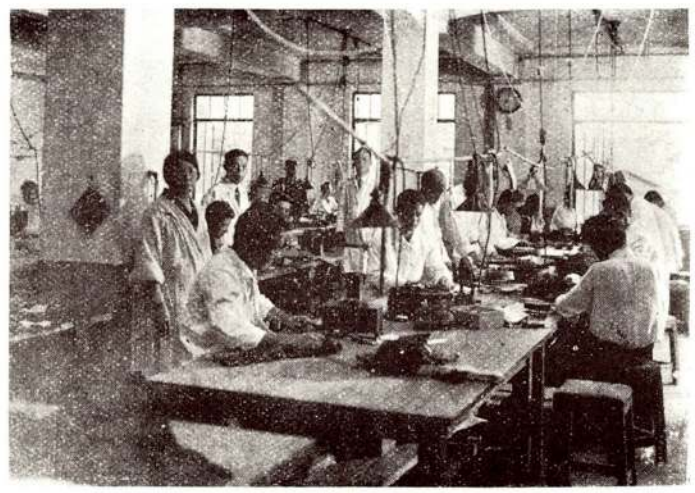
本社は東京市板橋區巢鴨町の癈兵院内に在り、建築物は鐵筋コンクリート造2階建、855坪、木造140坪にして事務室、講堂、講習所、作業所、寄宿舍、義肢製作工場、レントゲン室、醫療室、食堂、浴場、炊事場、圖書室等の設備がある。　（中村　寛）



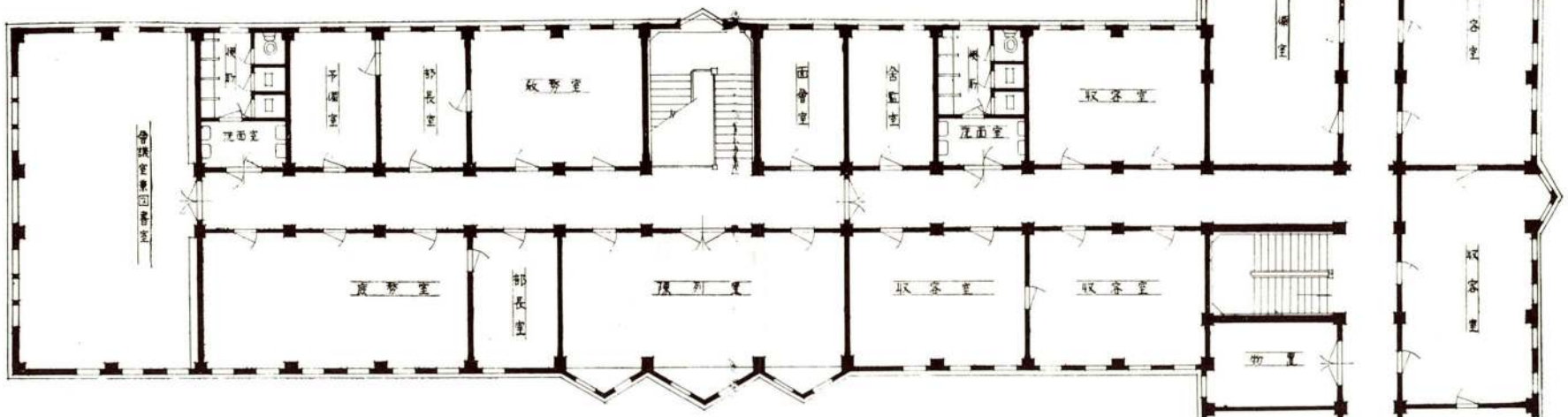
家具科作業室



整能科義肢製作室の一部



洋服裁縫作業室



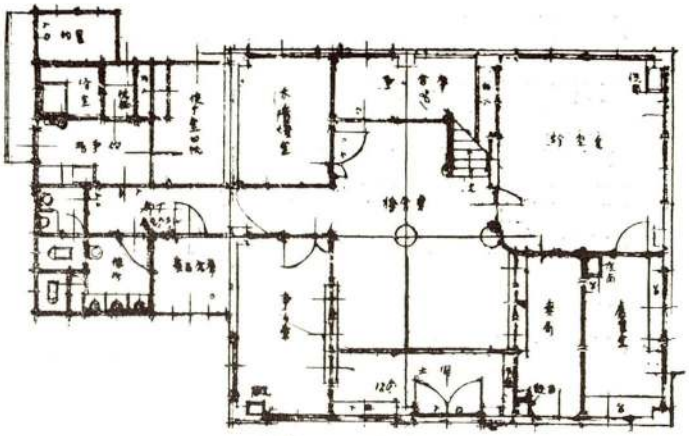
2階平面図

観　外

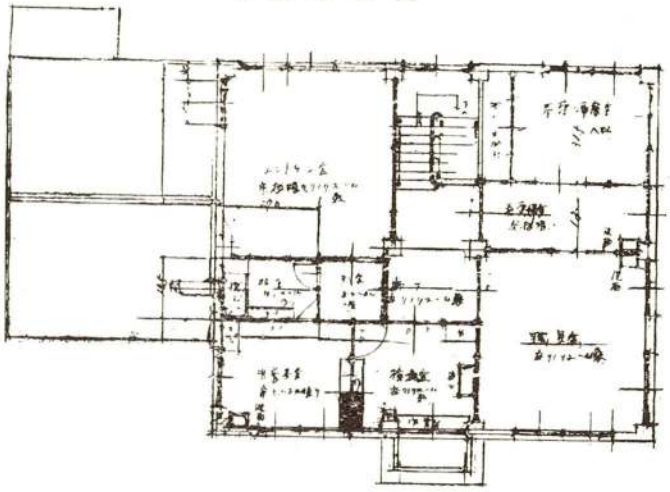


啓　成　社（その2）

職業再教育の課程はミシン裁縫、婦人子供服、籐細工、履物仕上、履物附師に分たれて居る。上圖は家具科、洋服裁縫科、作業室に於て義肢、義足を以て完全な作業を營む狀況を示すものである。　（中村　寛）



1 階 平 面 圖



2 階 平 面 圖

健 康 相 談 所

結核豫防の一つの機關として最近設立されたもので、現在2ケ所あるが、次第に增設して、近き將來には少くとも大阪市內各區に各々一個所の健康相談所が設けられる豫定だと聞く。

刀根山結核病院と連絡を取り、結核罹病者の早期發見と、その投藥治療とを目的とする。刀根山病院は健康相談所の診斷に依り、希望に依つて入院の手續を取ると言ふ順序になる。

泉尾健康相談所は一部鐵筋コンクリート造2階建、一部木造平家建である。

一階中央廣間を比較的廣く取つて待合室を兼ね、そこから診察室、藥局、事務室、太陽燈室等に通じて居る。

診察室は處置室と連絡して居る。

1階木造の部分には、藥品倉庫、使丁室、炊事場、浴室、便所。

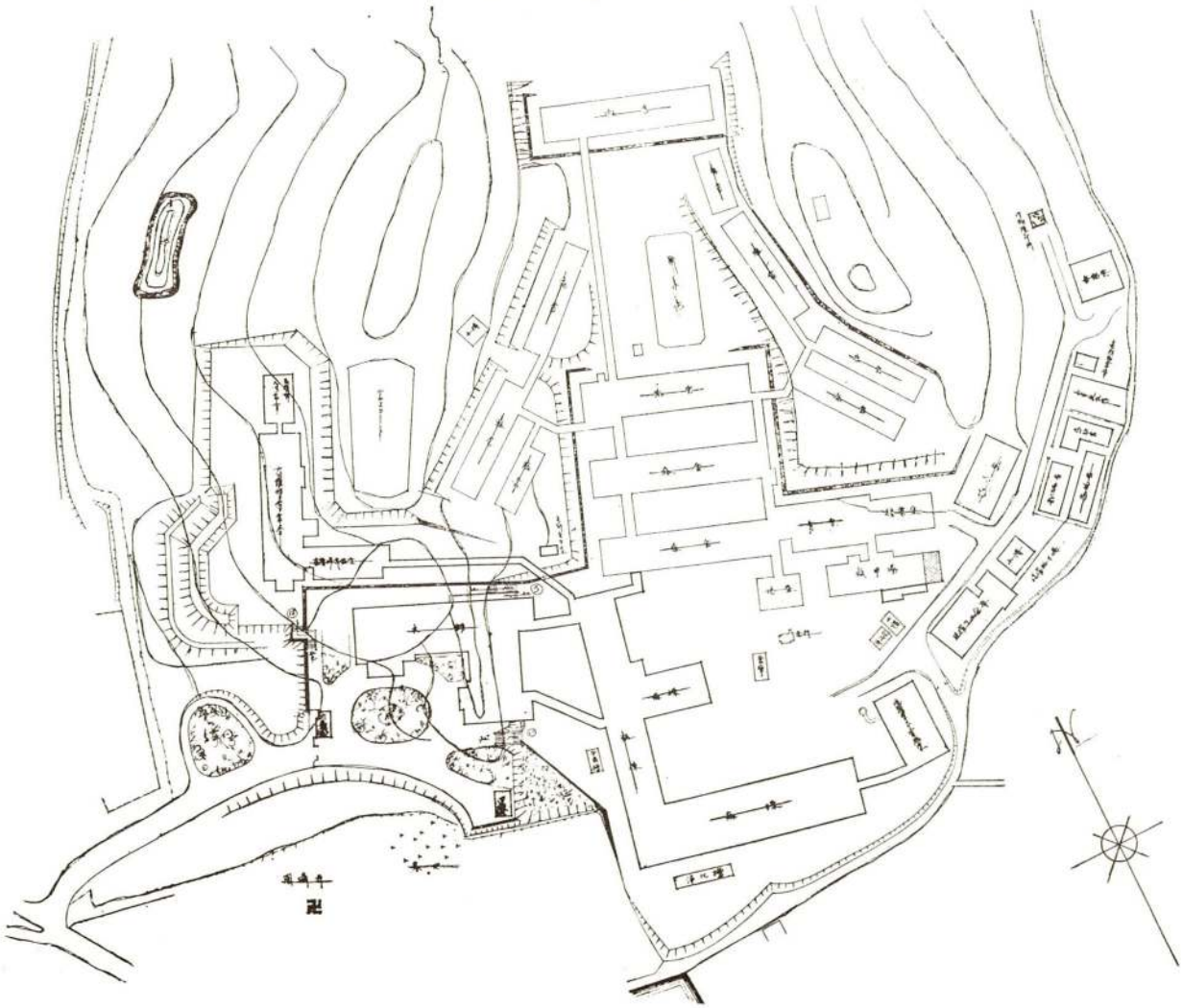
2階には廣間を圍んで看護婦室、同寢室、職員室、檢査室、レントゲン室、暗室、培養基室。　（新名種夫）

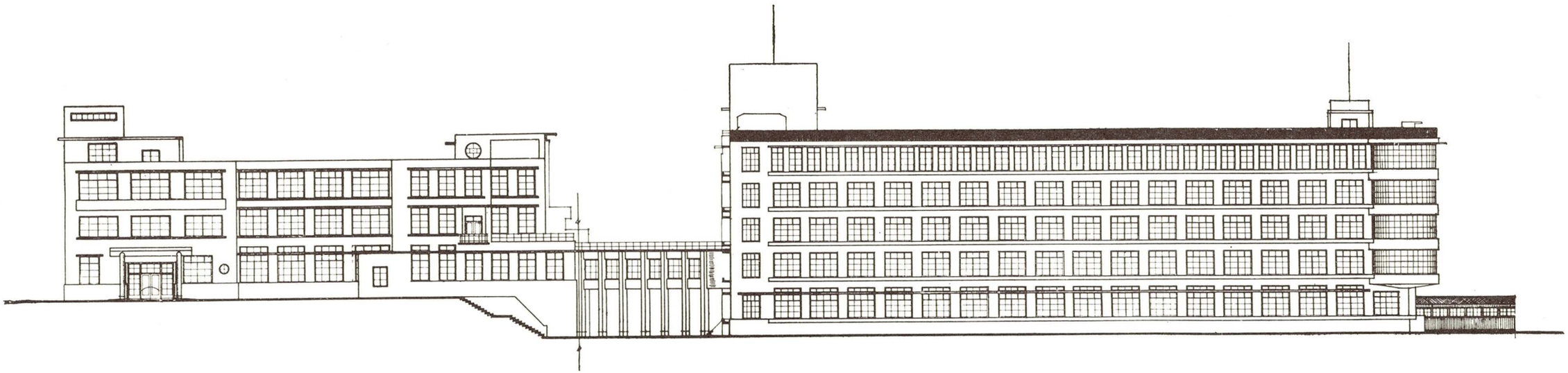
結　核　病　院

刀根山結核病院は原則として少額收入家庭の結核患者を收容し、無料にて入院治療せしめるのが目的である。阪急螢池の近く 65,000 坪の丘稜を敷地とし、現在木造の病舍に 420 人の無料患者を收容して居るが、昭和 6 年 7 月に鐵筋コンクリート 5 階建の病館（延約 3,100 坪）、同 3 階建の本館（延約 1,000 坪）、竝に木造附屬家の增改築案成り現在工事中、本年末竣工の豫定である。

圖は增築計畫案であるが、竣工の曉には收容人員無料患者 180 人、有料患者 150 人を增加し、收容人員合計 750 人となる豫定である。　（新名種夫）

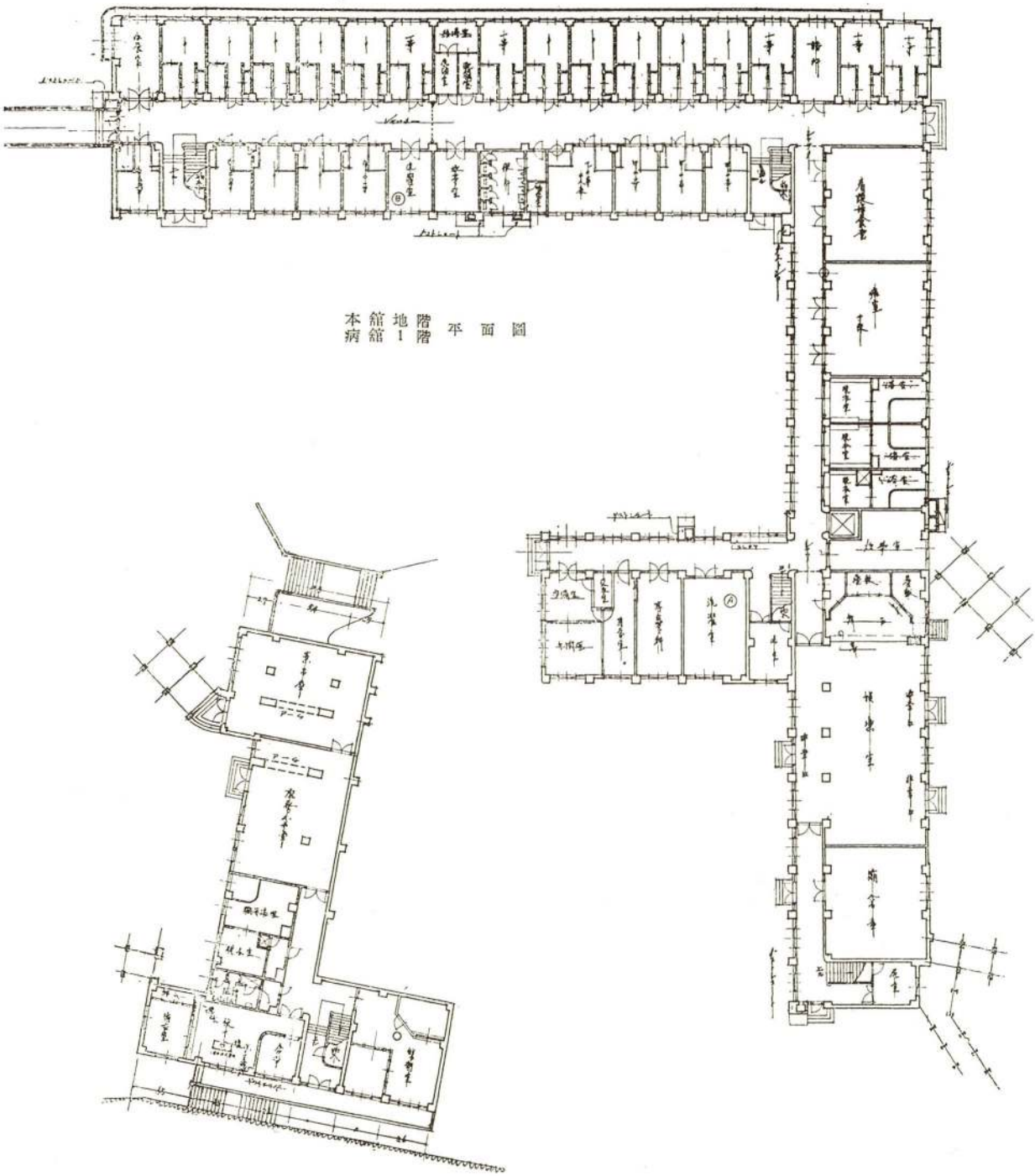
配　置　圖



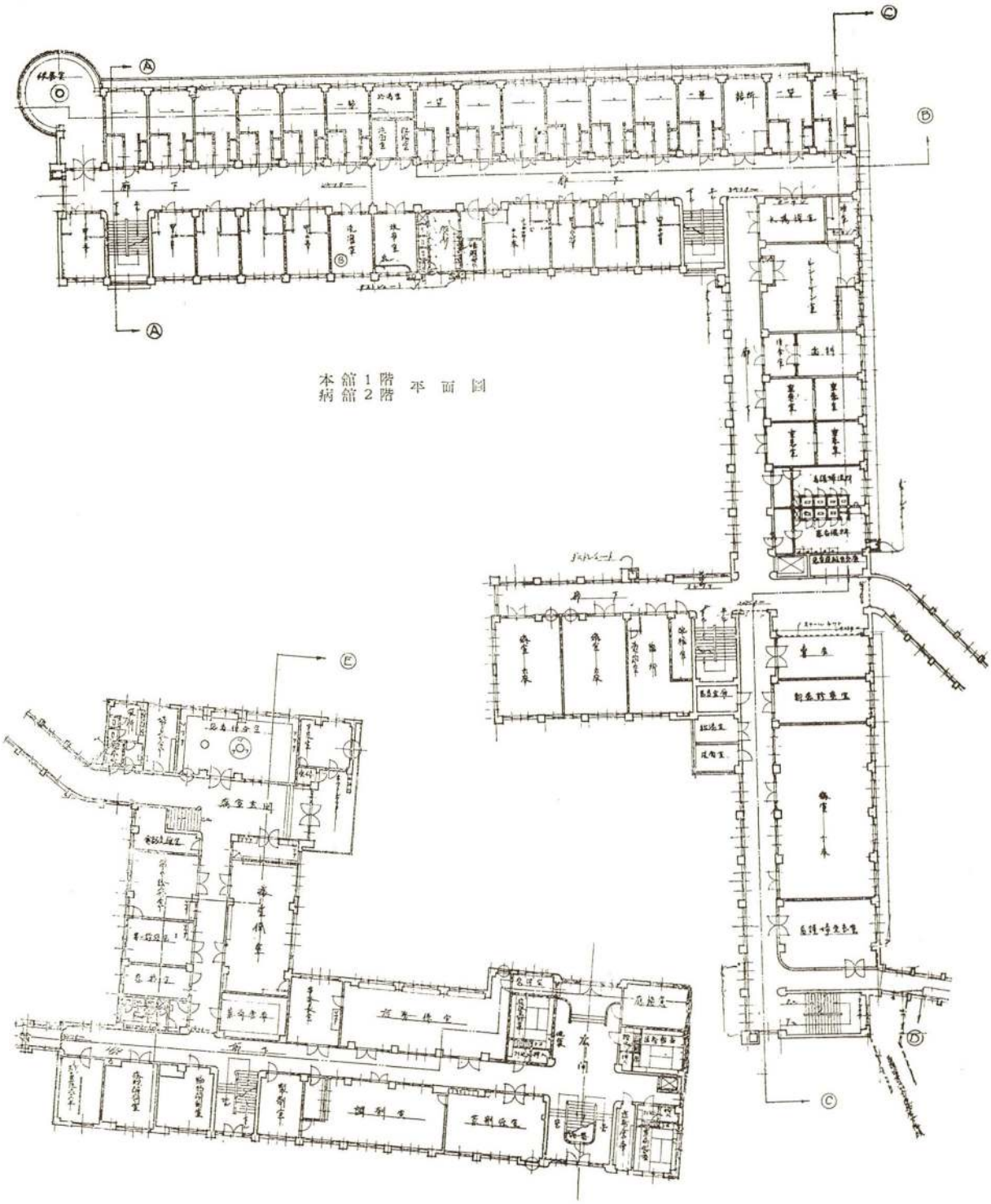


立　　面　　圖

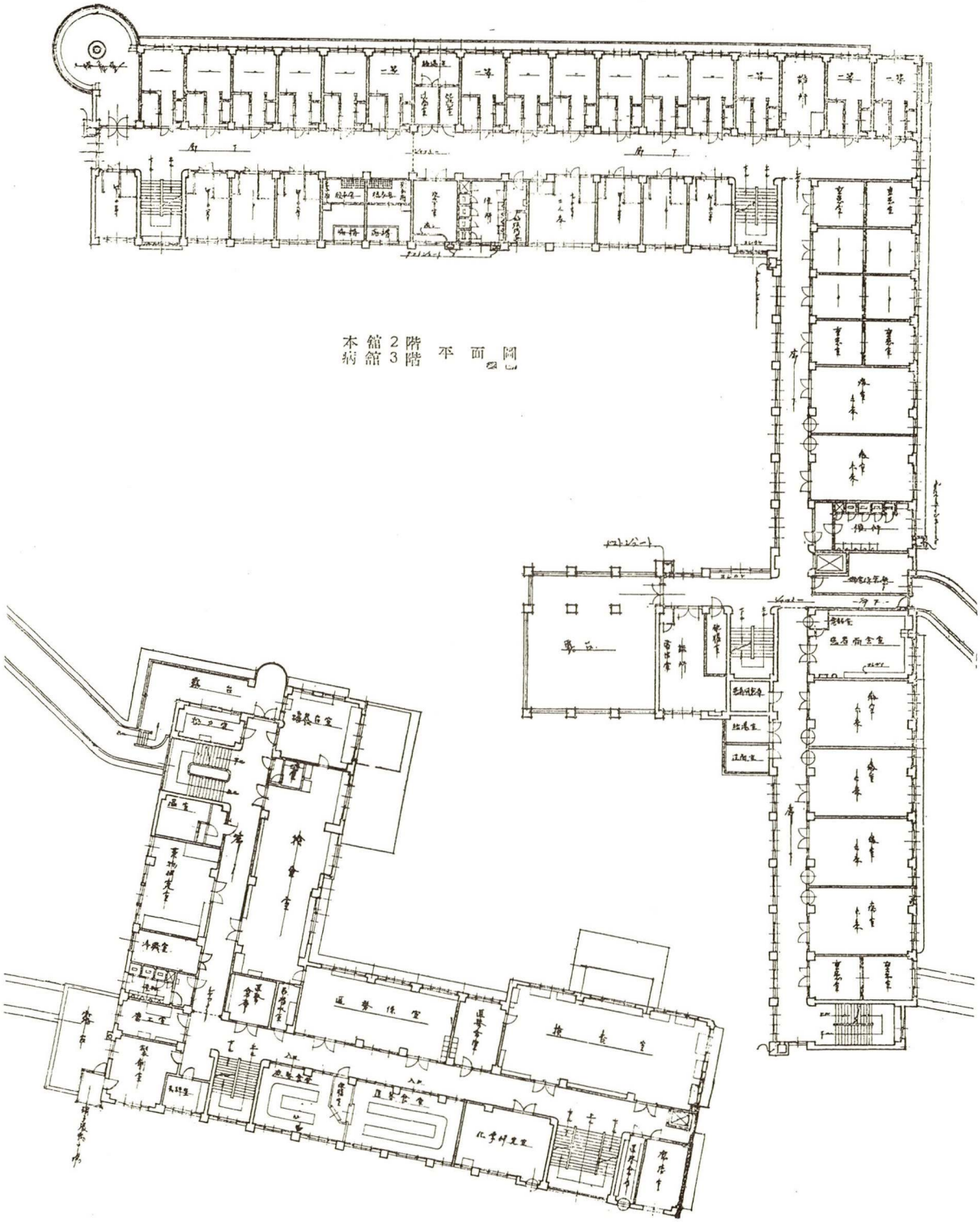
大阪市立刀根山療養所



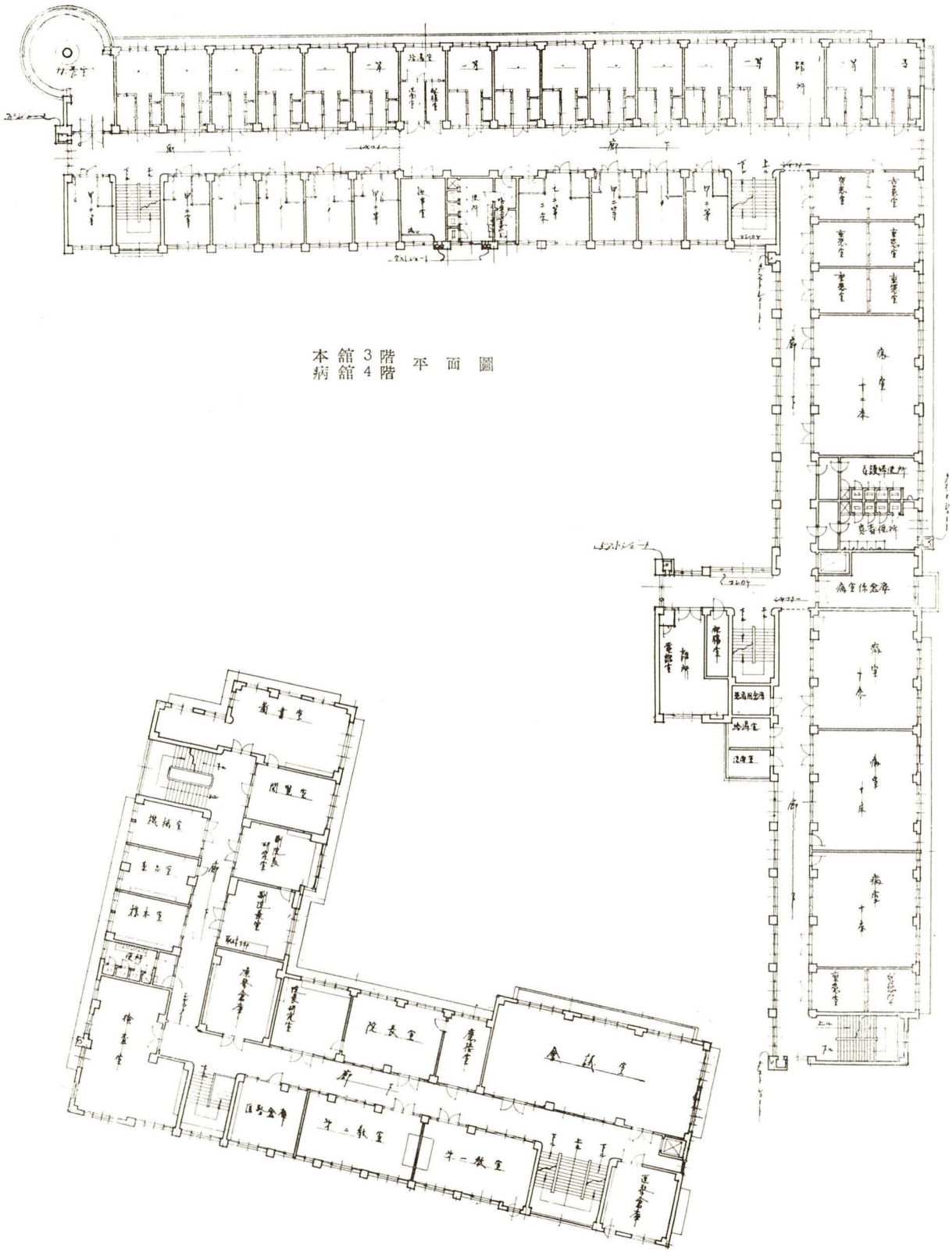
本館地階平面圖
病館1階



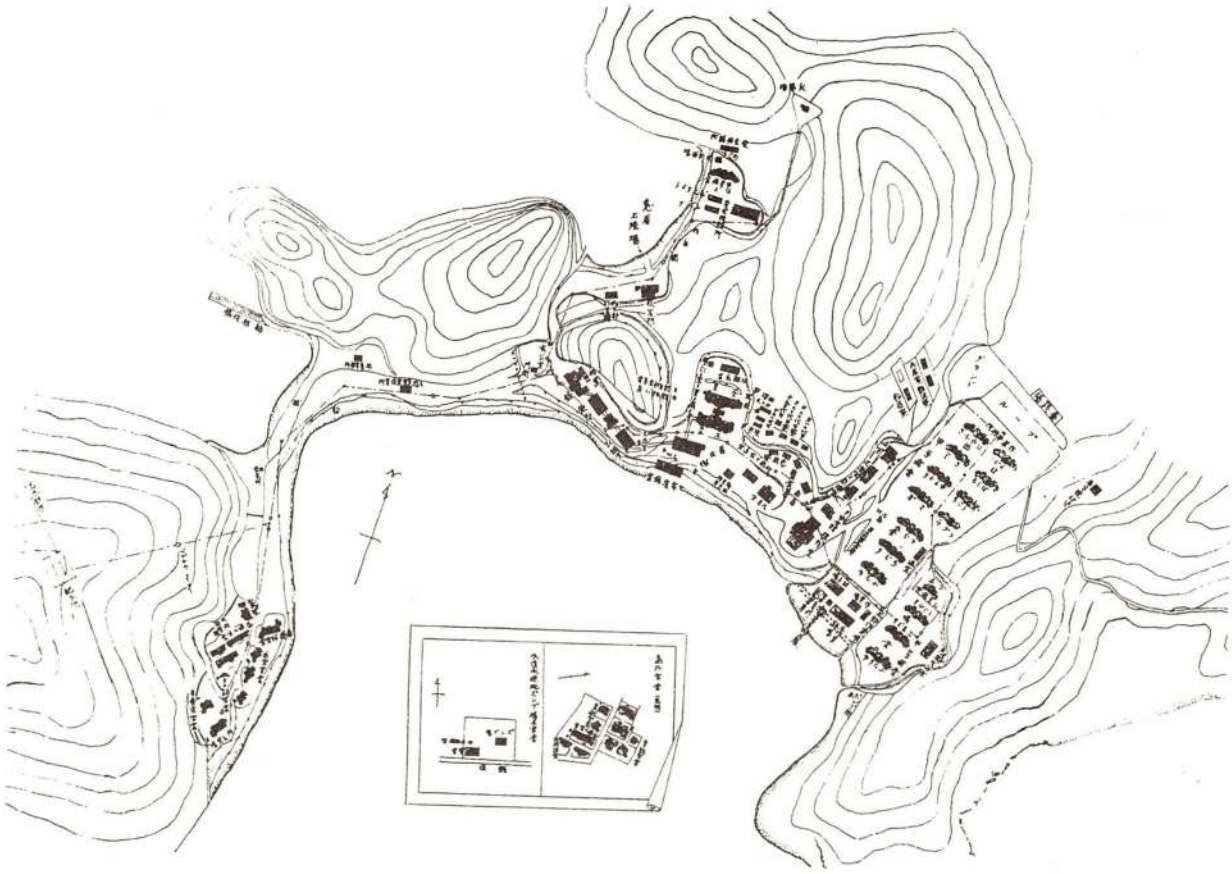
本館1階
病館2階　平面図



本館2階
病館3階　平面図



本館3階
病館4階　平面圖



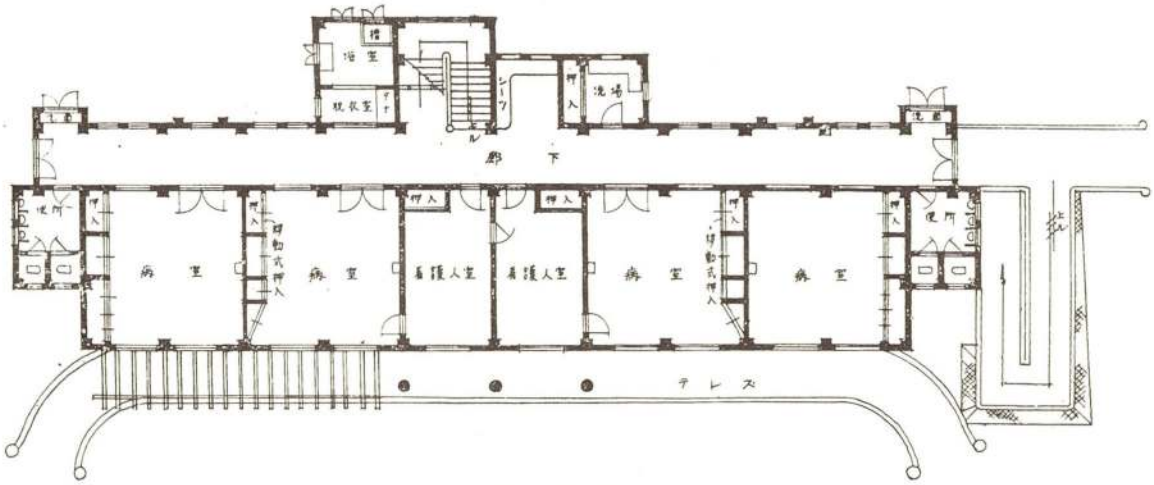
配　置　圖

愛生園長島國立癩療養所

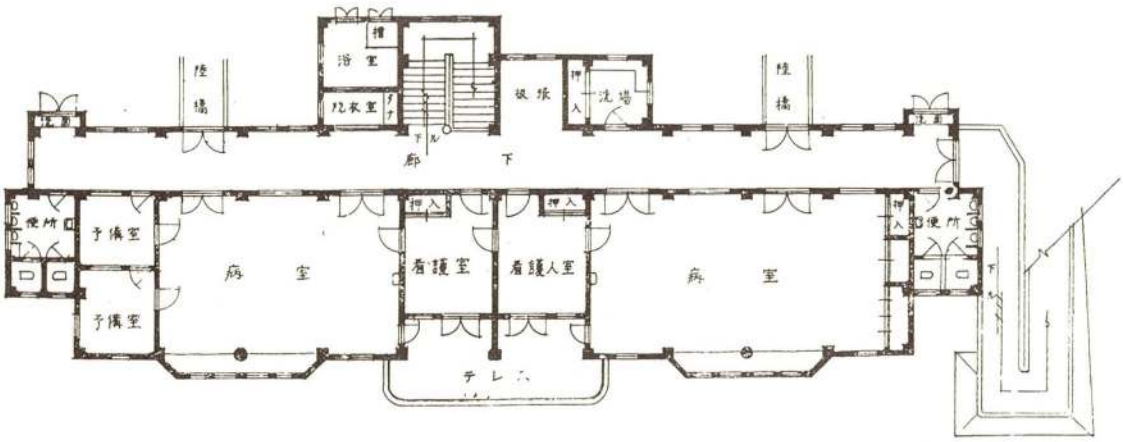
長島愛生園は岡山縣邑久郡裳掛村長島に在る、岡山市を去る東方7里に當る。全島面積318町歩の島嶼に醫療の道なき不幸な癩患者500人を收容してゐる、建物總棟數は96、建築延面積3.116坪で主なる建築物は本館、病舍（普通病舍、重病舍）、隔離病舍、醫局、藥局、試驗室、治療室、洗濯室、消毒室の各棟、禮拜堂、娛樂室等がある。　（中村　寬）



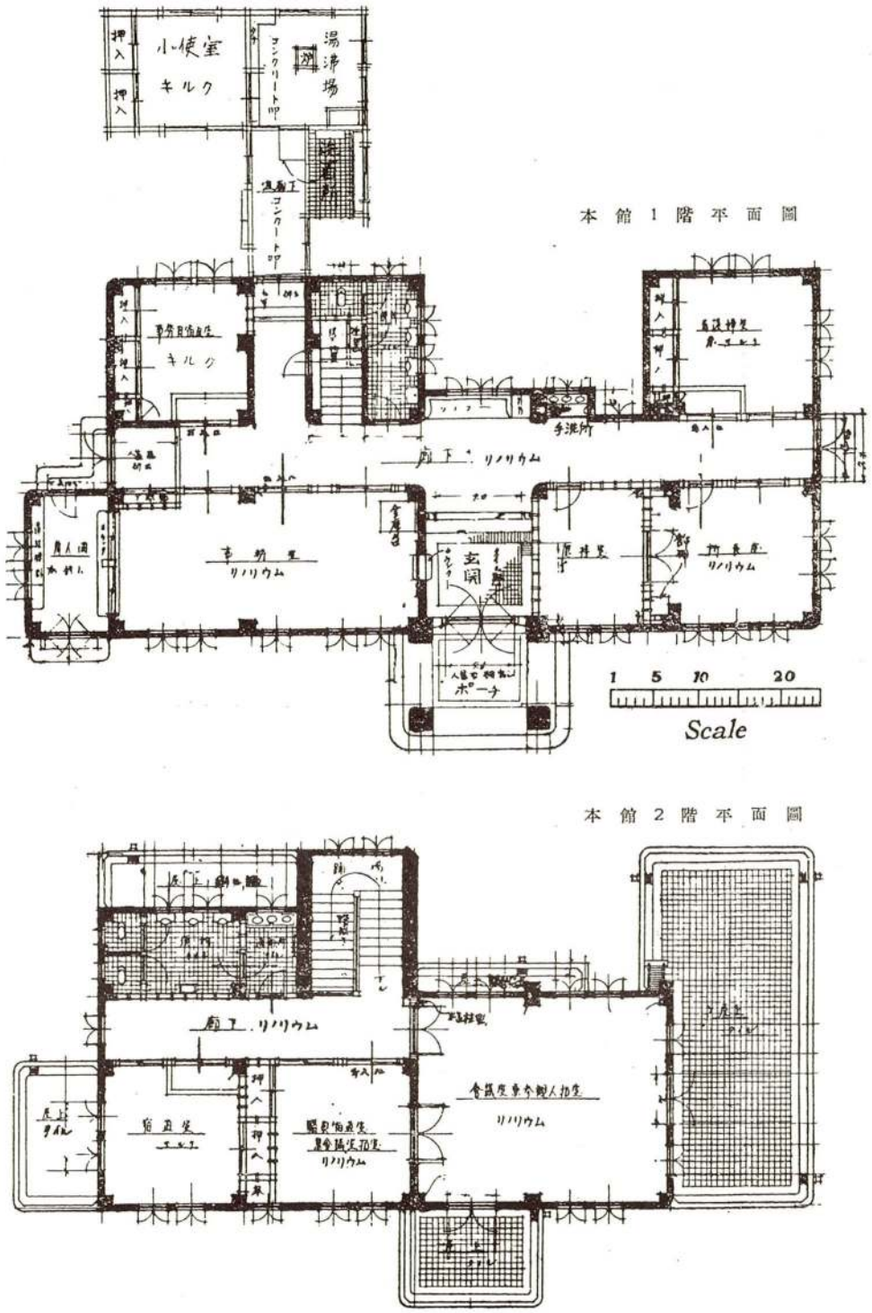
病　舎　正　面



1 階 平 面 圖

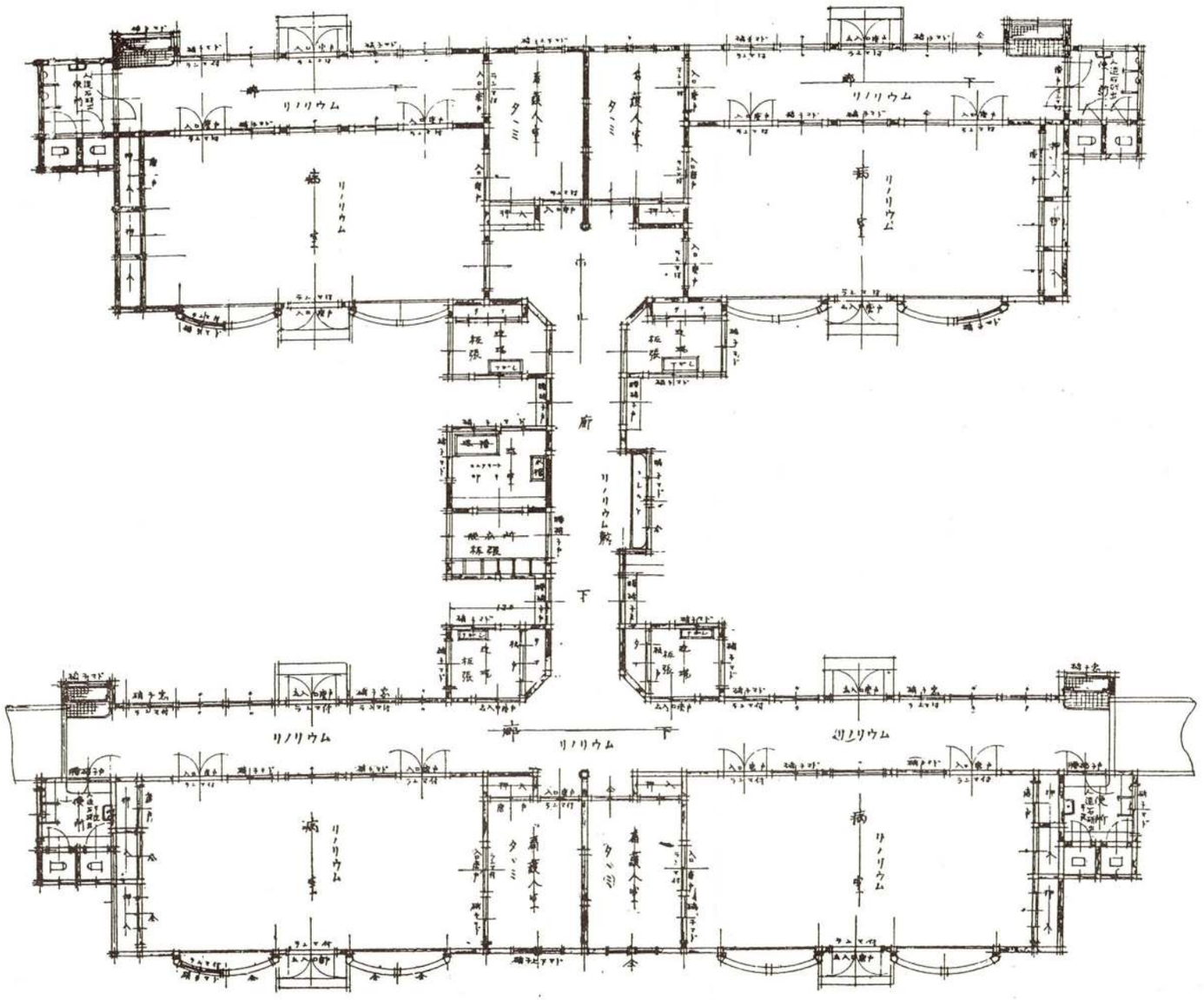


2 階 平 面 圖

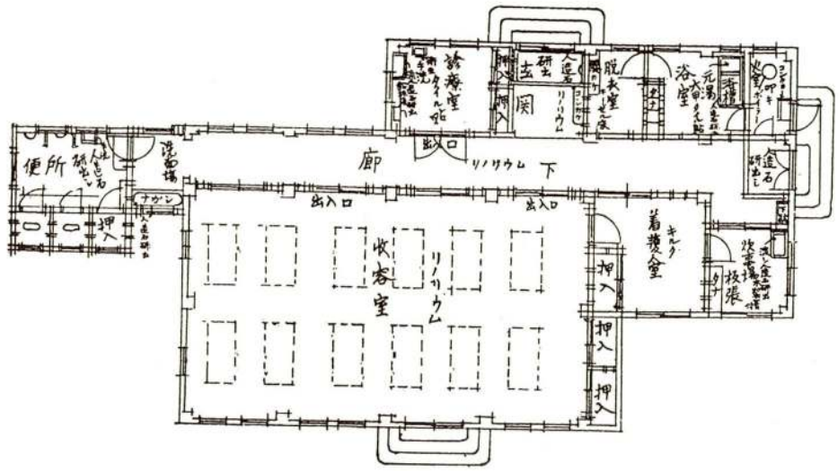


本館1階平面圖

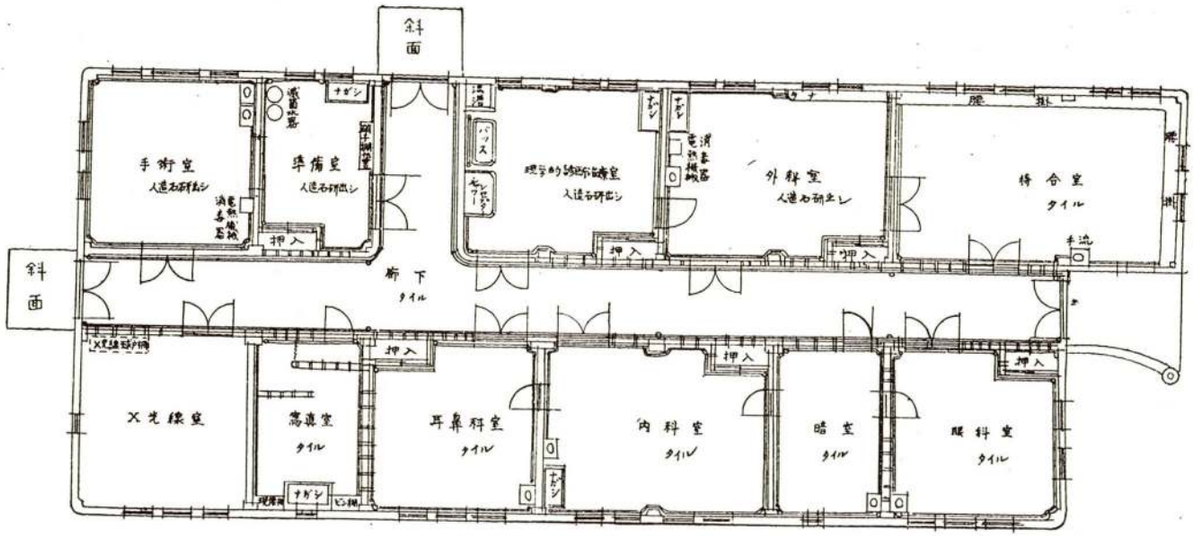
本館2階平面圖



重病舍平面圖

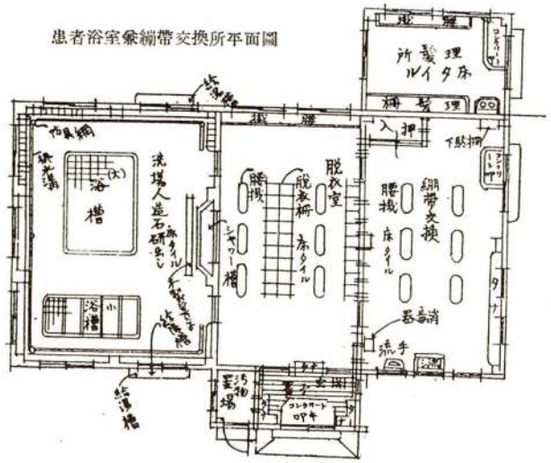


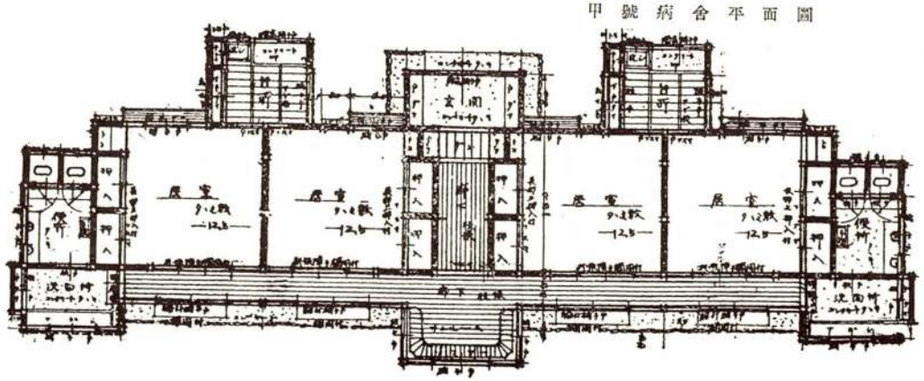
收　容　室



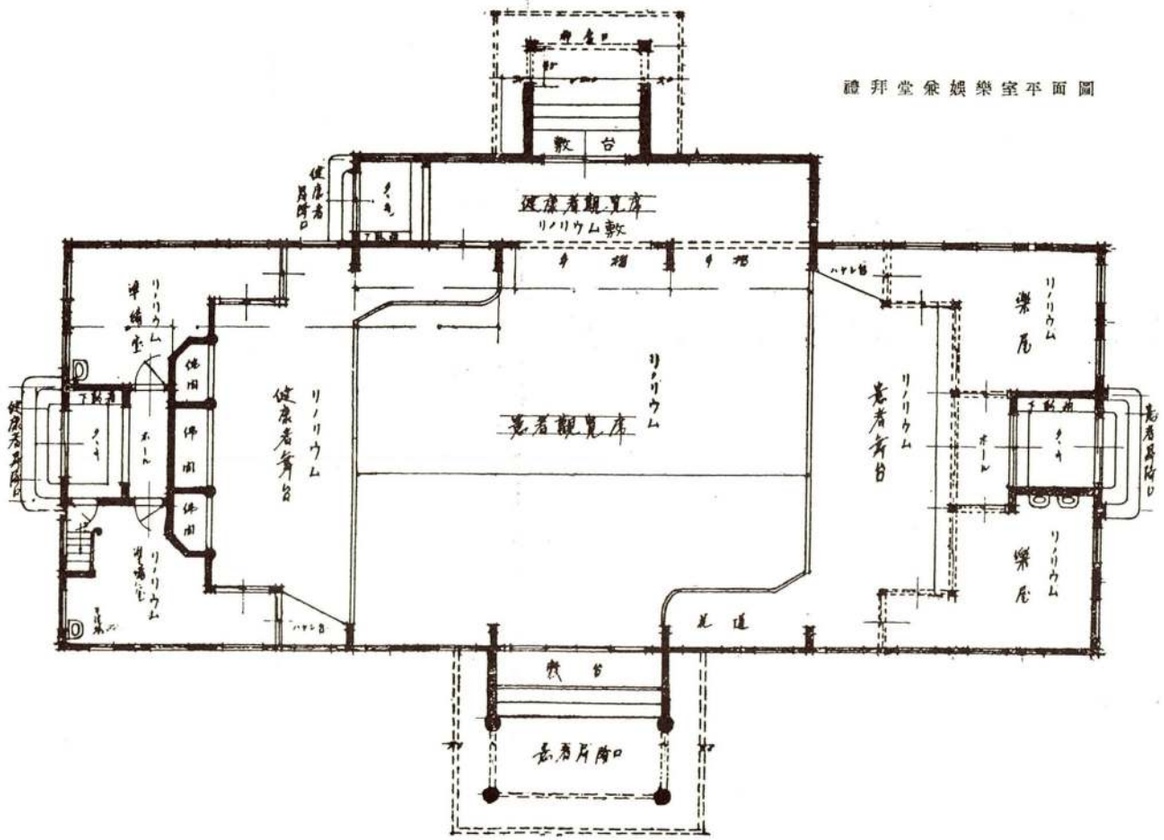
治療室平面圖

患者浴室兼繃帶交換所平面圖





甲號病舍平面圖

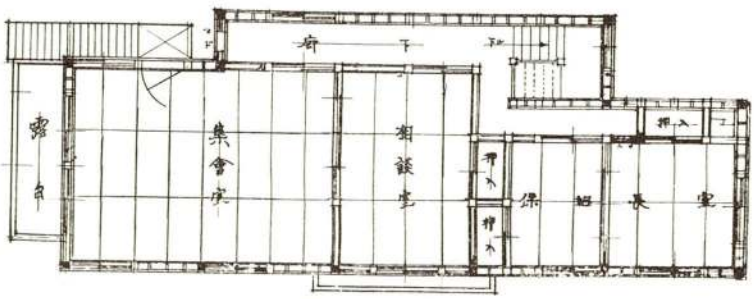


禮拜堂兼娛樂室平面圖

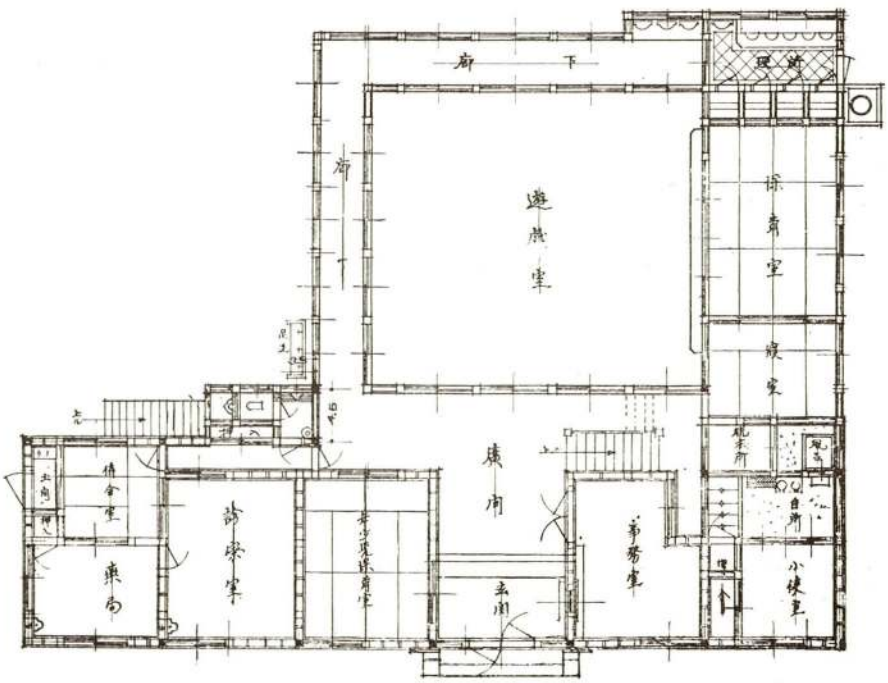
岡山縣・長島愛生園



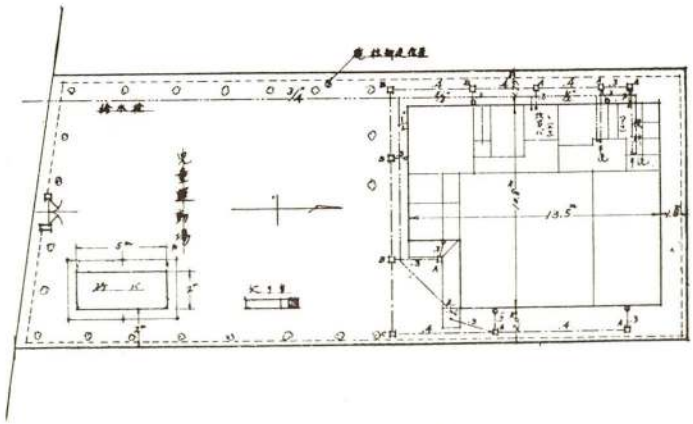
立　面　圖



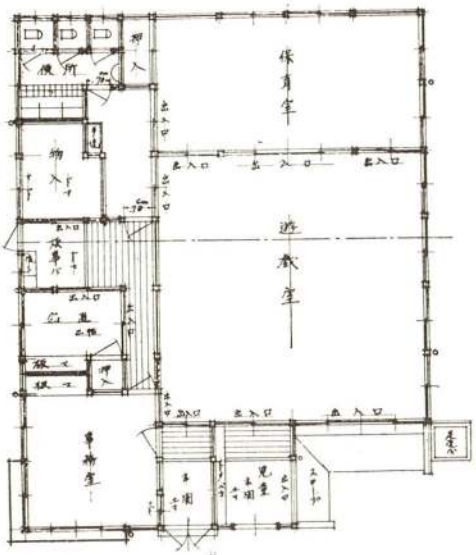
2 階 平 面 圖



1 階 平 面 圖



配　置　圖



1 階 平 面 圖

託 兒 所、保 育 所

市內在住の低收入者の中、幼兒が手足纏ひになつて充分に活動の能力を發揮することが出來ない人々の爲に、晝間その兒童を預り、家庭に代つて保育の任に當り、衛生及敎育の見地からこれを保育すると共に、その兒童の愛を通じて家庭の薫化善導を圖るのを目的とする。

生後6ケ月位の乳兒から學齡までの兒童を預る故に乳兒に對する設備と相當年長の兒童に對する設備と兩樣の設備が必要である。

年長兒童に對する設備は大略幼稚園と同樣であり、廣い遊戲室を中心として、それに保育室、集會室、午睡室、場合によつては醫療室等を配し、屋外には兒童1人當大略1坪以上の運動場を設け、辷り臺、砂場等の設備をする。

遊戲室は床板張とし、運動場に向つて廣い出入口を開く。この出入口はなるべく階段の數を少くし、出來るならばスロープにて運動場に出られる樣にする。

普通玄關と兒童出入口とは區別し、兒童出入口はなるべく廣く取つて置く。

圖は弘濟會設立の木津川保育所及市立日ノ出町託兒所であるが、兩者共託兒所としては最低限度の設備しか持つて居ないことを斷つておかねばならぬ。

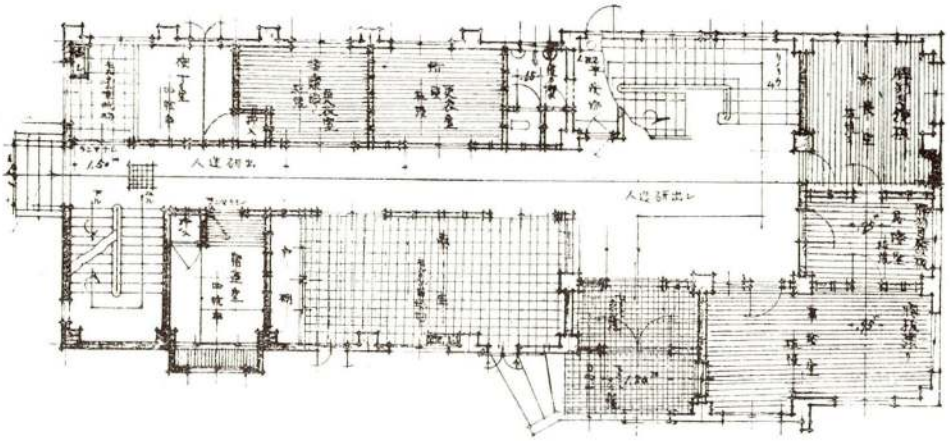
木津川保育所　（木造平家建）

待合室、藥局、診察室　年少保育室(10帖)　保育室(12帖)　寢室(6帖)　遊戲室(20坪25)　集會室(24帖)　相談室(16帖)　便所、手洗場

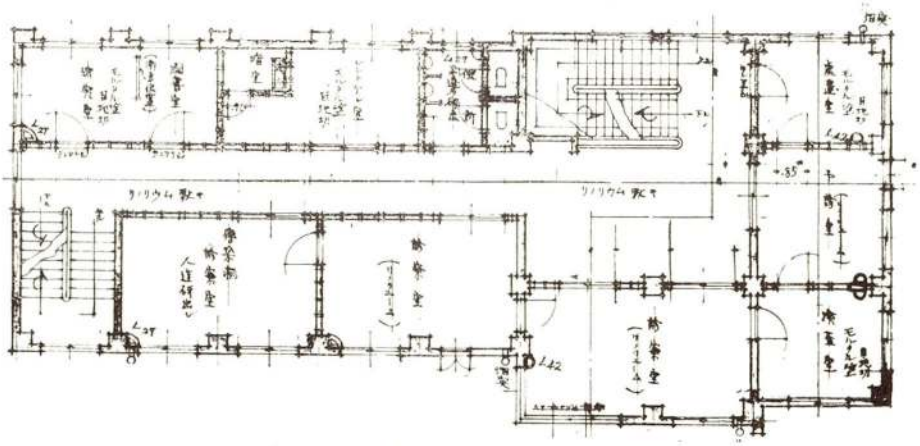
日之出町託兒所　（木造平家建）

遊戲室(51.84平方米)　保育室(25.92平方米)　事務室(12.96平方米)　宿直、炊事場、物入、便所、普通玄關、兒童玄關。

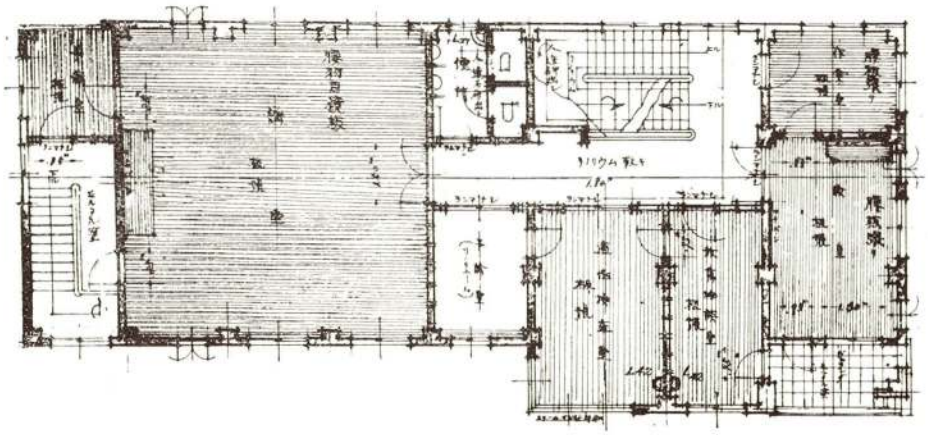
（新名種夫）



1 階 平 面 圖



2 階 平 面 圖



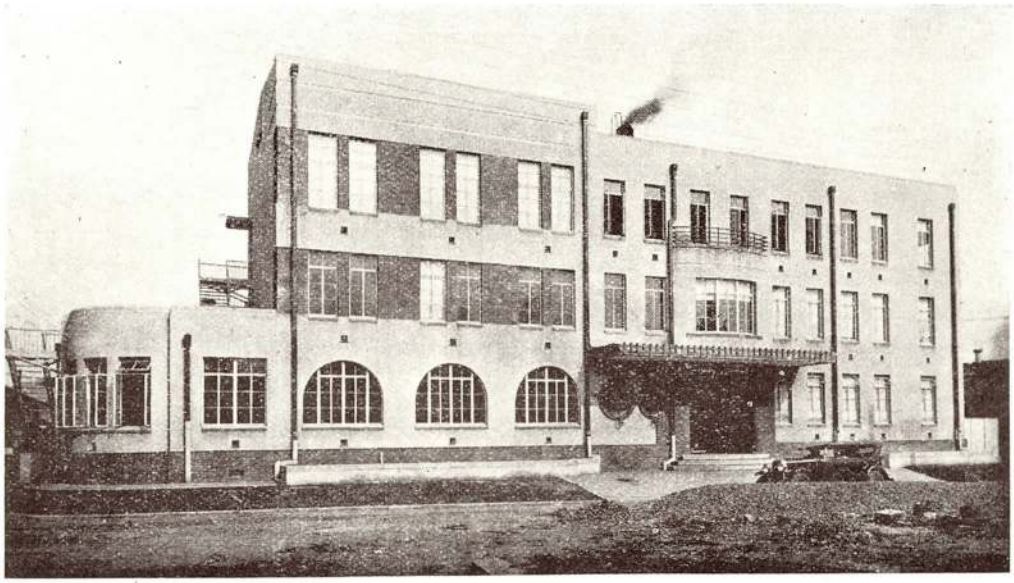
3 階 平 面 圖

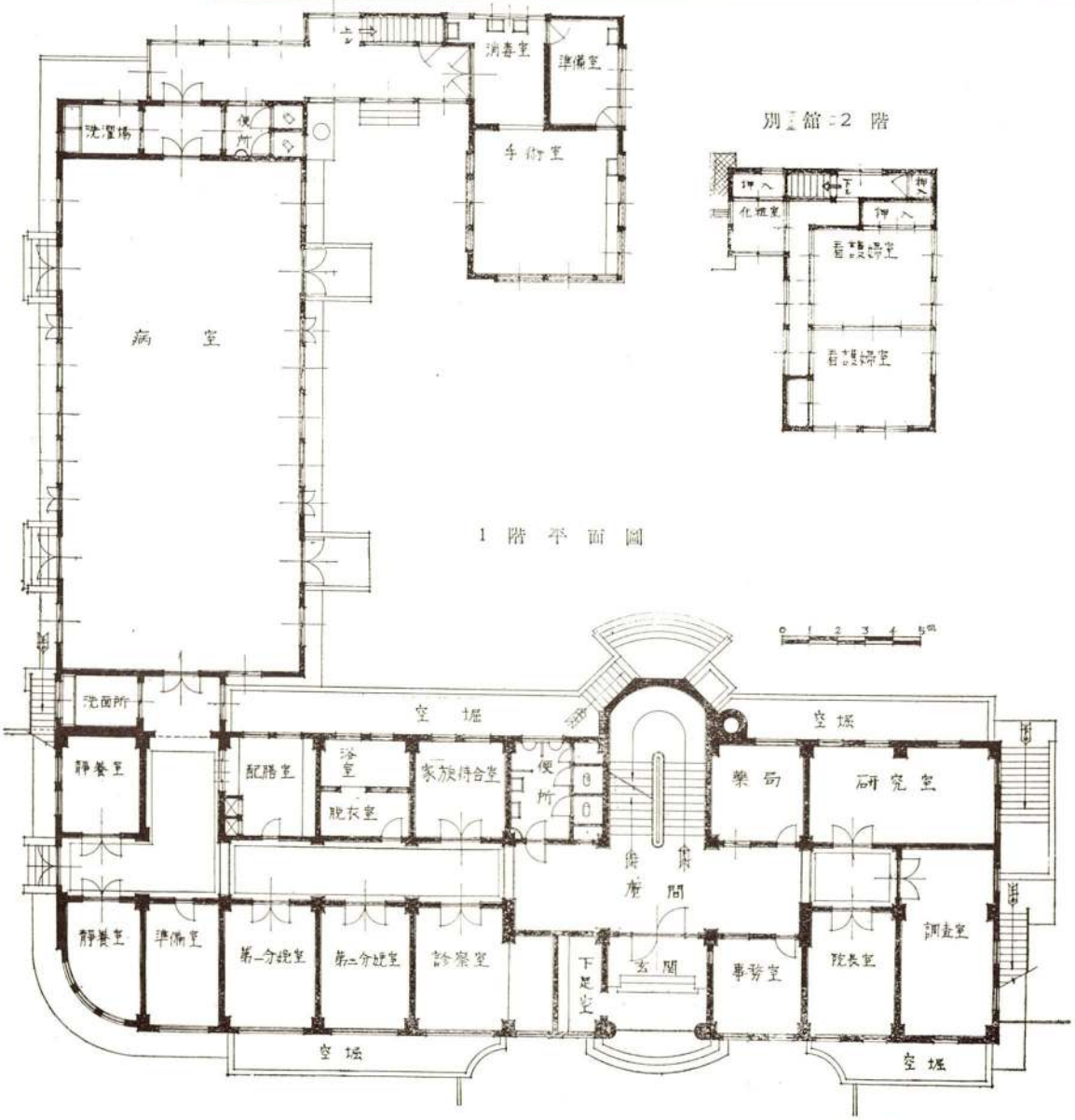
湊 川 兒 童 相 談 所

神戸市立兒童相談所は兒童の健康智能等につき一般市民の相談に應ずる施設である。

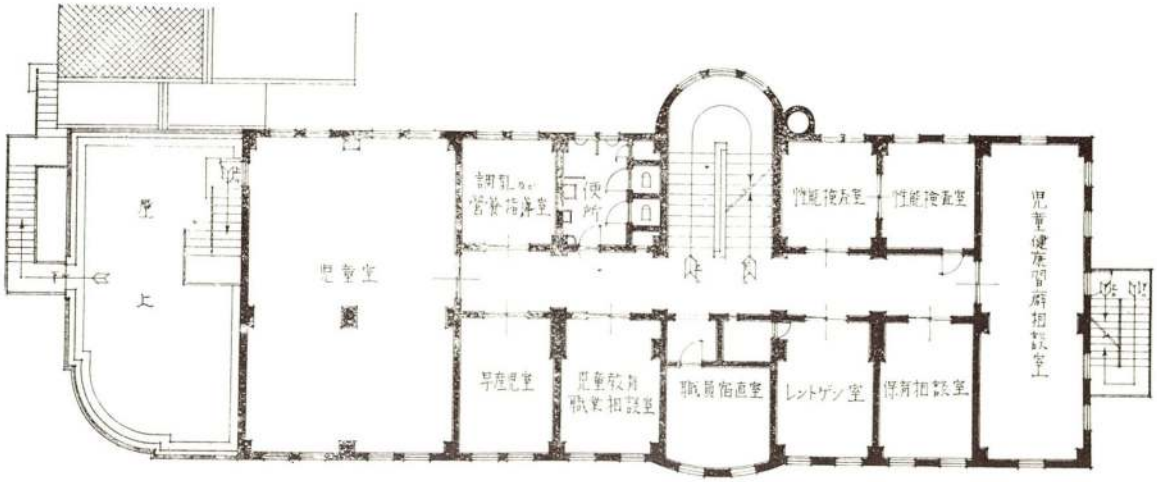
建物は鐵筋「コンクリート」3 階建一部地階、塔屋附で延坪數 193 坪、同工費は約33,400圓で昭和5年3月に竣工した。

（奥田　譲）

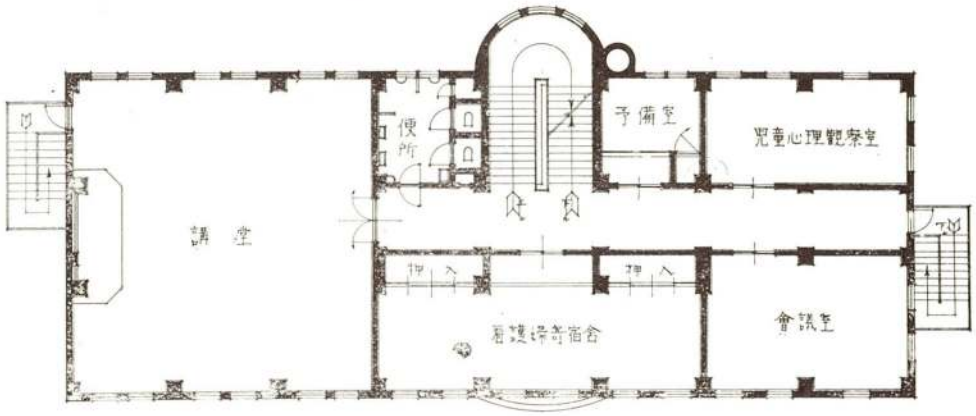



消毒室
準備室
洗濯場
便所
手術室
病室
別棟2階
化粧室
看護婦室
看護婦室
1階平面図
洗面所
空地
空地
静養室
配膳室
浴室
家族待合室
便所
脱衣室
業務
研究室
待合室
静養室
準備室
第一分娩室
第二分娩室
診察室
下足室
玄関
事務室
院長室
調査室
空地
空地

京都市兒童院



1 階 平 面 圖



2 階 平 面 圖

京 都 市 兒 童 院

昭和3年頃きあたりより京都市へ御下賜の社會事業基金と、御大禮奉祝會よりの寄附金とにより設立されたもので、母性及兒童の保護機關である。母性及兒童に對する社會的缺陷を除き兒童の健全なる發育を助け、以て善良なる市民たらしめんとするを目的とする。京都市在住の中産以下の母性及18歳未滿の兒童が本施設の對象である。事業を分類すると次の如くである。

母性保護の爲には——助産、診療、妊産婦健康相談。

兒童保護並に相談指導の爲には——一般兒童の健康心理、教育、職業等の相談、身神異狀兒の相談及保育營養指導、牛乳供給。

教化輔導の爲には——環境異狀兒の調化、休養、慰安、兒童に關する各種娯樂機關の考案、製作、選擇、紹介、鑑賞、指導等。

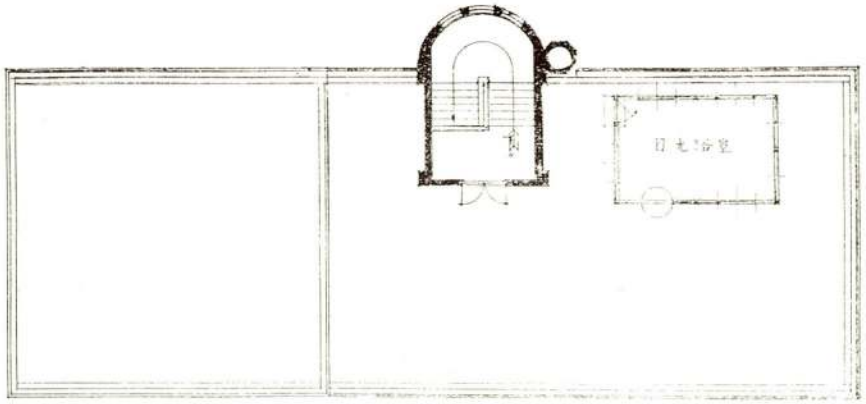
一般教化の爲には——母性及兒童に關する講演、講習、講座、展覽、文書宣傳等

建築面積	本館	306.73平方米
	別館	341.11平方米
延床面積	合計	1,676.91平方米

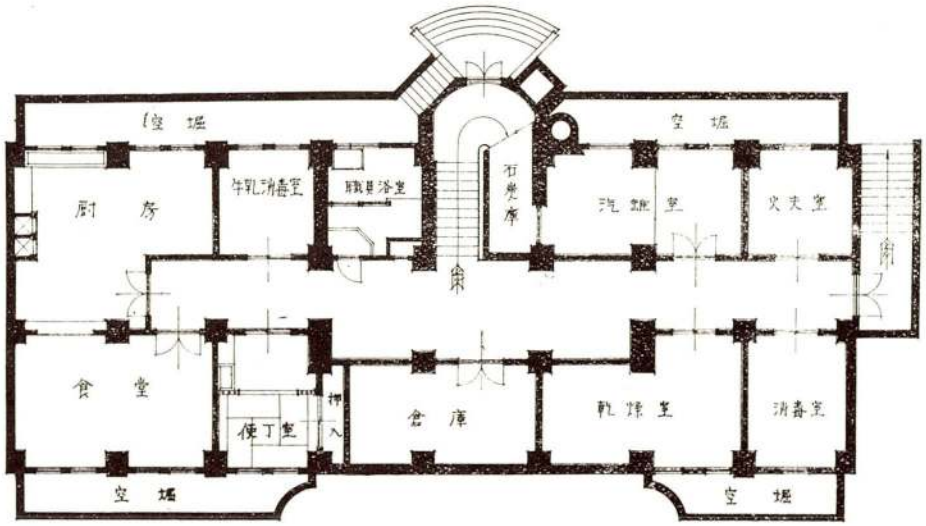
本館は鐵筋混凝土造3階建、別館は木造平家及2階建石綿板葺の建築である。

本館には主として、診療、治療、分娩、相談、教化、輔導、調査、研究等に關する諸室が配せられ別館は大略病室及手術室である。

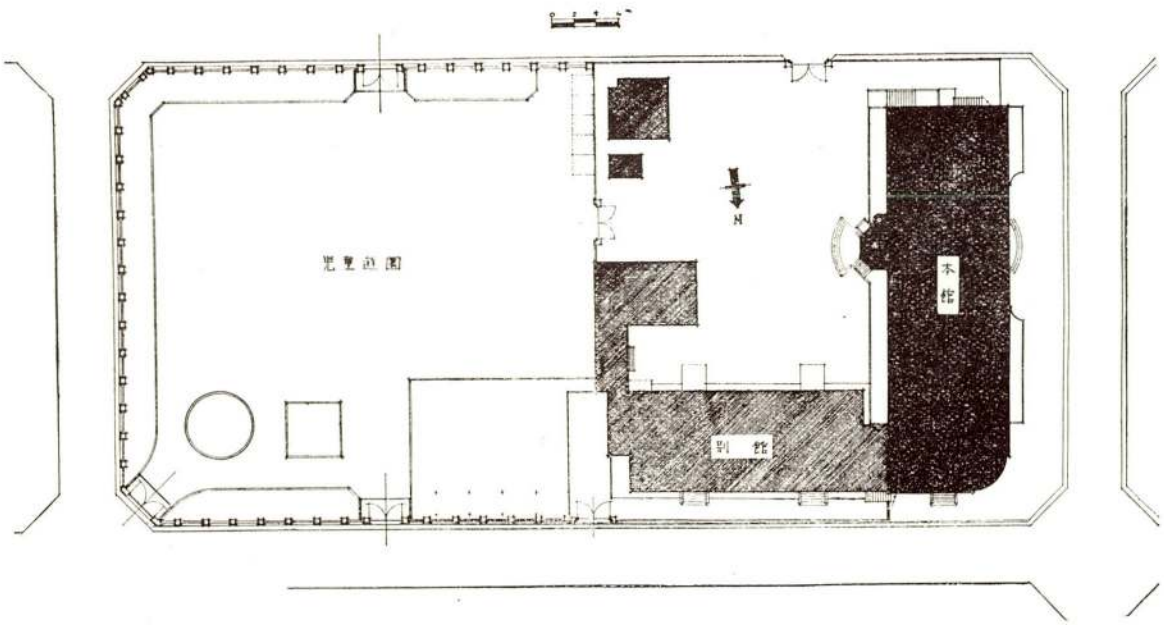
（三橋國太郎）



屋上階平面圖

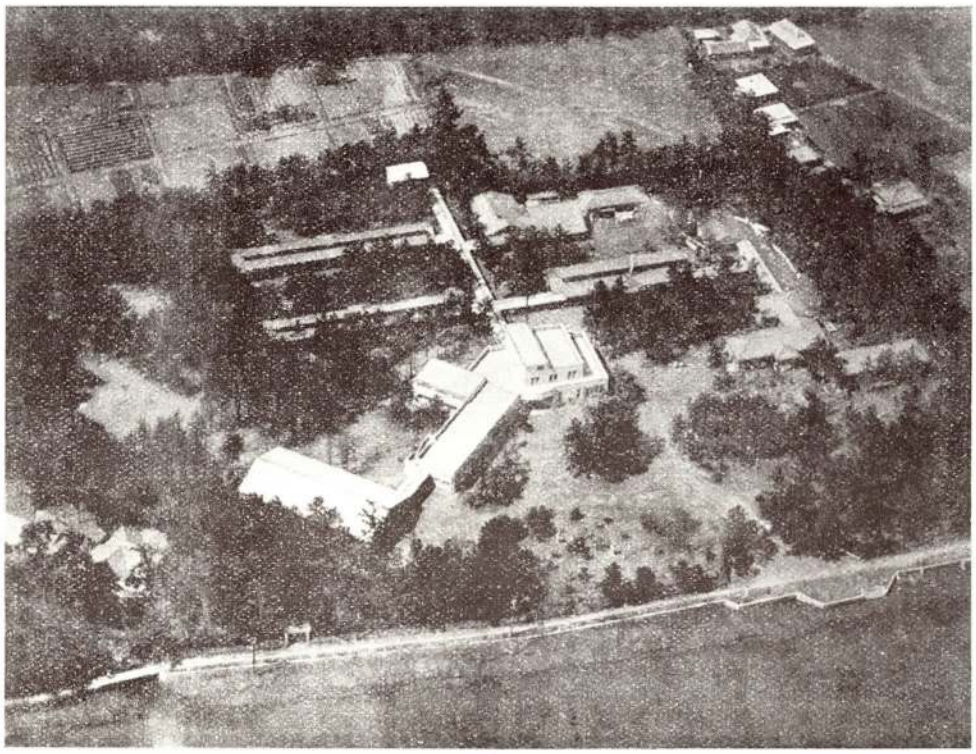


地下階平面圖



配置圖

鳥瞰圖

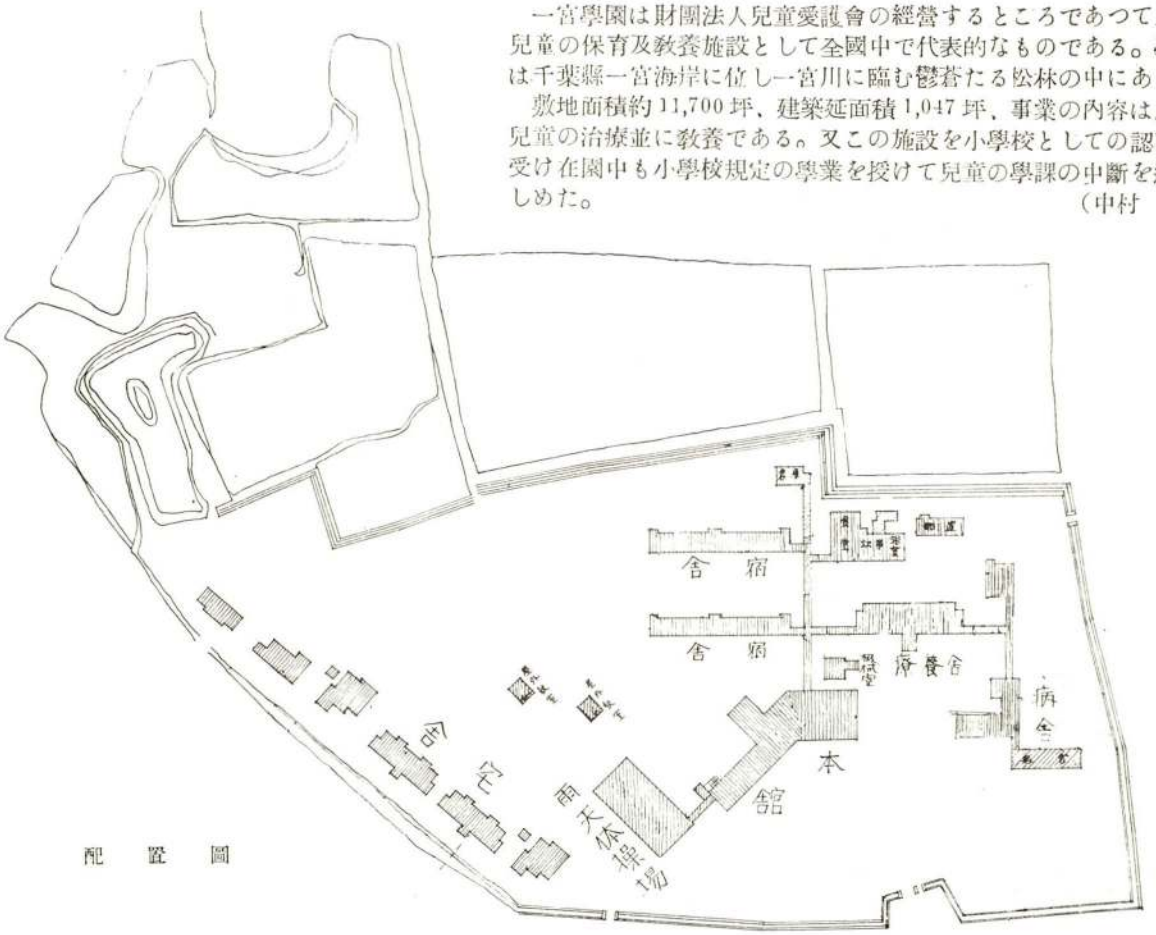


一宮學園

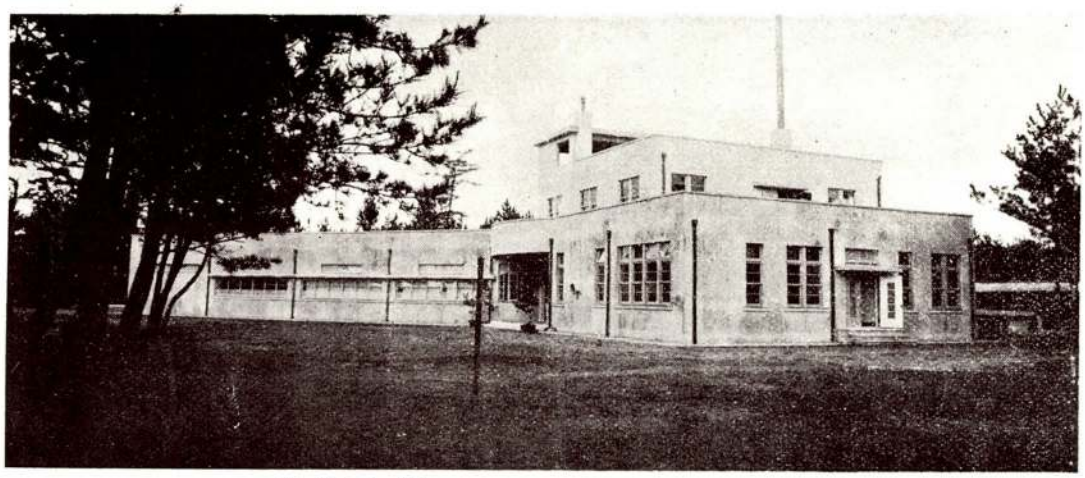
一宮學園は財團法人兒童愛護會の經營するところであつて虛弱兒童の保育及教養施設として全國中で代表的なものである。學園は千葉縣一宮海岸に位し一宮川に臨む鬱蒼たる松林の中にある。

敷地面積約11,700坪、建築延面積1,047坪、事業の內容は虛弱兒童の治療並に教養である。又この施設を小學校としての認可を受け在園中も小學校規定の學業を授けて兒童の學課の中斷を避けしめた。

（中村　寬）



配置圖



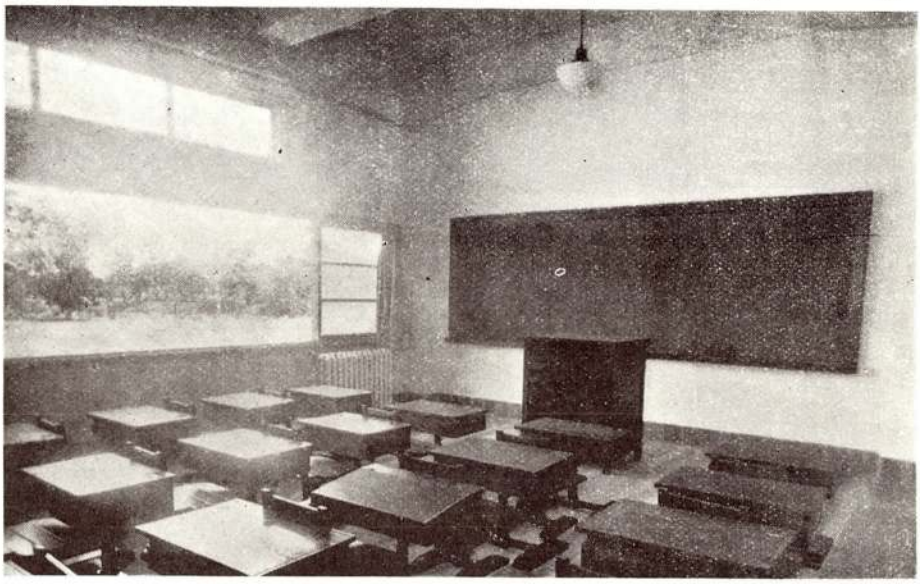
本館外觀

本　館

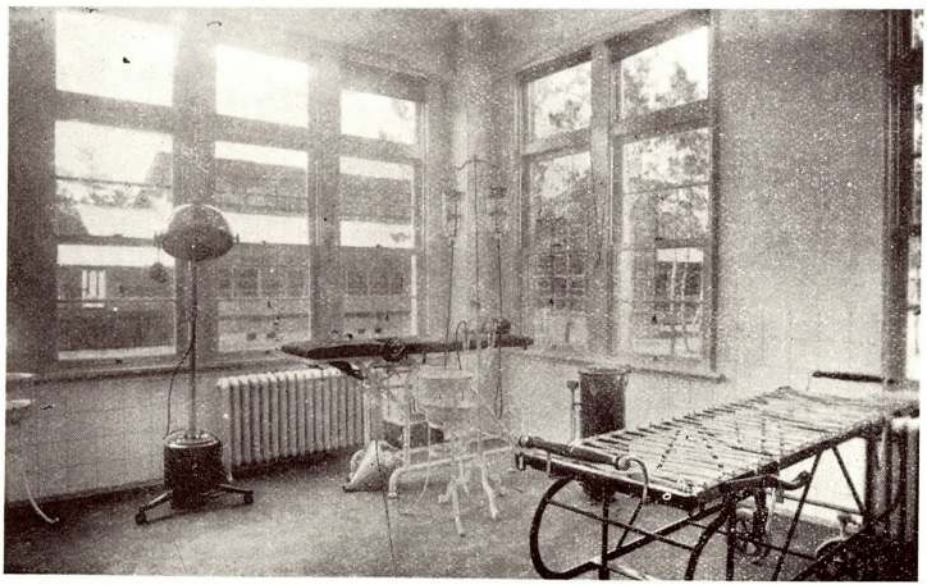
本館は鐵筋コンクリート造2階建，延坪數207坪にして事務，醫療，教育の3部門に分たる。虚弱兒童の教室は多人數單位の教室は不可にして最大限25人以下を標準としてゐる，此教室には兒童の身長脚長に應じ調節し得る岩谷商店製作に係る標準机を使用してある。

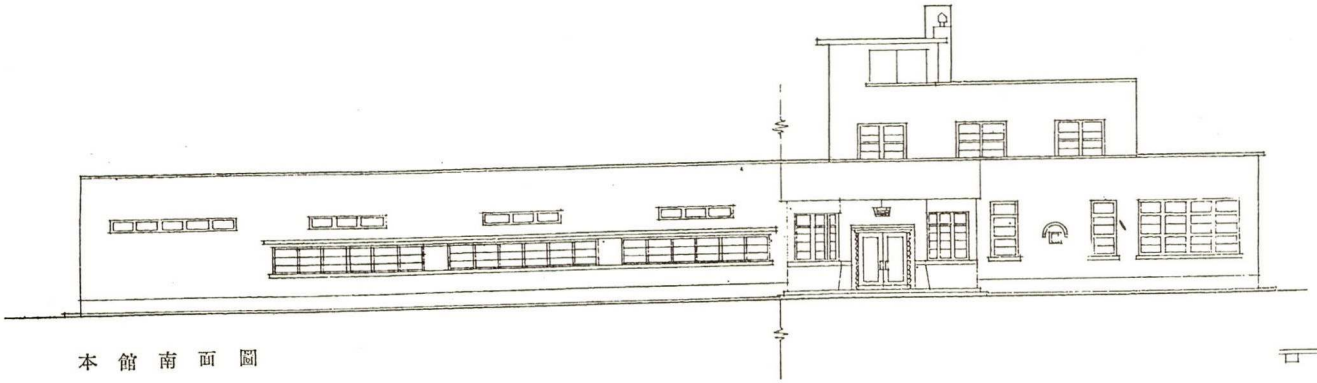
治療室には太陽燈其他物理的治療に必要なる施設完備し，別にX光線室を附屬せしめ診察並治療に當らしてゐる。煖房は中央スチーム煖房，療養舍及病舍はセクショナル・ヒーティング，給水は鑿井本館屋上に水槽を置き屋上にポンプ揚水各所に配給す。（村中　寬）

教　室

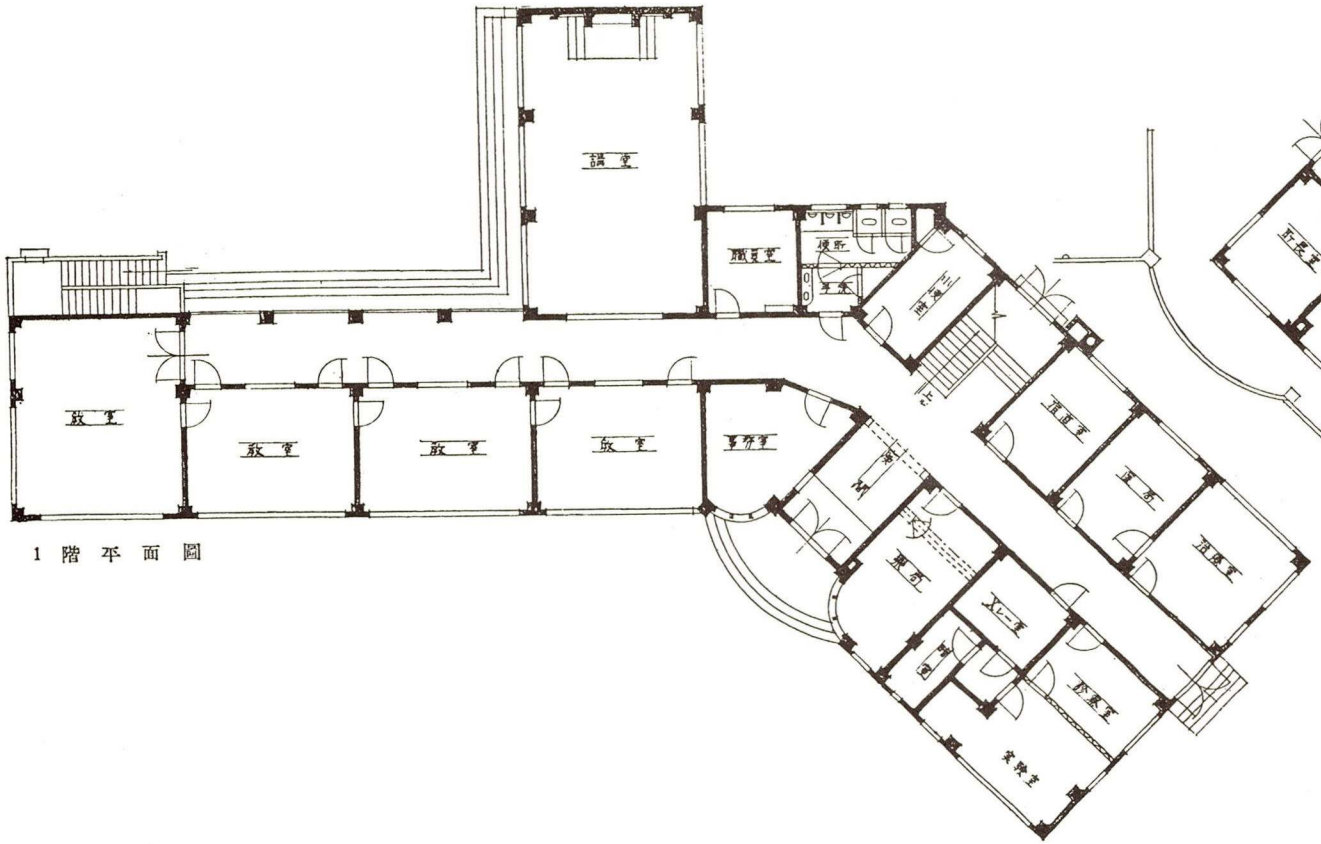


治　療　室

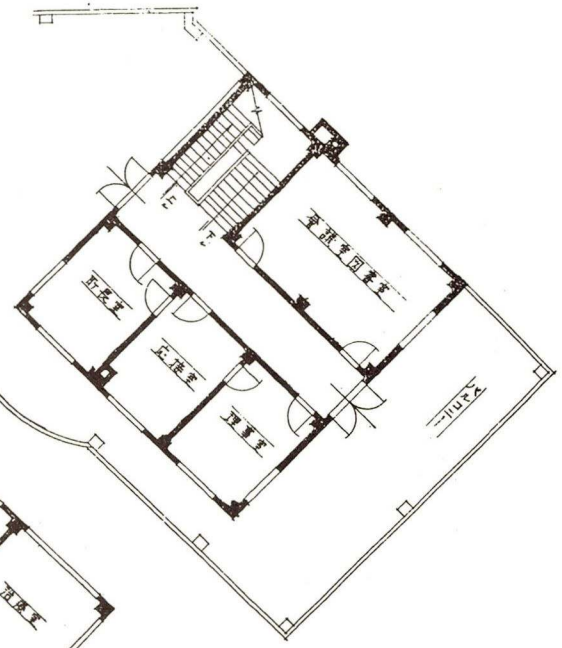




本館南面圖



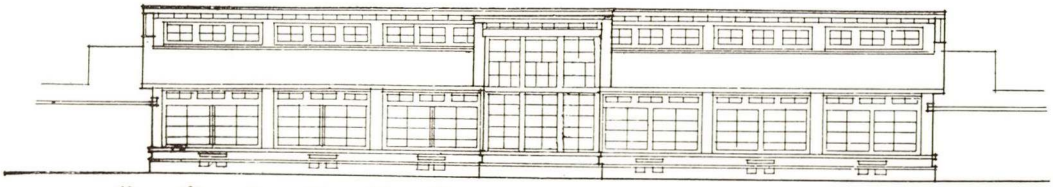
1階平面圖



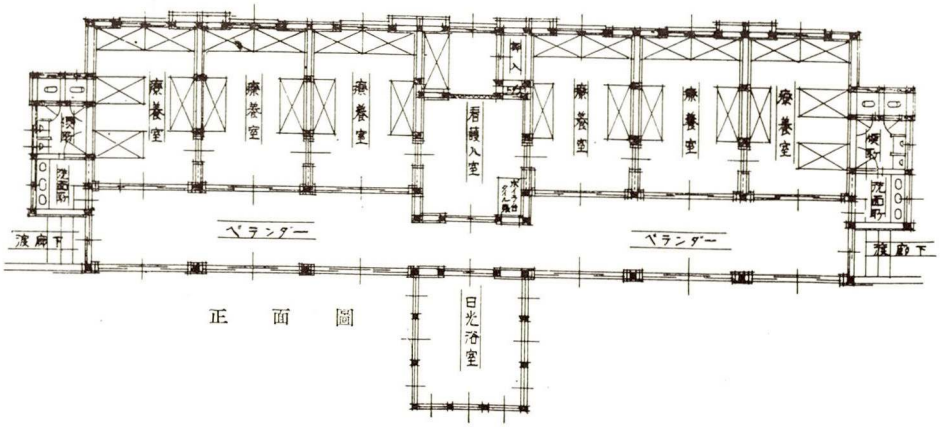
2階平面圖



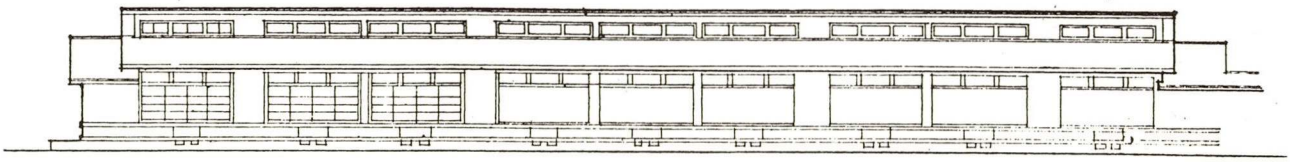
療養舍外觀



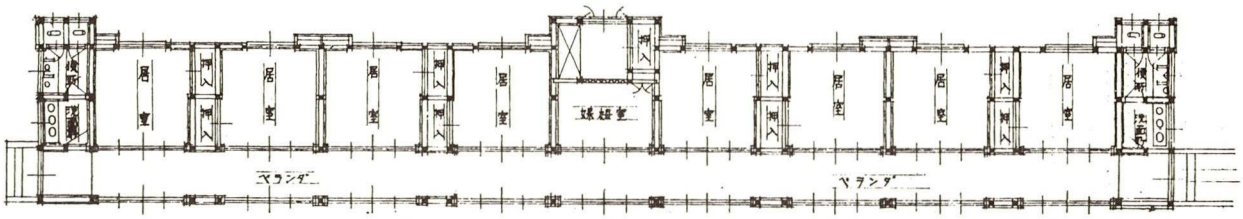
養療舍正面圖



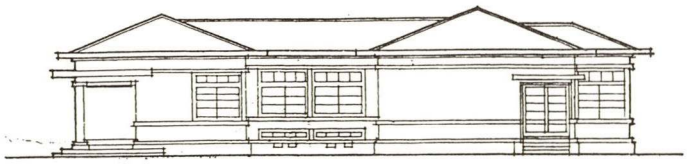
正面圖



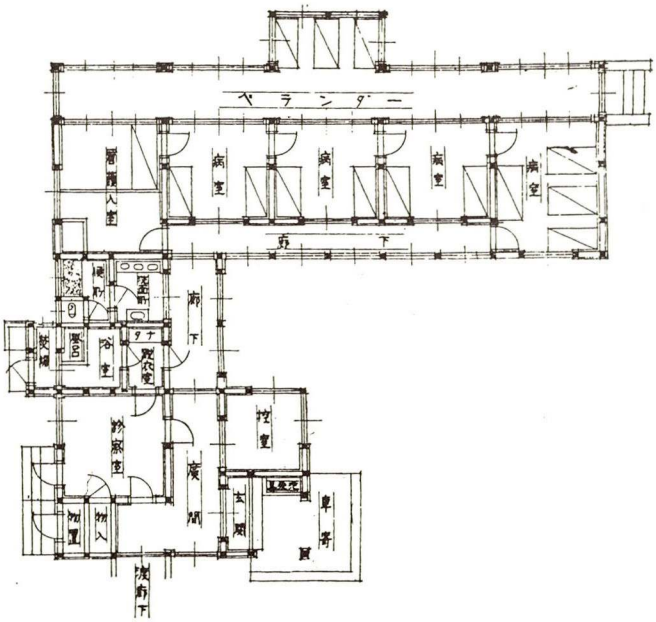
宿舍正面圖



平面圖



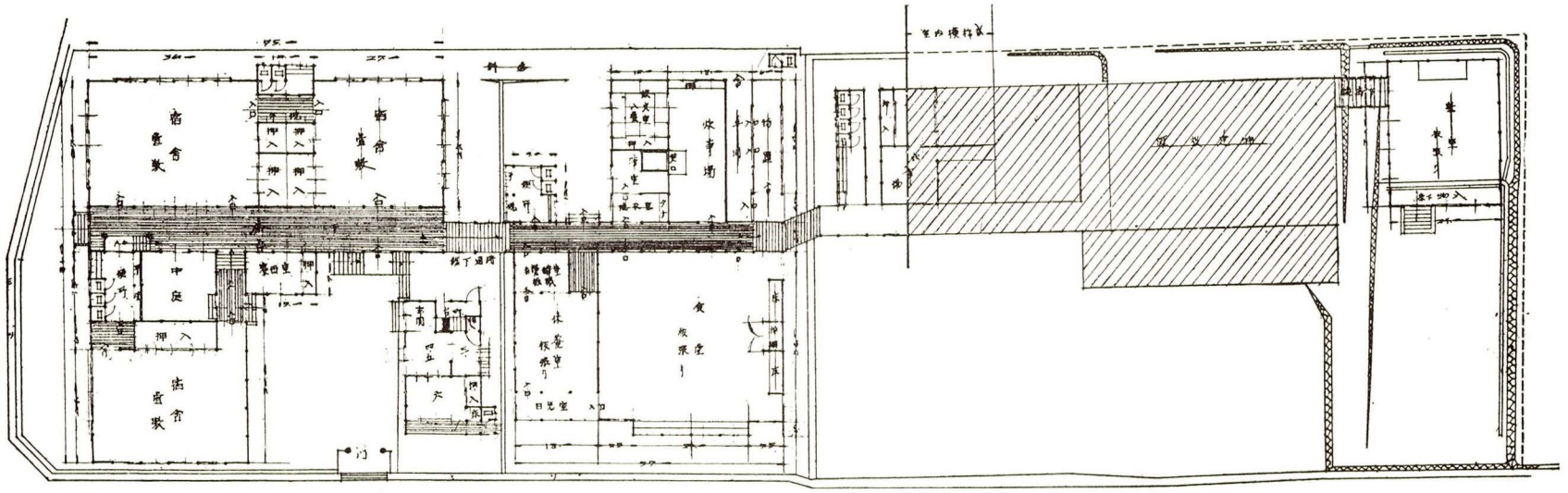
病舍正面圖



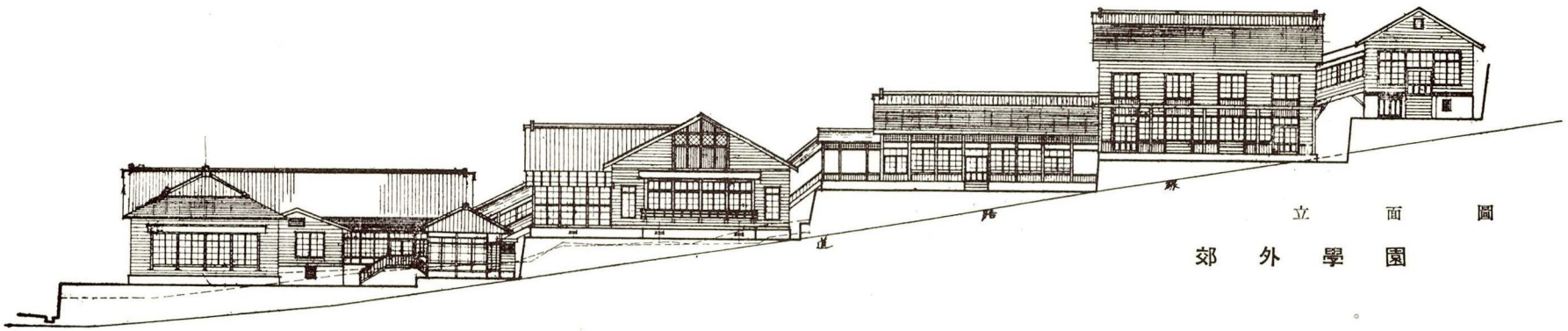
平面圖

療養舍

本園設計當初に於ては兒童の病弱の程度に應じ、これを三つに分ち、病舍、療養舍、宿舍に各々收容する計畫であつた。療養舍はその設計方針は全然サナトリウム病棟の型式に倣ひ、日光浴室、空氣浴等を行ひ得る適當なる設備となつてゐる　煖房は本館病室、療養舍のみに設けて恢復期の兒童を收容する宿舍には煖房を設けてなかつたが、最近に到り定員數增加に伴ひ宿舍も療養舍と同樣に取扱れこゝにも煖房を設けるに到つた。　（中村　寬）



平　面　圖

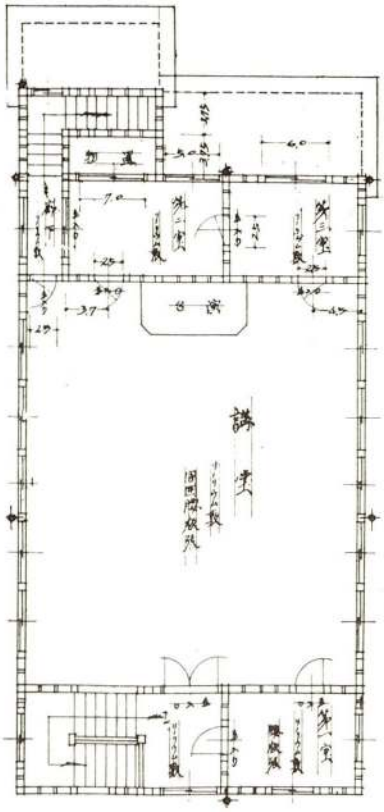


立　面　圖

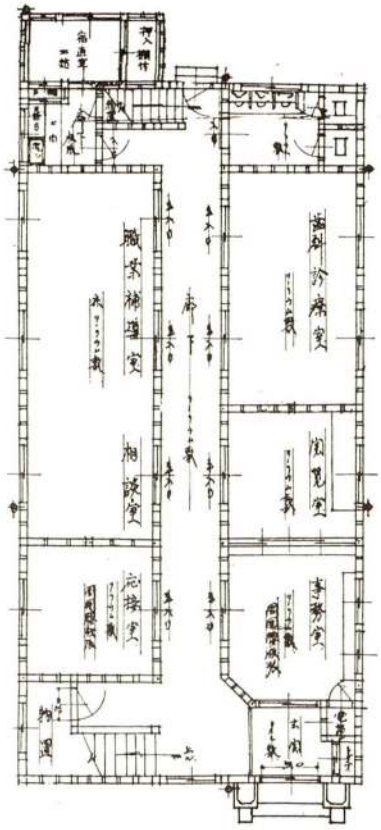
郊　外　學　園

大阪市教育部所管の兒童保護施設に六甲郊外學園がある。阪神沿線六甲のスロープを利用して建てられた虚弱兒童の保護施設である。この利用は夏期を主とし、一定期間虚弱兒童を收容して、肉體竝に精神の健全を期するのが目的である。毎日の課程は殆んど野外林間等が利用されるから、教室は僅かに２つしか設けてなく、疊敷の宿舍が建物の主要部分を占めて居る。それに附屬して板敷の休養室、食堂、料理場、浴室等があり、別棟に保育者の住宅が取られてある。各宿舍に夫々便所を設けたのは兒童にあり勝な便所の粗相を防ぐ爲である。これと似たもので保育よりも保養を主としたものに、保健部主管の淡路臨海保養所がある。やはり夏期にのみ開かれるものである。

（新名種夫）



2 階 平 面 圖



1 階 平 面 圖

市　民　館

中産階級以下の人達の伴侶となり、生活の全般に渉つて教示と指導とを與へ、以て彼等を善導薫化するを目的とする、所謂隣保事業の機關である。

從つて市民館は、社會事業のあらゆる部門の施設が施されて、初めてその完全な機能を發揮することが出來るわけで、現在出來て居る東京市の大塚市民館、同潤會の猿江隣保館などは、社交室、大集會室、教室、相談所、公衆食堂(大塚)、屋内運動場(大塚)、授産場(猿江)、託兒所(猿江)等まで備はつて居る。

例に擧げた榮町市民館は此意味から非常に貧弱なもので、1 階に事務室、應接室、職業補導室、圖書室、齒科診療室と宿直室及炊事場があり、2 階に講堂及豫備室 3 つがあるに過ぎないが、それでも職業補導、各種相談齒科診療、諸種の集會等に相當の成績を擧げて居ると言ふ。　　(新名種夫)



立　面　圖

談話室

津田鑿

鐵篇

最近の朝日新聞、鐵篇欄に山田醇氏の苦言列車の「ヒータ」の事が書いてあつた。お說尤も千萬、濕氣なしに無暗にあたためられては苦しくてたまつたものではない。丁度歐洲を多歩いた經驗では、温度調節が旅客自身で出來るような羽目に裝置がしてあるのは便利で斯くあるべき事である。各自が希望する溫度に出來る事は必要の事で、無暗に無駄な燃料を費して、暑くておまけに喉を痛めて高い汽車賃を拂つては實際やりきれない。序に寢臺を造る際と、又片附ける時の塵芥は衞生的でない。之れも改善したいものである。

ビクトリヤ停車場は便利になつて居る。普通の出入口とは別に列車の横付けにタクシーが來るのは甚だ都合がよい。大きな停車場では之のタクシーの始末と、其の機能發揮とを充分考慮に入れる必要がある。「列車より直接街道」にと斯くなれば徒歩者も大に混雜が助かる譯である。

公園のベンチが狹い歩道に据えられてあるのは邪魔になるものである。之れは始めから道より引込まして置くと歩行者に都合よく、「カイロ或はルザンヌ」の公園で之れを見かけた。又寄り掛りを中央から前後に動くようになつて居るものは日光浴をする時に都合がよい。之れは「ニース」「カンノ」海岸散歩通りにある。即ち太陽に向ふ時と反對に、日光を背に受ける場合に位置を變へるに甚だ具合がよい。

建築場で諸材料の整頓した處は奥床しい氣持のするもの、反對に亂雜で木片は散りぢりばらばら、釘のだらしなく落ちて居るのは非常に見苦しい。砂や割栗の殘つたものを投げやり、セメントの樽や袋の儘に、かたまつて放り出してあるのは一層其の不始末に驚く。先づ現場は整頓第一である。

工事中、建物根切の爲め道路を陷落させながら、其の工事の落成迄打捨てて置かるるのは、甚だ通行者に迷惑千萬である。工期中數回に適當の復舊作業をなすより各個に注意を希望してやまない。

はがき

「ロンドン」で官製はがきを出すと1錢2厘5毛取られる、私製はがきには1錢切手を貼れば通用する、此の2厘5毛の差は蓋し紙代？

慾張

60仙で何品でも勝手に召上り次第と云ふ飮食店が「ニューヨーク」目抜きの場所にある、これで商賣になつて行く處を見ると人間の胃の腑も大抵知れたもの、平均して 60 仙は詰め込まれぬものと見ゆる。

ピヤノピヤノ（靜かに）

「ローマ」の停車場で案內者から口傳された伊太利語の靜かに願ひますと云ふ言葉を應用すべく、赤帽に荷物を積込む時如何にも流暢らしく、ピヤノ、ピヤノ、とやつた處甘く先方に通じたのは非常に愉快であつた。

モザイク

ローマ帝國昔の文華を誇りし名殘りのカラ、カラ浴場の床一面にモザイク意匠の立派なものが今尙大切に保存されて、ある場所は砂を振りかけ隱し、あるものは既に其の一角から旅行者にこつそり堀り取られつゝある、之の精巧なるモザイクも始めは極めて手輕のもので只色の異なる大理石の小片を出鱈目に敷きならべたものに過ぎないらしい、單純より複雜に進むことは當然のことであるが之の單純のもの到る處で見ることが出來、却つて中々趣きがあるような氣がする。

コロンボの佛寺

無暗に彫刻で埋め切つた俗惡な手法の亂用は賑かよりうるさ過ぎる、壁といわず屋根、どこもかしこも空所がない、只もう雜然と劣等な藝術の表現？と聊か哀しく感じた、軒上にいきた猫が氣持よく眠つて居つたには附近の彫刻と間違える程よく調和して實物のように見えた位、他は推して知

るべしである。

掲　　示

日本流の漢字の掲示を支那人が見て驚くそうで「御婦人室」之れは婦人を○○する意味であるそうな、定めて笑つて居ることであろう。支那の町を歩るいて商店の廣告、屋號、掲示等何れも形容詞澤山、所謂白髪三千丈の國とうなづかされる。南京鐵道の列車中の掲示中に曰く『請勿隨地吐痰』又踏み切に御用慎の『小心火車』もよくある。

兎の彫刻

「ロンドン」の植木屋によく石造實物大の兎を陳列して賣つて居る中腰で前足を上げて人を招くような格好が如何にも可憐である、郊外に出ると小山のほとり之の野育の兎が飛び歩るいて、人も電車の近寄るのも恐れずちよこんと細い眼で瞰んで居るのを見掛ける、其姿が石の彫刻となつてそこ此處の庭園を飾つて居るのである。

カ　バ　ー

ポツダム離宮の見學に赴く型の如く入場料を拂ひ1組となる迄待合せる隅に陶製煖房「オーフエン」がある、氣持よく且つ頗る暖かい印刷物や繪はがきの賣店の繁昌よろしく其の内豫定の人數が揃ふと案内人立あがり、諸君其處のカバーを靴におかけ願ひたいと言ひ渡す處が之のカバー恐らく18文こうだかであろう、一同くすくす如何に大は小をかねるとは云ゑ餘りに大き過ぎる、なるべく小形のものをと撰んでも、だぶだぶ二三間歩るく内に大抵抜け出して仕舞ふ、甲も乙も片足宛引摺り其の内には手に持つて、くすくす笑ふて居る連中がある、お登さんの胸中定めし獨逸人の足は馬鹿に大きなものと言ひ合せたようである。

寢　臺　車

ニューヨークからワシントン行き夜行寢臺車の注文をする切符賣場で少々窮屈なれども時間が僅かであるから兩人別々でなくとも1人分で2人使用するのが得策とのこと一寸妙に感じたが、もぐり込んで見ると立派に役立つ一人前の寢臺を2人で使用差支なしとは流石大陸式、最も他の國では餘り見受けぬことで或る國では到底そんなことは許さんであろう、處變れば品かわるである。尙早朝到着する爲め1時間位は車中に居つてもおかまひなしとは益々以て便利なことである。

無氣味な寶物

ロサンゼルスに數百疋の鰐を飼つて居る古參株の或るものは人を乘せて歩るく程訓れ、又あるものは生來の猛惡性を其儘現はし仲間と爭ふて首を噛まれ入院中の掲示がある、卵から成長する迄別室に模型が陳列して整頓したものである、生れてから僅かに5日目と云ふもの既に長さ約8寸、番人は雜作もなく胴中を摑み上げ1弗で差上げますから土産に持つて歸らんかに驚いた、尤も賣手はまるで伊勢海老位に考えて取扱かつて居るであろう。

最善の努力

ある歳K丸が 11 月桑港を出帆したロサンゼルスから積込まれた駝鳥のひと番窮屈な檻の内に突立つた儘身動もならず船尾の甲板に積込まれた運動する餘地もなく時々形式に水と何か食物が與えられて居るが、首を下に向けることも出來ぬ無理な廣さおまけに三方より風雨は勝手に吹き通す、最早歳の暮近く朝夕は相當寒い暖國に育つた鳥定めて苦痛を感じて居ることであろう。

「ホノルル」に到着した、少し運動でもさせるかと見て居ると其儘おまけに今度は上屋根も造つてやらず百度に近い炎天に晒し、直接日射を受けて居るには同情した。

こんな待遇で横濱着の2日前遂にあの世におさらばした船員が驚いて2等食堂に集まり跡仕末の會議を開き滿場異議なく受取主に送る無電の案文を隅の方で聞いて吹き出したのは自分一人である電報に曰く

最善の努力を盡したるも功なく駝鳥今朝遂に死す哀悼の至り。

改正されたる工事請負規程

工事請負規程

建築學會　日本建築士會
日本建築協會　建築業協會　四會聯合協定　(大正十二年八月決定 昭和八年月四改正)

(* ハ缺字挿入ノ符號トス)

内譯明細書 *

第一條　請負人ハ圖面、仕樣書其他ノ書類ニ依リ工事ニ要スル一切ノ費用ヲ詳記シタル内譯明細書ヲ契約締結後　日以内ニ注文者ニ提出スヘシ但内譯明細書中ニ誤記、遺算又ハ遺漏等アルモ之カ爲ニ請負代金ノ總額ヲ變更セサルモノトス

保證人

第二條　保證人ハ相手方ノ承認セル者タルヘシ若シ其保證人カ保證債務ノ履行不可能ナルコト明ナルニ至リタルトキハ更ニ相手方ノ承認セル者ヲ以テ之ニ代フルコトヲ要ス

下請負

第三條　請負人ハ工事ノ全部又ハ大部分ヲ一括シテ更ニ之ヲ第三者ニ請負ハシムルコトヲ得ス

施工

第四條　請負人ハ契約書ニ添附シタル圖面、仕樣書其他ノ書類並ニ將來示スヘキ之等ノ圖書ニ準據スル圖書並ニ指圖ニ遵ヒ施行スヘシ

圖面及ヒ仕樣書中不明ナル部分アルトキ又ハ遺漏アリト認メタルタルトキハ請負人ハ其工事ニ着手スル前監督技師ノ指圖ヲ受クヘシ

工程表

第五條　請負人ハ工事着手前工程表ヲ作成シ監督技師ノ承認ヲ得之ニ準據シテ施工スヘシ

現寸圖、工作圖、模型及ヒ見本

第六條　現寸圖ハ監督技師契約書ニ添附シタル圖面、仕樣書其他ノ圖書ニ依リ之ヲ作成シ工程表ニ鑑ミ適當ノ時期ニ於テ請負人ニ交付ス但請負人之ヲ作成シタルトキハ監督技師ノ承認ヲ得ヘシ

工作圖ハ所要ノ時期ニ於テ現寸圖ニ基キ請負人之ヲ作成シ遲滯ナク監督技師ノ承認ヲ得ヘシ

模型及ヒ見本ニ付テハ前二項ニ準ス

監督技師

第七條　監督技師ハ圖面、仕樣書其他ノ書類ニ基キ工事ノ監督ヲ爲スモノトス

監督技師ハ隨時現場ニ臨ミ施工上ノ指圖ヲ與ヘ又ハ材料及ヒ施工ノ檢査竝ニ試驗ヲ行フコトアルモノトス

監督技師ハ工事監督上現場係員ヲ置クモノトス但工事ノ程度ニ依リ之ヲ置カサルコトアルヘシ

當事者雙方ヨリノ申出ハ監督技師ヲ經テ之ヲ爲スモノトス

現場係員

第八條　現場係員ハ監督技師ノ指圖ヲ受ケ專ラ施工上ノ督役ニ從事スルモノトス

現場係員ハ監督技師カ現場ニ在ラサルトキ之ヲ代理ス但請負人ヲシテ工事ノ變更ヲ爲サシムルコトヲ得ス

檢査及ヒ試驗

第九條　工事用材料ハ圖面、仕樣書其他ノ書類ニ依リ豫メ監督技師ノ檢査ヲ受クヘシ

仕樣書ニ基ク材料ノ試驗ハ監督技師ノ指示ニ從ヒ遲滯ナク之ヲ行フヘシ

檢査及ヒ試驗ノ結果合格セサル材料ハ之ヲ使用スヘカラス

施工後仕樣書ニ基キタル試驗ノ結果合格セサル箇所ハ監督技師ノ指示ニ從ヒ遲滯ナク之ヲ修理又ハ改築スヘシ

仕樣書明示以外ニシテ材料及ヒ施工ノ檢査並ニ試驗ノ爲特ニ費用ヲ要スル場合ハ注文者ノ負擔トス

工事ノ變更及ヒ追加

第十條　注文者カ工事ノ變更又ハ追加ヲ爲サントスルトキハ當事者及ヒ監督技師協議ノ上之ヲ爲スモノトス

前項ノ場合ニ於テ請負人ハ工費增減明細書及ヒ完成期限等ヲ明記セル書類ヲ監督技師ノ指定シタル期間內ニ提出スヘシ注文者之ニ對シ同意シタルトキハ注文書ヲ發シ請負人ハ直ニ承諾書ヲ提出シ遲滯ナク工事ニ着手スヘシ但請負人カ前記期間內ニ書類ノ提出ヲ怠リタル場合ニハ工費增減其他ノ事項ニ付テハ監督技師ノ判定ニ任スヘシ

改工

第十一條　請負人カ契約ノ本旨及ヒ第九條ノ規定ニ違背シテ施工シタリト認メタルトキハ監督技師ハ其旨ヲ明示シ工事ノ一部ヲ解發檢査シ之ヲ改工セシムルコトヲ得請負人ハ之カ爲ニ完成期間ノ延長ヲ求メ又ハ工費ノ增額若クハ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス但請負人ノ責ニ歸スヘキ事由ニ基カサルコト判明シタルトキハ此限ニ在ラス

勞務取締

第十二條　工事場構內ニ於ケル勞務取締、從業者災害防止設備及ヒ就業時間ハ請負人監督技師ト協議シテ之ヲ定ムヘシ

請負人ノ出場

第十三條　請負人ハ日々現場ニ臨ミ諸般ノ事項ヲ處理スヘシ但自ラ出場シ得サルトキハ監督技師ノ承認ヲ得タル代理人ヲ置クモノトス

不適當ナル從業者

第十四條　監督技師ハ請負人ニ屬スル一切ノ從業者ノ施工動作不適當ナリト認メタルトキハ請負人ニ之カ更迭ヲ要求スルコトヲ得

請負人ハ現場係員ノ指圖カ不穩當ナリト認メタルトキハ監督技師ニ對シ其理由ヲ陳述シ其判定ヲ要求スルコトヲ得

第三者ニ對スル損害

第十五條　契約ノ目的物ニ隣接セル營造物ノ保護及ヒ之ニ關聯スル工事ニシテ施設ノ變更又ハ追加ノ必要ヲ生シタルトキハ契約ノ範圍外トシ當事者及ヒ監督技師協議ノ上別ニ之ヲ施工スルモノトス

工事施行中第三者ノ生命、身體、財產等ニ對シ又ハ第四條及ヒ前項ニ準據シ施行シタル工事ノ爲隣接營造物ニ對シ損害ヲ加ヘ又ハ近接居住者トノ間ニ損害ニ關スル紛議ヲ生シタルトキハ請負人其一切ノ處理解決ニ當リ之ニ要スル費用ハ當事者及ヒ監督技師其原因ヲ究メ協議ノ上各負擔額ヲ定ムルモノトス但其原因カ請負人ノ不注意又ハ施工上ノ瑕疵ニアルコト明ナルトキハ請負人其責ニ任ス

延期

第十六條　天災、地變、戰亂、暴動、勞働爭議等ニシテ不可抗力ト認ムヘキ事實發生シタルトキ及ヒ注文者又ハ現場ノ都合ニ依リ契約書第二條ノ工事着手期日迄ニ着手スルコト能ハサルトキ或ハ工事ノ進捗ニ支障ヲ生シタルトキハ完成期間ヲ延長スルコトヲ得但延期ノ日數ハ當事者及ヒ監督技師協設ノ上之ヲ定ム

第二十九條及ヒ第三十條ノ場合ニ於ケル中止日數ハ完成期間ニ算入セス

支拂

第十七條　請負人ハ契約書第一條ニ記載シタル時期ニ工事ノ一部竣成ニ對シ及ヒ工事場ヘ搬入シタル材料ノ檢查濟ノ部分ニ對シ監督技師ノ承認ヲ得テ其價格ノ十分ノ九ニ相當スル金額ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

＊　前項ノ支拂請求ヲ受ケタル時ハ注文者ハ　　日以內ニ通貨ヲ以テ其支拂ヲ爲スヘシ

引渡

第十八條　工事完成シタルトキハ請負人ハ直ニ監督技師ノ檢查ヲ受ケ注文者ニ引渡ノ手續ヲ爲シ注文者ハ遲滯ナク引渡ヲ受クヘシ

注文者ニ於テ前條ニ依ル請負代金ノ支拂ヲ爲ササルトキ又ハ支拂停止ノ狀態ニアルトキハ請負人ハ契約ノ目的物ノ引渡ヲ拒ムコトヲ得之カ爲ニ生スル損害ハ注文者ノ負擔トス

所有權ノ移轉

第十九條　工事完成前ト雖注文者ニ於テ竣成部分若ハ材料ニ對シ支拂ヲ爲シタルトキハ其金額ニ相當スル物ノ所有權ハ注文者ニ移轉スルモノトス

請負人ハ契約ノ目的物ハ工事場ニ搬入シタル材料ヲ抵當權其他ノ擔保ノ目的ニ供スル

コトヲ得ス

遅延利息 第二十條 注文者カ請負代金ヲ支拂期日ニ支拂ハサル場合ニハ其翌日ヨリ支拂金額ニ對シ日歩 ノ割合ニ據ル遅延利息ヲ支拂フヘシ

契約ノ讓渡 第二十一條 當事者ハ相手方ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ第三者ヲシテ當事者タル地位ヲ承繼セシムルコトヲ得ス

危險負擔 第二十二條 工事中及ヒ工事完成後ト雖引渡終了前ニ契約ノ目的物ニ付テ生シタル損害ハ請負人ノ負擔トス但不可抗力ニ基因スルモノニシテ請負人カ相當ナル注意ヲ用ヒタル場合及ヒ第十八條第二項ノ場合ニ對シテハ此限ニ在ラス

勞働者災害扶助 第二十三條 請負人ハ勞働者災害扶助法令及ヒ勞働者災害扶助責任保險法令ノ定ムル所ニ從ヒ事業主トシテノ責ニ任スヘシ

火災保險 第二十四條 請負人ハ自己ノ費用ヲ以テ工事中契約ノ目的物及ヒ工事用材料ヲ豫メ火災保險ニ付シ保險證券ヲ監督技師ニ提示スヘシ但其時期、期間、金額及ヒ保險會社等ハ當事者及ヒ監督技師協議ノ上之ヲ定ム

增築又ハ修繕工事ノ場合契約ノ目的物ニ關聯スル營造物其他ヲ火災保險ニ付スル必要アルトキハ其保險料金ハ注文者ノ負擔トス

火災保險金ハ請負人之ヲ取得ス但注文者ハ既ニ請負人ニ支拂ヒタル金額アルトキハ之ニ相當スル保險金ヲ取得シ工事復舊ニ從ヒ第十七條ニ準シ請負人ニ支拂フモノトス

前項ノ場合ニ於テ請負人ハ直ニ復舊工事ヲ施工スルコトヲ要ス此場合ニ於ケル完成期間ニ付テハ第十六條第一項但書ニ從フ

瑕疵擔保 第二十五條 工事各部ノ瑕疵ニ對シテ請負人ハ引渡ノ時ヨリ一箇年間擔保ノ責ニ任ス但請負人ノ重大ナル過失ニ基因セルモノニ對シテハ民法ノ規定ニ從フ

契約ノ目的物ノ瑕疵カ注文者ノ責ニ歸スヘキ事由又ハ監督技師ノ與ヘタル指圖ニ因リテ生シタルコト明ナルトキハ請負人ハ其責ニ任セス

瑕疵修補 第二十六條 契約ノ目的物ニ瑕疵アルトキハ注文者ハ相當ノ期間ヲ定メテ請負人ニ之カ修補ヲ請求スルコトヲ得但請負人ハ注文者ノ同意ヲ得テ賠償ヲ以テ修補ニ代フルコトヲ得

契約ノ變更及ヒ解除 第二十七條 當事者ハ天災、地變、戰亂其他常時ヲ除クノ外契約締結後物價及ヒ勞銀ノ變動等ヲ理由トシテ契約ノ變更又ハ解除ヲ爲スコトヲ得ス

工事中止及ヒ解約 第二十八條 請負人カ契約ヨリ生スル義務ニ違背シタルトキハ注文者ハ監督技師ノ意見ヲ徵シ工事ノ中止ヲ要求スルコトヲ得

若シ前項ノ違背ニ因リ契約ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ注文者ハ監督技師ノ意見ヲ徵シ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

監督技師カ工事ノ進行及ヒ工程表ニ鑑ミ正當ニ期間內ニ完成不可能ナリト認メタルトキ亦前項ノ規定ニ從フ

前二項ニ場合ニ於テ注文者ハ請負人ニ對シ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

同上 第二十九條 工事ノ完成以前ニ於テ注文者ハ自己ノ都合ニ依リ請負人ノ損害ヲ賠償シテ工事ヲ中止シ又ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但中止期間カ 日以內ノ場合ハ損害ノ賠償ヲ要セス

同上 第三十條 請負代金ノ分割支拂ノ期日經過後請負人カ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲スモ注文者ニ於テ支拂ヲ爲ササルトキハ請負人ハ其支拂アル迄工事ヲ中止スルコトヲ得

同上 第三十一條 前二條ニ依ル中止期間內ハ請負人ハ危險負擔ノ責ニ任セス

前二條ノ中止期間カ 日ニ及ヒタルトキ及ヒ注文者又ハ現場ノ都合ニ依リ工事ニ着手シ得サル期間 日ニ及ヒタルトキハ請負人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

	第三十條及ヒ前項ノ場合ニ於テ請負人ハ注文者ニ對シ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得
同　上	第三十二條　前四條ニ依リ契約ヲ解除シタルトキハ注文者ハ內譯明細書ニ記載シタル單價ニ基キ工費ヲ淸算シテ之ヲ支拂フヘシ但內譯明細書ニ據リ難キモノハ當事者及ヒ監督技師協議ノ上之ヲ定ム
	前項ノ場合ニ於テ請負人ハ現狀ノ儘契約ノ目的物ヲ注文者ニ引渡スコトヲ要ス
違約金	第三十三條　第二十九條及ヒ第三十條ニ依リ延期又ハ中止ノ事由カ發生シタル場合ニ於テハ契約書第二條ノ違約金ハ變更セラレタル完成期日ノ翌日ヨリ之ヲ計算ス
請負人ノ注意	第三十四條　請負人ハ本規程ニ定メタルモノヽ外契約ノ義務ヲ履行スルニ付善良ナル管理者ノ注意ヲ用フルコトヲ要ス
仲裁人	第三十五條　本規程ニ關シ當事者及ヒ監督技師カ協議ノ結果協定ヲ得サル事項ニ付テハ仲裁人ノ判斷ニ從フ
	前項ノ仲裁人ハ當事者各一人ヲ選ミ此二人ノ仲裁人更ニ一人ノ仲裁人ヲ選ム仲裁人ノ中一人ハ建築技術者タルコトヲ要ス
	仲裁人ノ判斷ハ多數決ニ依ル其判斷ハ之ヲ最終ノモノトス
	仲裁人ニ對スル報酬其他仲裁ニ關スル一切ノ費用ハ當事者雙方平等ニ之ヲ負擔ス

印紙

五十円以下ノモノ二錢
百　円同　三　錢
五百円同　十　錢
千　円同　二十錢
一萬円同　五十錢
一萬円ヲ超ユルモノ一円

契　約　書

（＊ ハ缺字挿入ノ符號トス）

＊ 今般　（以下請負人ト稱ス）ハ　（以下注文者ト
＊ 稱ス）ヨリ別紙圖面　葉及ヒ仕樣書　冊ニ記載スル
＊ 工事ヲ請負ヒタルニ依リ當事者ハ左記條項ニ同意ス

＊ 第一條　工事請負代金ハ　タル事
注文者ハ前項ノ請負代金ヲ左記ノ時期ニ分割シテ請負人ニ支拂フヘキ事

＊ 第二條　請負人ハ昭和　年　月　日迄ニ工事ニ着手シ昭和　年　月　日迄ニ之ヲ完成スヘキ事

＊ 前項ノ規定ニ違反シタルトキハ請負人ハ遲延ノ期間內違約金トシテ一日ニ付
＊ ヲ注文者ニ支拂フヘキコト

第三條　當事者ハ本契約書ニ添附セル工事請負規程ニ遵フヘキ事
第四條　保證人ハ本契約ヨリ生スル一切ノ債務ニ付契約當事者ト連帶シテ其責ニ任スヘキ事

＊ 第五條　注文者ハ監督技師トシテ　ヲ委囑スル事

本契約締結ノ證トシテ本書貳通ヲ作製シ當事者保證人及ヒ監督技師各自署名捺印ノ上當事者各壹通ヲ保管ス

昭和　年　月　日

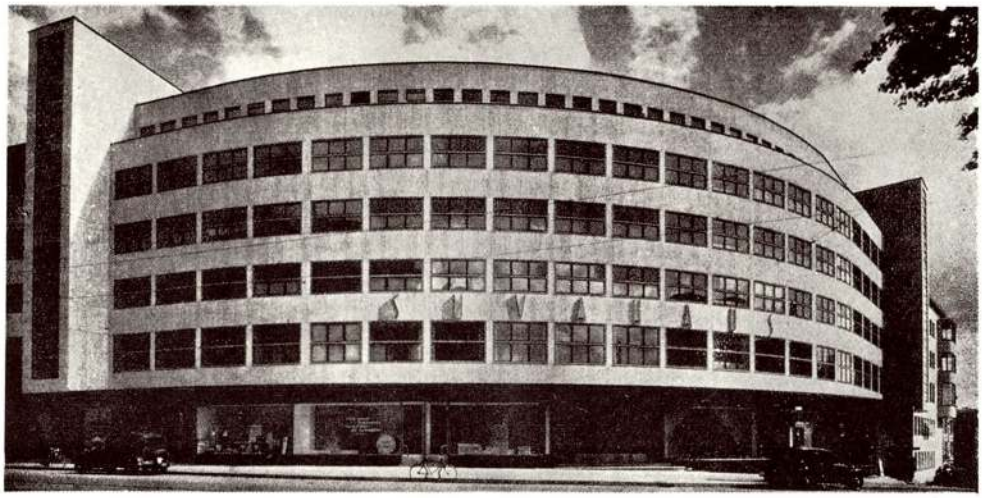
住　所
注　文　者
住　所
右保證人
住　所
請　負　人
住　所
右保證人
住　所
監督技師

社團法人 日本建築協會役員及委員

（昭和八年）

役員

會長　安藤造吾　光吉夫人　光吉夫人生夫郎助武信
副會長　光吉夫人　郎助武信　雄郎一治三澈郎一吾一郎
監事　光吉夫人　郎助武信　雄郎一治三澈郎一吾一郎　實郎郎治重郎作一武水一　郎良郎一吉郎勉三郎一郎
主事　光吉夫人　郎助武信　雄郎一治三澈郎一吾一郎　實郎郎治重郎作一武水一　郎良郎一吉郎勉三郎一郎　郎吉世茂三郎夫三喜史雄藏吾郎　銅則助



外　　觀

スウイス災禍保險ビル「S.U.V.A. ハウス」

スウイス聯邦の首都ベルンの著名な新建築は同國人ザルヒスベルヒ氏及びブレヒビユール氏に負ふ所が多いが此のズフアハウスも兩人の設計になるものである。

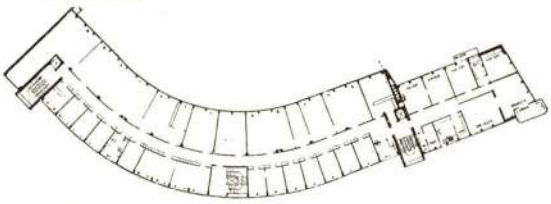
ズフアハウスは角地を巧に利用した扇形のプランで、2 階以上の事務室は中廊下の兩側に並んでゐるから、採光は各室平等である。內庭は庭園として役立つ外、商店、倉庫への貨物の運搬所となり、下は自動車庫に利用されて 50 臺の自動車を容れる事が出來る。

建物の兩側の階段室は遠くからも之を知る事が出來て、中央入口の混雜を緩和する事が出來る。右手の階段は同時に醫師の住宅に通じ、又階段に接する自動車の出入口は地盤の差に依て地下室の車庫と同一平面になつてゐる。1 階商店は約 1.5 米前面に出張つてゐてコンクリートの庇をもち、ショウウインドウの上からも光が入るから鏡を用ひる必要がない。2 階以上 6 階までの事務所は間仕切を隨意に變更する事が出來、2 階スウイス、災禍保險の事務所がある。

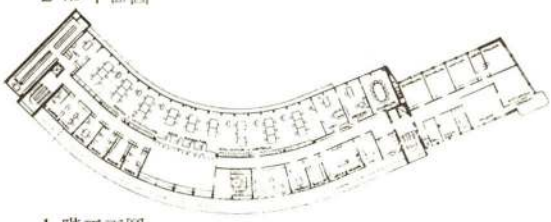
構造は純鐵筋コンクリート骨格で、道路面壁は保溫力の大きい輕石コンクリートに 3 糎厚のイタリー產トラバーチンを張つてある。住宅の側と內庭に面した壁面は打ち散しの上に黃白の鑛物性のペンキを塗つてあるから、假枠の跡がすけて見える。窓は木枠で平面、建物の丸味は只外部の壁仕上の時につけられ、且つ、窓の大き、柱の間隔等がすべて等しいから、丸い建物でも決して單價が高くなつてゐない。1 立方米の價約 64 フラン、建築期間 14 ケ月。

（Moderne Bauforman 誌より　本多正道）

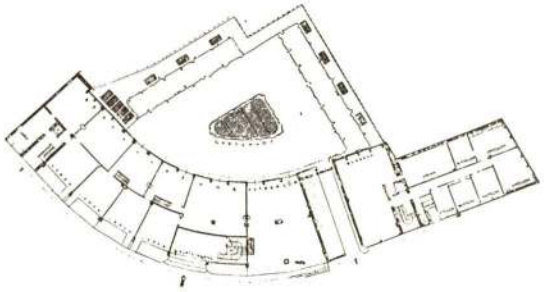
4 階平面圖



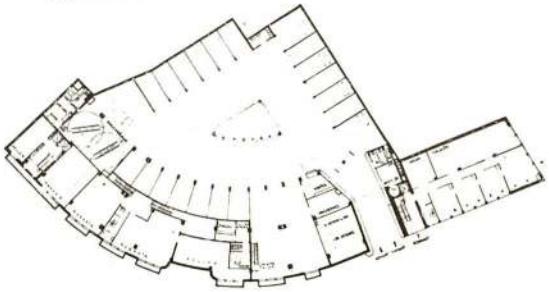
2 階平面圖

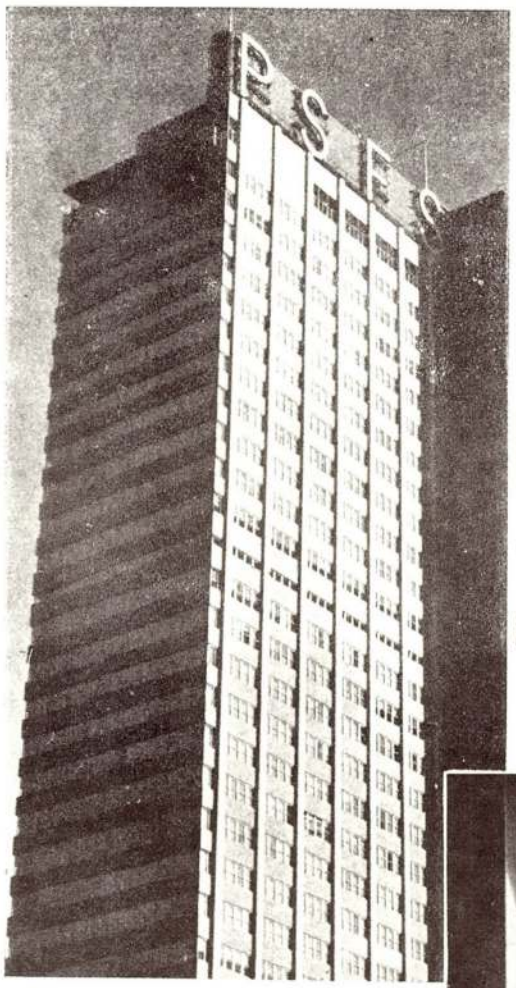


1 階平面圖

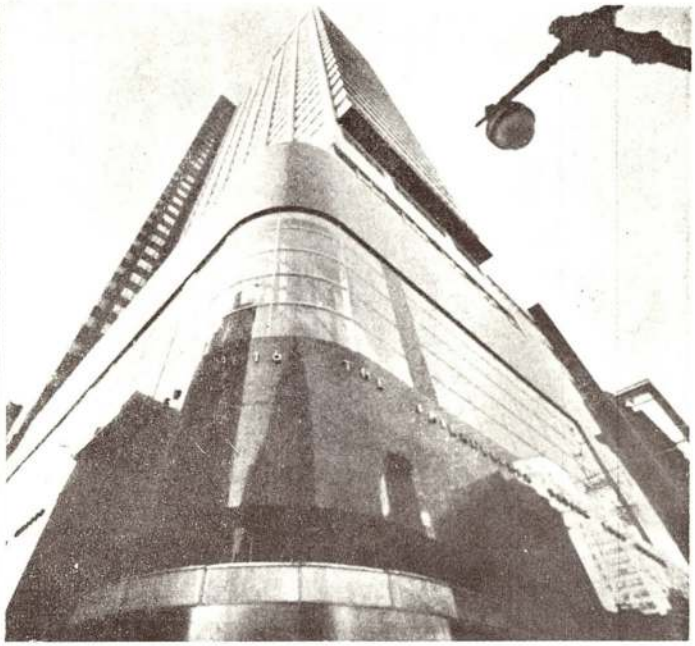


地階平面圖



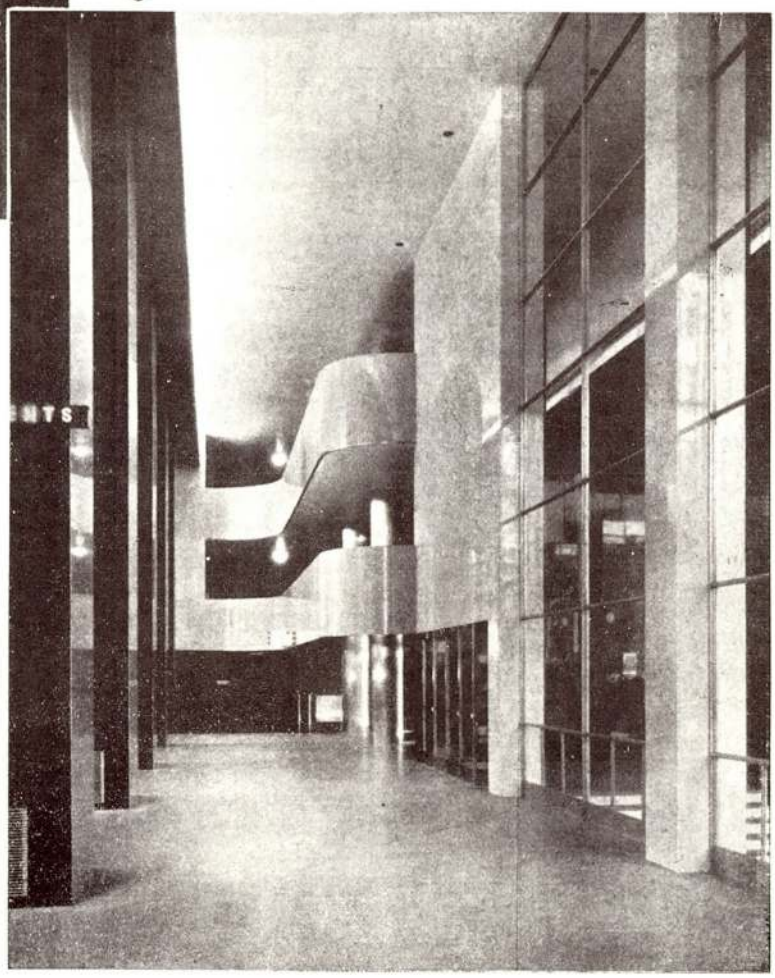


一部外観



隅見上

入口玄關



フイラデルフイヤ貯蓄銀行ビルデイング

超新式にして最實用的建築と稱せられて居る。建築の傳統的手法が完全に無視された點で、現在アメリカの事務所建築としては珍らしい例である。日光は部屋の隅から隅まで行き渡る様に設計されて居るし、エーヤ・コンデイショニングの設備も完備されて居る。

エーヤ・コンデイショニングの完備は事務所の借手に取つて一つの魅力であるが、この建築の今一つの魅力はそのプランである。

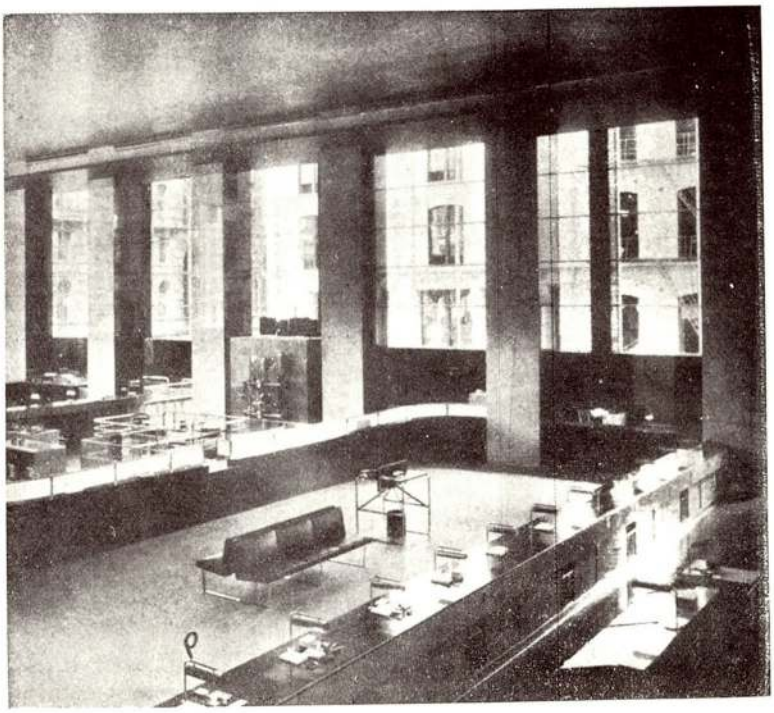
外柱は壁の外側に出して室内の面積が窄められることを防ぎ、内部の柱は事務室の配置に多くの種類が出來る様に排列されて居る。

外觀、建物の下部銀行の部分は廣い滑かな面で取扱ひ、角を丸めて柔か味を持たせたのに對して、上部貸事務所の部分は縦横の線を誇張し、固い四角い取扱ひをして居る。

色に就いて言へば、上部事務所の各窓間の灰白色に對して、下部は黒御影を用ひて確然たる對照を示して居る。無裝飾、技術の優秀、構造の合理化が今日までのアメリカ建築の裝飾的技巧を凌駕して居る。

玄關廣間は高さ 52 呎あり、道路側は巨大な窓になつて居る。出入口の外廻は黒御影で作られ、扉及サインの文字の構造はステインレス・スチールで出來て居る。サインの文字の表面は白色のオーパル・ブラスを嵌め、中に直徑2吋の摺硝子のサイン・バルブが入れられてある。

2 階の銀行室に通するエスカレーター・ロツビーは可及的多くの外光が入る様に、狹いシヤフトの様に 1—2 階打抜いてある。



⬆ 營業室

このロツビーの銀行室の側の壁は黒色大理石で張られ、その上に巨大なプレイト・グラスの窓があり、その反對側の壁は灰色の大理石で張られて居る。階段の突き當りの壁は黒色大理石張、その銀行室に近い角は方向を指示する爲に竪のコーブに依つて照明されて居る。

エスカレーターの架構及階段の手摺もステインレス・スチール製である。

銀行營業室床は灰白色である。窓の間の柱及窓下の壁竝に南北二列の獨立柱は黒大理石張、殘餘の二つの壁面は一部を除く外殆んど全く白色である。白と黒との對照の間にステインレス・スチールを配して配色の妙を得て居る。

十分に磨かれた壁面に於ける反射作用は彫刻のない巨大な面の持つ重厚な感じを解消するのみならず、屋外の建物を反射して暫時柱列の存在を忘れしめることさへある。

天井は音響調節板を張り、灰色のペンキ塗である。天井の照明函にはエーヤ・コンデイシヨニングの吹出口が隱されて居るが、この部分もやはり音響的に取扱はれ鈍調な褐赤色のペンキで塗られて居る。

營業臺の下部は黒大理石張、營業室の設備は全部灰色エナメル燒附けにステインレス・スチールの裝飾が附けられてあり、家具はクロミウム製、青色レザー張である。

(Architectural Forum誌より　新名種夫)

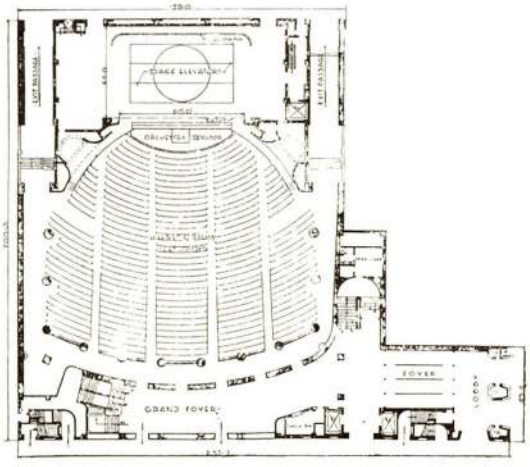
⬇ 階段室



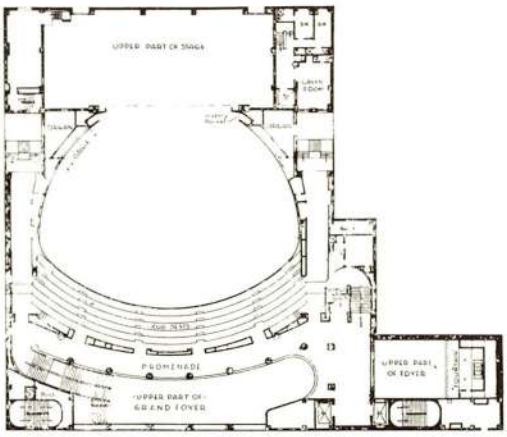


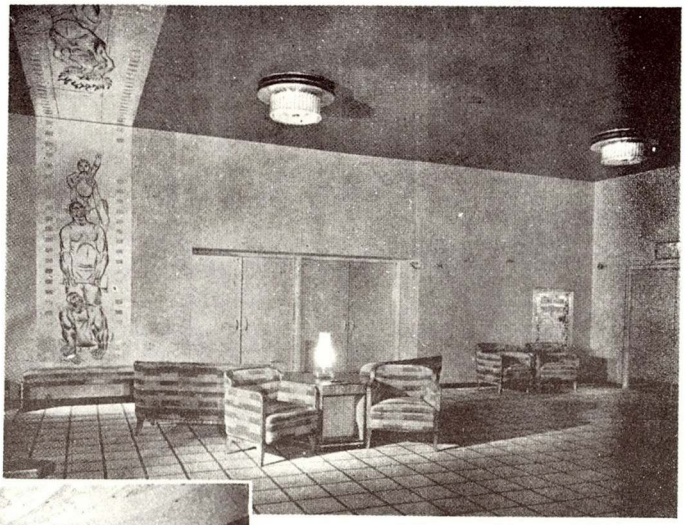
外　觀

1階平面圖

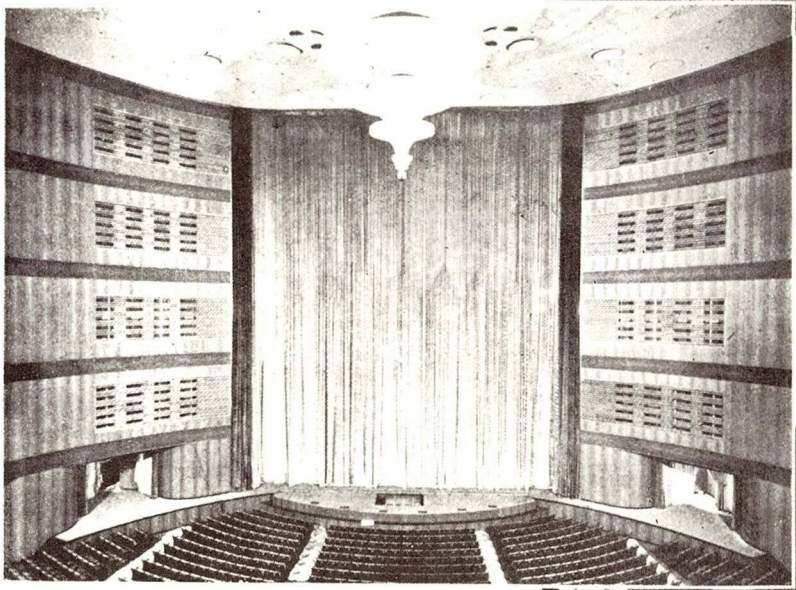


2階平面圖



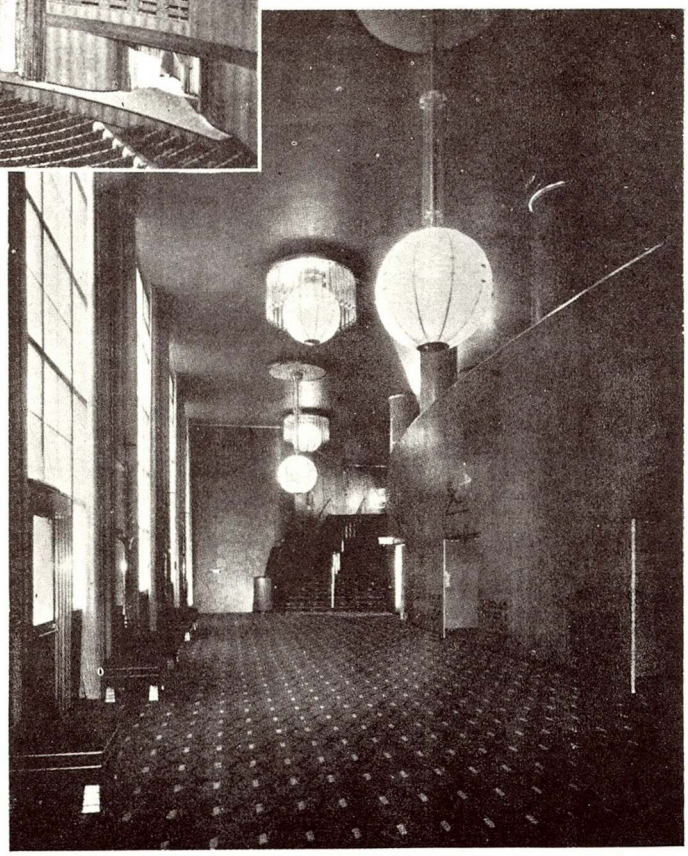


第2中2階ローンデ



プロセニヤム

大廊下



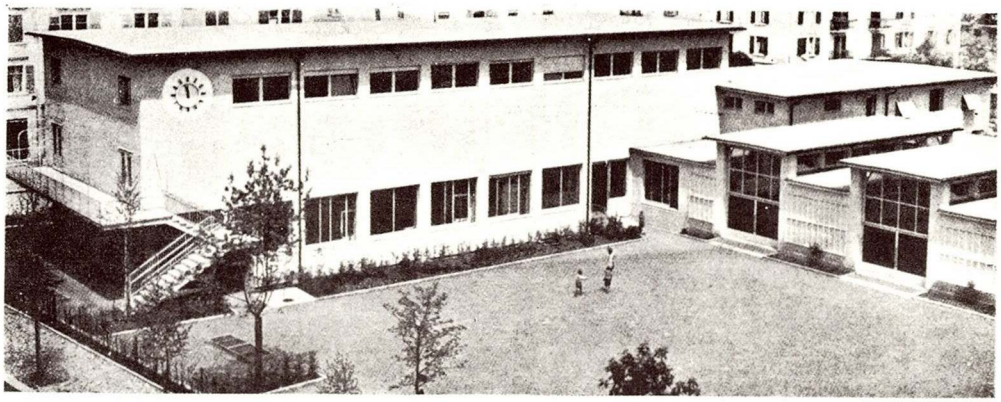
R. K. O. 劇場

ニユーヨークのロツクフエラー• センターに於いてラヂオ及テレビジョンを中心とする各種の建築を集めてラヂオ • シテイなるものが計畫されて居る。其の第8號館であるR.K.O. 劇場はラヂオ•シテイ中最初に完成された建築である。

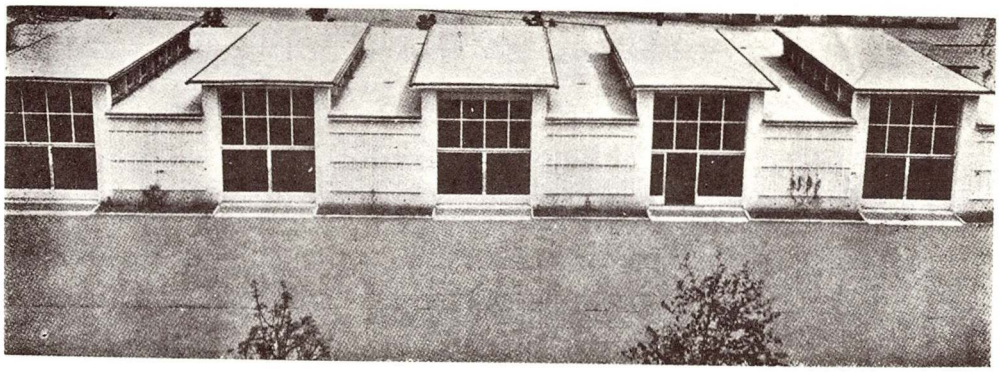
外部腰廻及大窓の周圍は花崗岩、上部は挽割りの軟質粗面の石灰岩で仕上げられて居る窓格子、パラペツトの裝飾案は金屬の庇やサインなどゝ調和を取る爲にアルミニユムを用ひてある。

二つの塔は冷房裝置及防火用の水槽を隱して居る。大窓のサツシユの間には照明が仕込まれて二重に照される様になつて居る。

(American Architect誌より　新名種夫)



← 管理部のある翼



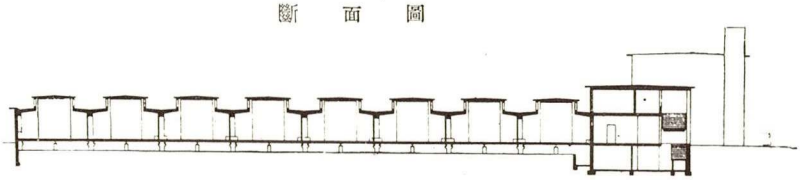
← 遊び場より兒童室をみる

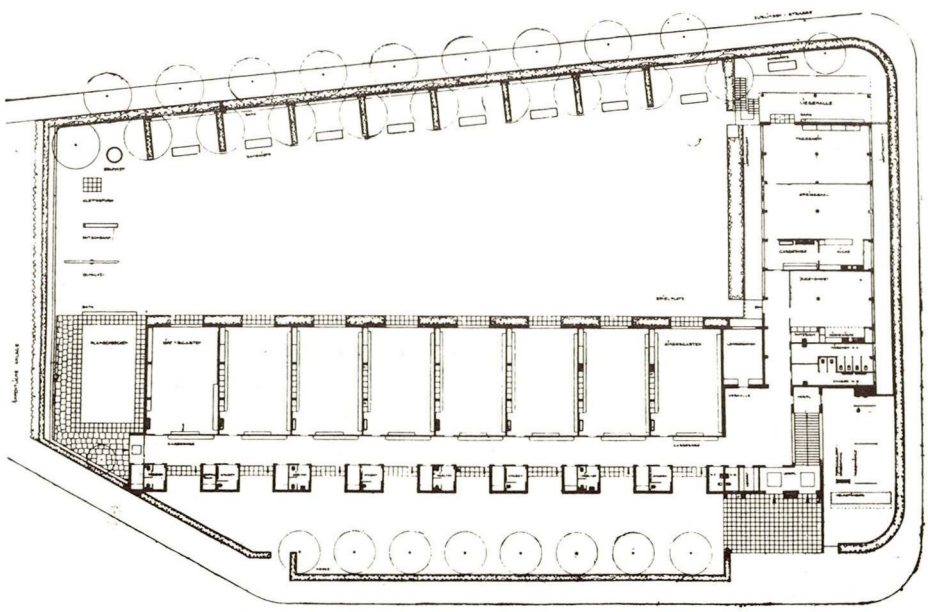
チユーリツヒの幼稚園

ケルマン・ホフマン
(チユーリツヒ)合作

平面圖にてわかる如く鍵の手にとり一翼に八學級八室を並べ、他翼に晝食室、保姆室、手洗室等の管理部を配置す。兒童室は繪畫かけ黒板等に利用する爲に壁面を出來得る限り多くとり、その爲に斷面圖及上圖兒童室のごとく特種の採光方法を用ひてゐる。兒童室の前庭は即ち遊び場で室との間は充分大きなスライヂング扉を用ひ開口部全體を開放して室の內外の差別を出來得る限り無くしてゐる。

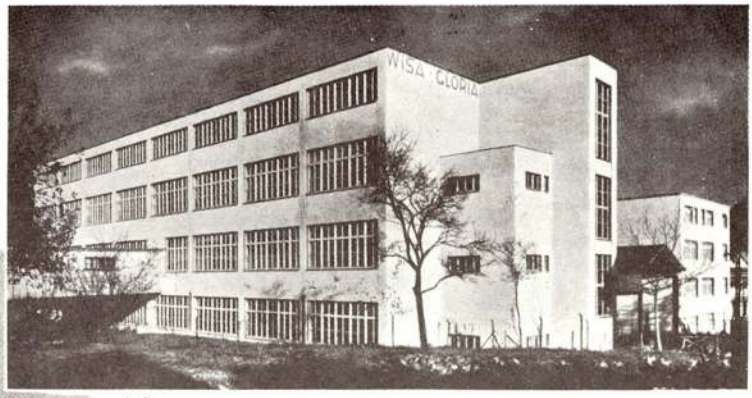
斷　面　圖





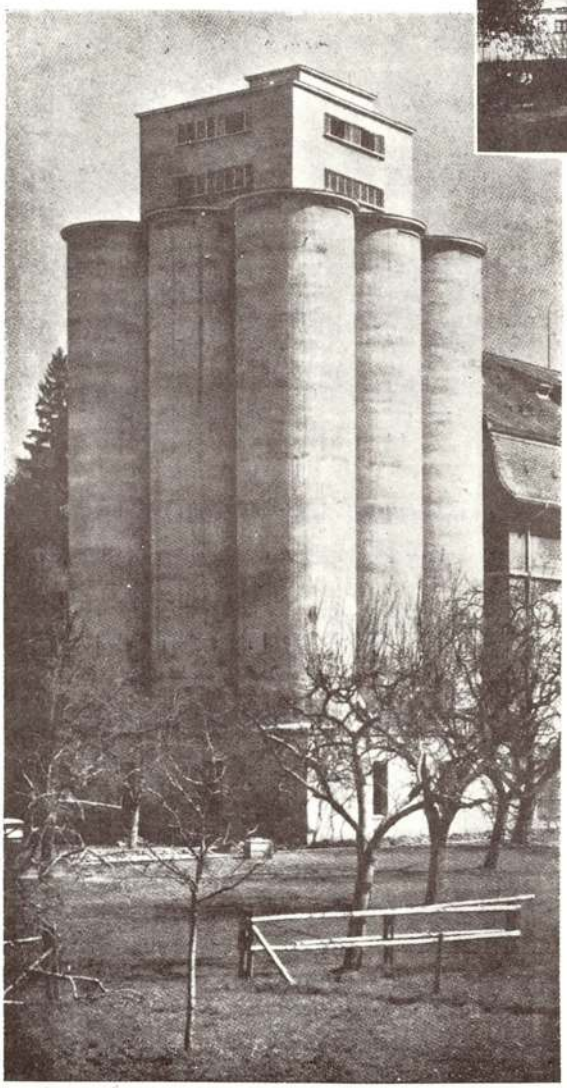
平　面　圖

(Der Baumeister 誌より　東畑謙三)



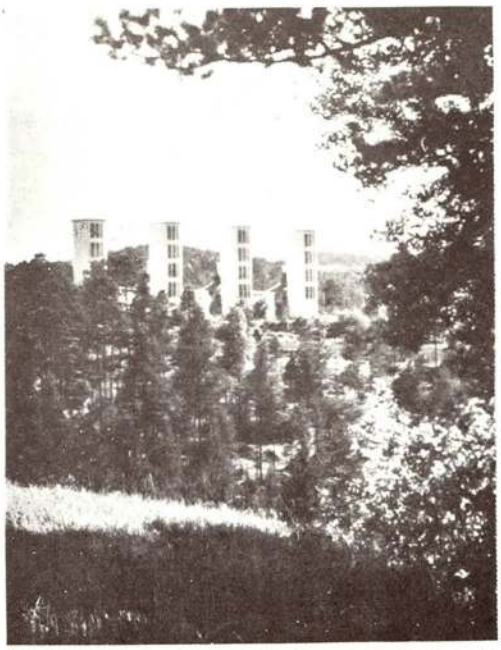
⬆ ヴサグロリア玩具工場(瑞西レンツブルグ)1930/81

⬇ シロ(瑞西ヘルミユール)1929

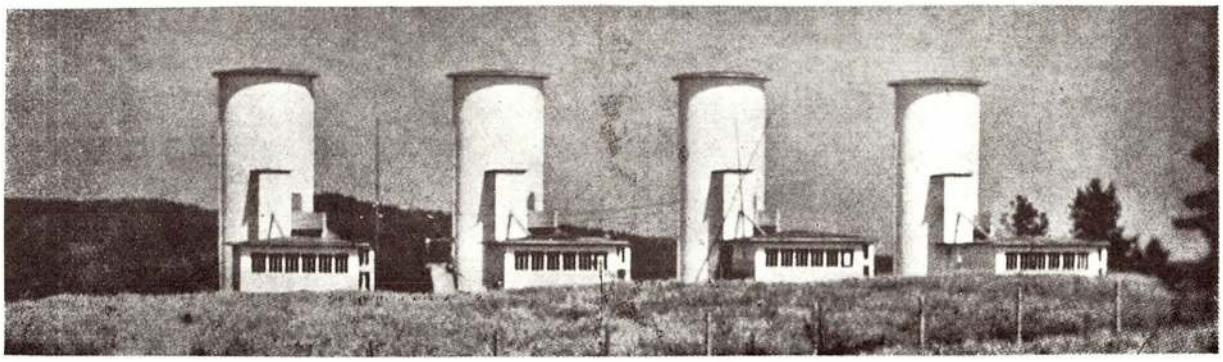


リヒヤールド・ヘツヒラーの新作品

(Der Baumeister 誌上より)



⬇ アルミニユーム、スタンプ工場(ギユンテルスタール)



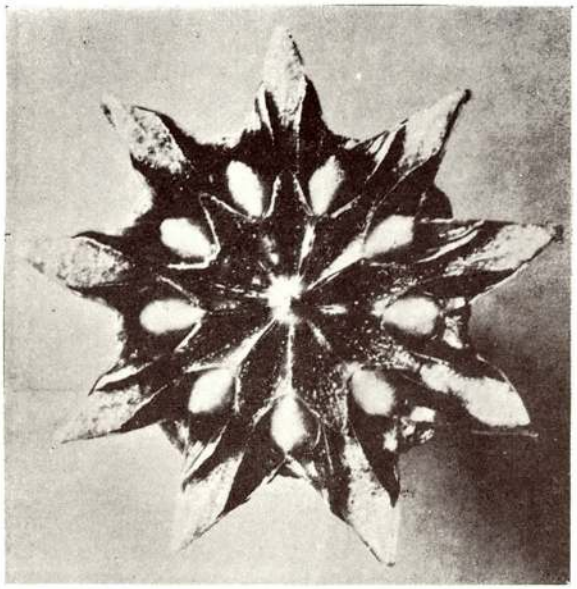
自然の建築

植物は裝飾的に、而も目的を以て形造られた建築と考へられる。生存競爭に好都合な形となる爲に、植物は建築家達の知つて居る多くの法則に從つて、成長と共に幾つかの單位に區切られ而も各單位が實用と便宜とを滿しつゝ最高の藝術的な形態に統一されて居る。

建築家であり、聯邦設立のベルリンの純粹及應用藝術學校の教師であるカール・ブロツスフエルト教授は、直接自然より撮影した寫眞集を建築家や設計家の爲に提供して居るが、ここに示す實例の大部分は彼の二冊の著書の中に示されたもので、原圖から複寫したものである。

人間が初めて意識的に住居を建てた原始の昔より、自然は建築の形態の上に大きな影響を與へて來た。當初は木材や石材や粘土等の構造用材が建築の形態を決定したものだが、人間が建物を裝飾すると言ふことを始めると、植物や動物の形が屢々神秘的な意味で用ひられた。現代建築家はこうしたものには反對であるが、精巧な寫眞機を用ふることに依つて、古い傳統を無視する新しい建築家、及古い形態から新しい取扱を求めんとする舊型の設計家の何れをも、同じく感嘆せしめる樣な美を植物の生活の中に數多く見出すと言ふことは、現代建築家にもなし得ることである。而もこれ等の研究の中から、壁紙や絨氈や鑄物や彫刻やその他各種の構造形態の實際設計の素材を見出すこともあり得るわけである。何時の日か建築家や設計者達がこれ等の美しさを認め、これ等を各方面に使用する樣な時が來れば幸である。

挿畫の植物名は適當な譯語の附かないものは原語の儘に殘しておいた。　（American Architect誌より　新名種夫）

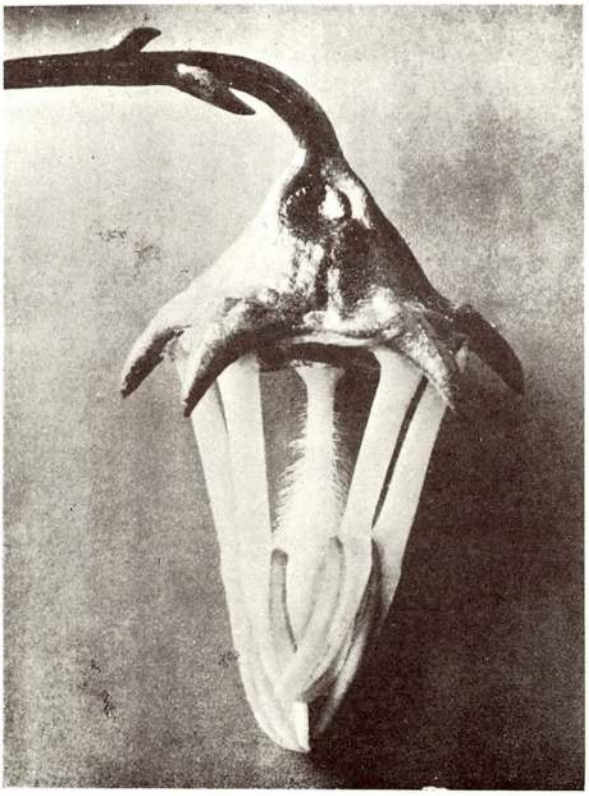


⬆ 向日葵の種褒



⬆ 砂草の群落

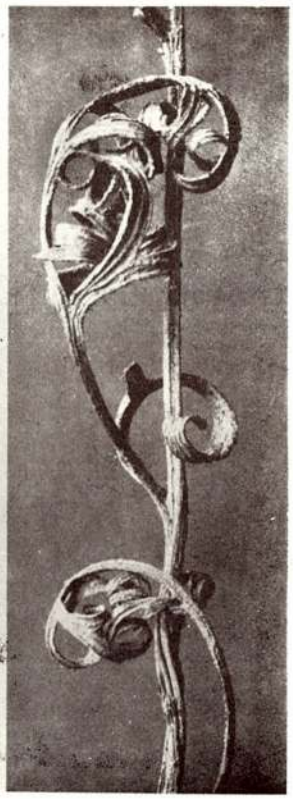
⬇ 鏡草の花の花瓣を除いたもの

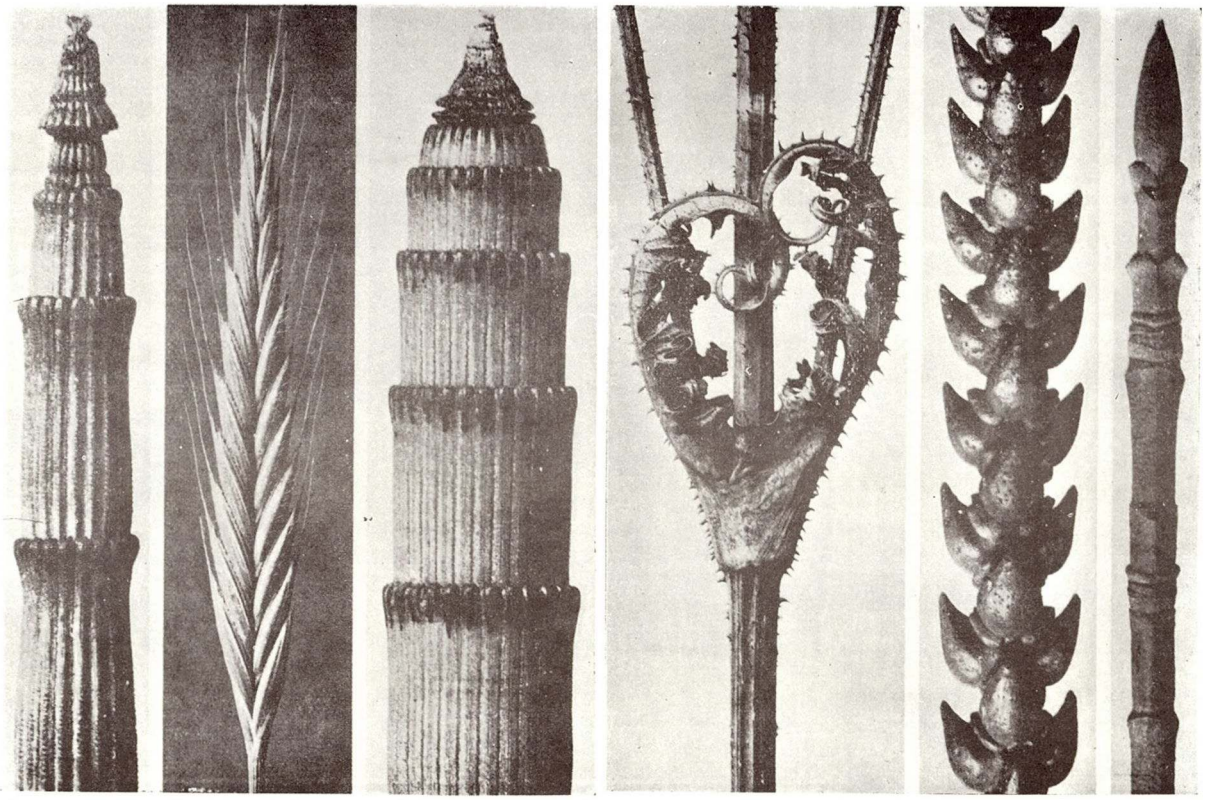


⬇ 大麥の穗先



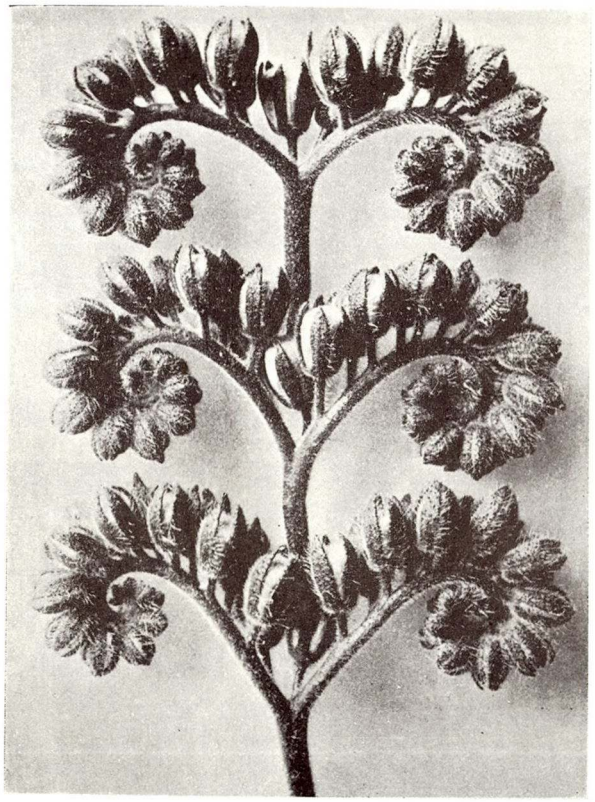
⬇ アネモネの葉



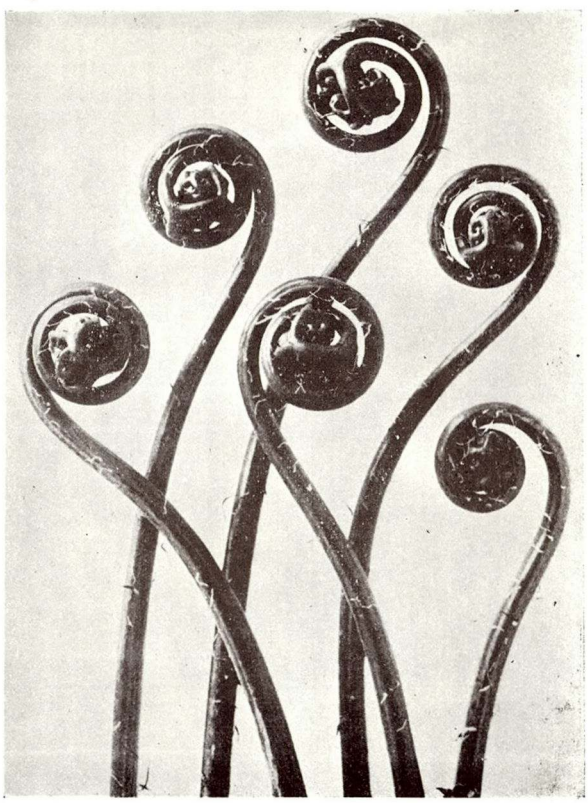


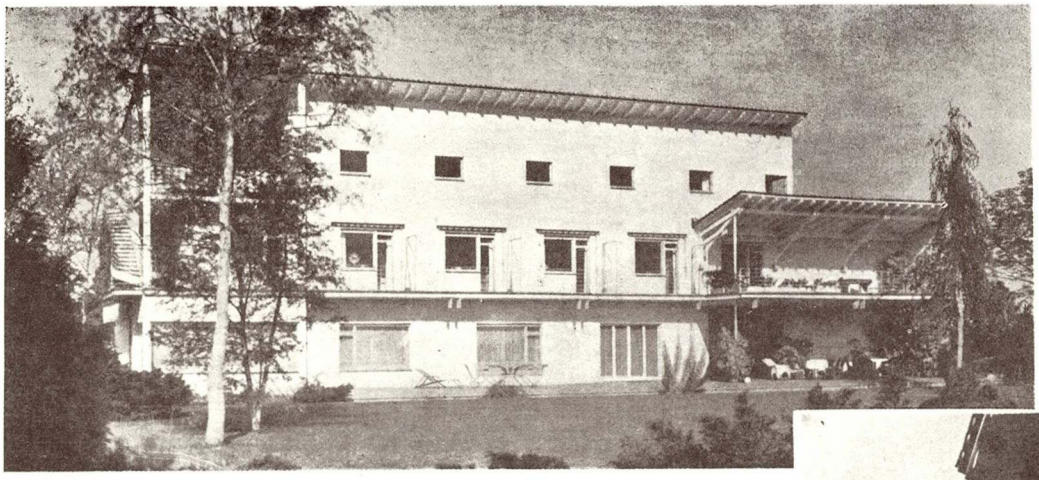
すぎな　ブラキボデイウム・デイスタ　すぎな　薤の莖と枯葉　石蓮華　山茱萸

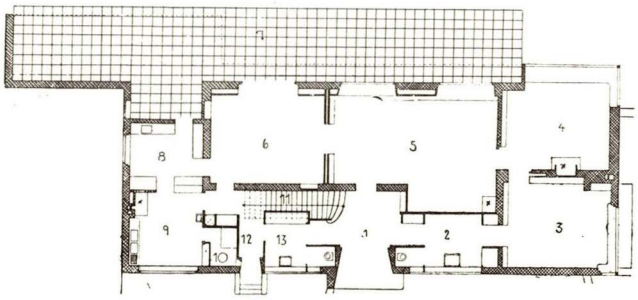
フアセリヤ・コンゲスタの鎌狀の花



アメリカ産の羊齒の若葉

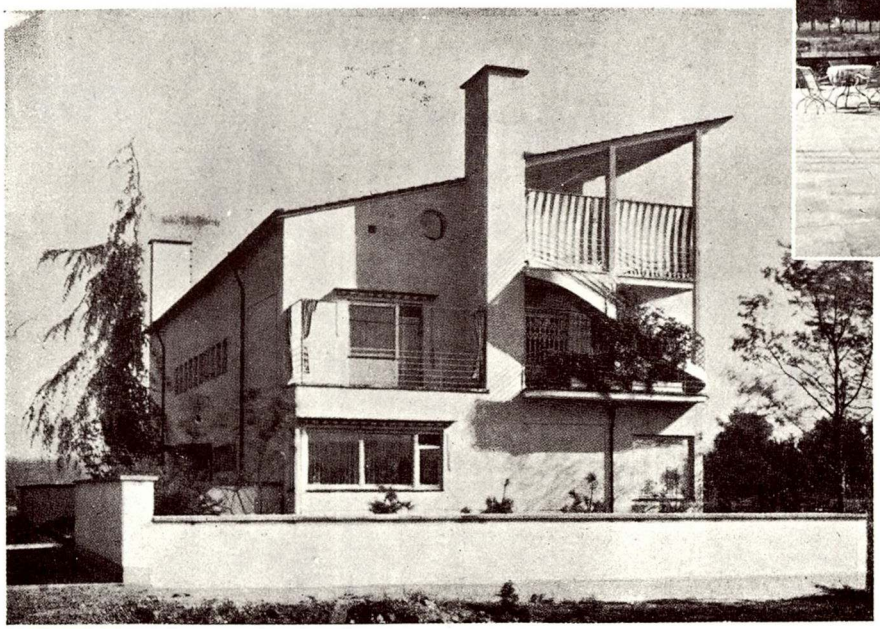






1 入　口　2 外 套 室　3 主人仕事室
4 主婦室　5 居　間　6 食　堂
7 テレース　8 配 膳 室　9 臺　所
10 食事室　11 階　段　12 横　口
13 小供外套室





住宅　テオドル・メーリル
獨逸ケルン作

新感覚美と太陽は次の住宅への第一歩であらう、そこで狙つたのがこれである。

（Der Baumeister 誌より）



DUNLOP RUBBER FLOORING





弊社製ゴム床敷は既に數多の官衙、會社、汽船並に諸家庭に敷込まれ、快適なる其の感じは御使用家各位の御滿足御賞讃を得つゝあります。
御必要に應じ何時にても社員を派し詳細に亘り御要求事項を御説明申上げます。

神戸市脇之濱
ダンロツプ護謨(極東)株式會社
各地出張所

ダンロツプ護謨床敷

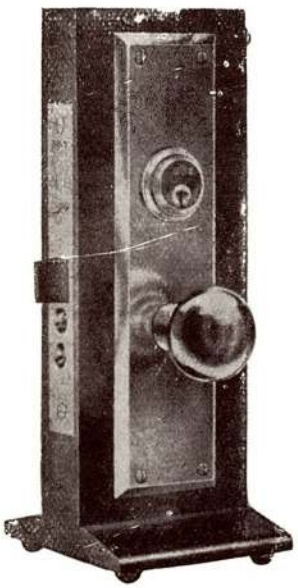
（絕版）	關東震火災視察記	震災直後本協會員の視察報告集	定價 3.50 圓（送料12）
（絕版）	住宅懸賞圖案集	サンマーハウス、貸長屋の懸賞圖案集	定價 1.00 圓（送料10）
（絕版）	婦人の住宅知識	婦人に必要なる住宅の諸說を蒐集せるもの	定價 1.00 圓（送料10）
新刊	世界最近建築圖集	歐米尖端の新建築の寫眞集	定價 0.50 圓（送料 8）
三版	學校建築圖集	幼稚園、小學校より大學校に到る迄の諸種の學校を網羅す	定價 1.00 圓（送料18）
新刊	最近建築懸賞圖集	東京帝室博物館、東京美術館軍人會館、日本生命館等の東洋趣味を基調とせる大建築懸賞圖集	定價 0.70 圓（送料10）
（絕版）	記念出版 住宅圖案集	工費2500圓以內建坪30坪以內の小住宅懸賞圖集	定價 1.00 圓（送料10）
近刊	記念出版 大阪市地質調査圖表	大阪の地質を 500 箇所に亘り調査したもの	定價 3.50 圓（送料12）
近刊	記念出版 續住宅圖案集	工費2500圓以內建坪30坪以內の小住宅及同上の臺所圖集	定價 1.00 圓（送料10）

日本建築協會發行　大阪・北區・朝日ビル　振替口座大阪 39975

賣捌　柳々堂書店　丸善本支店

純國産日金印シリンダー錠

商工省奬勵金受領





建築及鋼鐵家具並金庫用各種シリンダーロック製作販賣

御申越次第型錄進呈

日本金具株式會社

本社　大阪市西淀川區大仁東二丁目　電話土佐堀（44）五八五番二八五〇番　五八六番四一〇六番

出張所　東京市丸ノ內有樂町報知ビル　電話丸ノ內（23）四九三六〇七二番

會　　報

役　員　會

常　務　會

時　　昭和8年4月4日午後6時—同7時30分
所　　建築協會別室
出席者　理事　池田　監事　松室　主記　丹藤
伴野　富士岡　主計　浦　清水　八木
編輯　今林　中村　堀田
議　事　1 教化委員會より報告に係る研究事項及會合定例日の件
1 塗工之魁新聞社より申出に係る懸賞募集塗料競技會審査員選定方の件
1 綠丘土地建物株式會社申出に係る『伸び行く家の展覽會』に協會物品借用方の件
1 都市計畫委員會より大阪驛前の地區整理促進に關し懸賞募集の件
1 日本ポルトランドセメント業技術會より照會に係る規格案に關する件
1 大美野住博協會出品住宅賣却の件
1 會員詮衡
報　告　1 常設　都市計畫、教化、設備委員會經過報告
1 特設　百貨店建築、春季大會委員會經過報告
1 記念　見學、阪和上野芝、瑞光住宅博委員會經過報告
1 2月分會計報告

常　務　會

時　　昭和8年4月1日午後7時—同9時
所　　建築協會別室
出席者　理事　池田　竹腰　監事　德政　松室
主記　伴野　富士岡　主計　浦　編輯
中村　堀田
議　事　1 ブルノータウト氏來阪に付建築講演會開催の件
1 都市計畫委員會より大阪驛前の地區整理促進に關し懸賞募集の件
1 建築學會より照會に係る請負契約書及建築工事請負規程改正案に關する件
1 市街地建築物法令出版の件
1 塗工之魁新聞社より申出に係る懸賞募集審査員選定の件
1 日本ポルトランドセメント業技術會より照會に係る規格案の件
1 見學委員會より報告に係る東京方面見學の件
1 會員詮衡
報　告　1 常設　法制、教化、材料、災害强度委員會
1 特設　春季大會委員會報告
1 記念　見學、阪和住宅博、瑞光住宅博委員會報告

會員動靜

轉　勤　轉　居

會　員

西村　安彥君　兵庫縣武庫郡御影町郡家堂ノ前185ノ1
藤塚　義一君　東淀川區下新庄603
岡部　巖君　府下中河內郡彌力村小若江73
神谷　新一君　岸和田市堺町40
石田　信夫君　天王寺區悲田院町3
矢木　英夫君　東區京橋2 京阪ビル矢木英夫建築事務所
松浦　基二君　東淀川區元今里北通2ノ49

會　員（地方在住）

高橋敕太郎君　東京市荒川區濱邊町1044
岩橋　楠松君　愛媛縣新居濱町惣開住友肥料製造所
原田　俊雄君　東京市荏原區小山町506
柳原　義平君　富山縣井波町本町4 井波驛惠比須湯東
喜多村義雄君　東京市品川區五反田1ノ251
鈴木　甫君　東京市澁谷區千駄ケ谷1ノ341
濱田日出穗君　廣島縣芦品郡府中町役場內

終身賛助員

作山　義弼君　東京市世田谷區玉川奥澤町2ノ630

特別賛助員

澁谷　經久君　住吉區昭和町西5ノ34

普通贊助員

松村　健雄君　東淀川區十三西之町1ノ155
川村　雅彥君　東成區林寺町188 松田方
小林已之造君　横濱市中區小港町3ノ148
高橋　　眞君　住吉區南濱口町136ノ2
加藤　越山君　東區京橋2 京阪ビル講演聯合社
河部　　茂君　大連市東公園町滿鐵本社工務課
矢野　隆三君　朝鮮京畿道永登浦永登浦里434
中村　忠司君　神戸市須磨區戸崎通2ノ10 寺本重吉氏方
井上彌太郎君　福井市佐佳枝上町85　福井縣織物同業組合事務所建築場上田工務店出張所
中島　喜平君　東淀川區西之町4ノ29
高山虎次郎君　西區本田町通2ノ98 大和護謨製作所建築材料部大阪出張所

入　會　者

會　員

田間齊次郎君　住吉區北田邊町397

特別贊助員

伊藤　　元君　西宮市字今津高汐77（工業原料輸入）
山田善次郎君　北區神山町77津山商店（建築材料商）
岩田　年弘君　天王寺區勝山通2ノ58（シフカー工業所大阪出張所）
高田　馨三君　東淀川區元今里南通2ノ20（日本建築紙工株式會社大阪支店長）
高畠英治郎君　東區北新町2ノ3（建具製造）
宇賀　龍雄君　東區餌差町202（大阪防水工材社經營）
山口　民祐君　府下豊能郡箕面村梅林（株式會社大澤商會）

普通贊助員

田中潤一朗君　西區立賣堀北通4ノ21 小野逞三商店內
山口　吾郎君　京都市相國寺北門前中之町
古澤　清外君　京都市上京區上ノ下立賣御前通西入479（大塚組）
井上　　實君　住吉區天王寺町3485（伊藤工務店）
岸本　幸治君　天王寺區寺田町9高橋五平方（參宮急行電鐵技術部）
杉本　喜保君　浪速區宮津町50
谷　　信太君　東區今橋4ノ1三菱信託ビル東畑謙三建築事務所
高田　一男君　住吉區上住吉町102（南海鐵道株式會社）
中塚　　誠君　下關市後田町442 堤久夫方
服部　　保君　京都市上京區下立賣通智惠光院西入ル
山下　　登君　兵庫縣武庫郡精道村打出御所谷7（東洋工材社）

退　會　者

會　員

田中泰一郎君

特別贊助員

江上　正夫君　小清水仙之助君

普通贊助員

前田　憲彥君　山口　正雄君　吉田　榮吉君
末本　豐吉君

本號執筆者紹介

奥田　讓	東京帝大建築學科卒業、	神戸市技師にして神戸市營繕課勤務
新名種夫	京都帝大建築學科卒業、	大阪市技師にして大阪市建築課勤務
中村　寬	東京帝大建築學科卒業、	社會局技師にして社會局社會部勤務
富士岡重一	東京帝大建築學科卒業、	大阪市建築課長
三橋國太郎	東京帝大建築學科卒業、	京都市營繕課長
山口　正	大阪市に勤務せられて現に社會部長として勤務さる	

編　輯　後　記

□樹々に新緑映ゆる庭早や夏めく風の通ひ來る時候となりました。本月は社會施設に關する建築の特輯であります。將來は建築の一大部門をなすであらう所の廣範圍に亘るもので內容も新らしきだけ建築家にとつて興味深いものでありませう。それだけ編輯にも骨が折れました。

□大阪では市の富士岡氏に御願し、解說は新名氏を煩はし、京都では三橋氏、神戸では藤島氏並に奥田氏と各々御面倒を掛けました、最後に社會局技師中村寛氏の後援を得て完成するを得ました、諸兄に感謝いたします。

□豫想以上に材料が蒐まり尨大なものとなりました、必ずや諸兄の御滿足を得るものと信じますが、實は內容稍々不統一の嫌なきにあらざるは自ら認めて居ります、必ず入れるべくして載せ能はざりしものも多々あり、又左迄のものも混入して居ります、忙しい月刊雜誌として止むを得ざるものと御寛容願ひたく、若し單行本として現はれる機あらば、その時は完璧のものとして御目に入れたい考であります。不備の點御敎示願ひたいと存じます。

□發行が非常に遲れて何にとも申譯ありません。材料の整理に手間取つて居る內に、新興建築展を朝日會館で催すことになり何にも斯にも動きの取れぬことになりました

□建築法規集、ボーリング圖表、續住宅圖案集と机の上に山積する難事業に渾身の大奮闘であります、重ねて諸兄に御詫申します。

□ブルノ・タウト氏の來朝に、住宅博覽會に當協會が社會的に認められ重んぜられてゆくのは喜ばしい事實であります。

（高橋榮治）

建　築　と　社　會

第16輯第5號

本號に限り特價八拾錢

毎月1回1日發行　定價　1册 .50圓(郵稅2錢)　12册 6.00圓(同 24 錢)

昭和8年4月25日印刷　昭和8年5月1日發行

發行・編輯　鷹取陽

印刷人　兵庫縣武庫郡今津町浦風56番地

印刷所　大阪活版所　大阪市東區內淡路町1丁目7番地

發行所　財團法人 日本建築協會　大阪市北區中之島3ノ3朝日ビル　電話長本局(23)4500番(6)　振替口座大阪39975番

特約販賣店　柳々堂書店　大阪市西區京町堀羽子板橋北　電話土佐堀 2440番　振替口座大阪 2084番

禁　轉　載

本誌に掲載せるものは、一切これを無斷にて轉載し又は單行本に上梓その他の複製行爲をなすことを禁ず。

廣　告　掲　載　料　金

普　通	1頁	1回	15.00
普　通	½頁	1回	8.00
普　通（前附第1頁）	1頁	1回	45.00
普　通（前附第2頁）	1頁	1回	40.00
普　通（後附第1及最終頁）	1頁	1回	25.00
アート（中挿）	½頁	1回	20.00
表　紙 2	1頁	1回	60.00
表　紙 3	1頁	1回	45.00
表　紙 4	1頁	1回	80.00
建築事務所錄	1欄	1回	1.50
（建築關係業者案內）	1欄	1回	5.00

御　注　文

御注文はすべて前金で本會直接又は特約店へ振替貯金又は爲替で御拂込を願ひます郵券代用は一割增、代金引換はお斷り致します。

建築と社會第16輯第5號
廣告索引

ア 旭硝子株式會社……31
淺野スレート株式會社……16
淺海商店……22
阿部鐵工所……42
イ 岩元商會建材部……22
宇野洋瓦株式會社……34
エ 榮進社……15
岡山建材社大阪出張所……34
オ 大阪窯業セメント株式會社……中挿
大阪伊丹商店……12
大野製作所……1
オリエンタル化學工業所……48
キ 木下謹三商店……12
桐田商會……29
ク 黒川化學工業所……10
久保商店……17
コ 工材社……38
佐久間パブコ工業株式會社……9
サ 笹岡家具裝飾店……18
三稜社……27
佐渡島商店……47
三共株式會社……7
三機工業株式會社……表紙 2
ス 須賀商會……25
セ 政正合資會社……4
タ 太陽社書店……5
田中タイリング……6
高松菊治郎商店……35
田中昌司商店……41
田村商會……43
ダ ダンロップ護謨株式會社……中挿
大丸……表紙 4
チ 重寶商會……46
ヂョイント商會大阪支店……20
ト 東洋リノリーユウム株式會社……33
東京電氣株式會社……3
東洋陶器株式會社……44
東亞鐵工所……39
ナ 內外土木建築材料合資會社……32
南滿鑛業株式會社……18
長野商店……23
ニ 日本ペイント株式會社……23
日本建築紙工抹式會社大阪支店……27
西原衛生工業所大阪支店……19
西孫商店建築金物部……21
日本エレベーター製造株式會社……40
日本金具株式會社……中挿
日本鋼製建具株式會社……37
日本鋼鐵家具……36
ノ 野澤幸三郎商店……26
ハ 濱田製作所……36
ヒ ヒーロー化學工業所……6
平松鈎手車製作所……30
フ 日盟合名會社……46
藤田商會……14
福島合名會社……28
福原商店……4
マ マルエス工業株式會社……11
ミ ミナト製作所……10
三井物產株式會社……13
三木商店……8
宮島康夫商店……45
ヤ 矢橋大理石商店……14
大和護謨製作所……41
山本窯業商店……38
ヨ 横河橋梁製作所……24
米本榮商店……45
レ 玲光社(木內眞太郎)……30

「建築と社會」
昭和七年特輯號

1 月號 高層建築
2 月號 最近建築研究 Ⅰ
朝日ビルデイング
阪急ビルデイング
3 月號 國防と建築
4 月號 最近世界建築論說
5 月號 建築法規
6 月號 實用小住宅
7 月號 最近建築研究 Ⅱ
大阪城天守閣
第四師團司令部廳舍
日本綿業會館
8 月號 鄉土建築
9 月號 建築構造
10 月號 創立滿十五年記念號
11 月號 最近建築研究 Ⅲ
大阪歌舞伎座
南海ビルデイング
12 月號 常設委員會昭和七年度調查研究報告

日本建築協會發行圖書

關東震火災視察記
定價 3.50圓 (稅12)
住宅懸賞圖案集
(絕版) 定價 1.00圓 (稅10)
婦人の住宅知識
(絕版) 定價 1.00圓 (稅10)
世界最近建築圖集
定價 0.50圓 (稅 8)
學校建築圖集
(三版) 定價 1.00圓 (稅18)
最近建築懸賞圖集
定價 0.70圓 (稅10)
住宅圖案集
(絕版) 定價 1.00圓 (稅10)
大阪市地質調查圖表
(近刊) 定價 3.50圓 (稅12)
續住宅圖案集
(近刊) 定價 1.00圓 (稅10)
市街地建築物法令
(近刊) 定價 0.50圓 (稅4)